指定管理者制度導入施設の
管理運営に係る評価票

評価対象年度：令和７年度

栗　　原　　市

モニタリング実施結果に基づく評価指標

1　評価項目の区分

評価の区分	ポ　イ　ン　ト	評価票の評価項目
適正性の評価	1. 公の施設管理・運営の状況 2. 平等・公平性、安全対策、危機管理、情報の取り扱い等	⑴基本的な方針に基づく管理・運営体制 ⑵施設管理の状況
有効性の評価	1. 施設の設置目的の達成 2. 利用者の満足度	⑶利用者へのサービス提供と満足度
効率性の評価	1. 経費の縮減策・取組 2. 収入確保と増収策・取組	⑷運営の状況（収支の実績等）

2　評価の方法

評価票の「８　総合的な評価」は、次の方法により評価するものとする。

⑴　評価は、次の基準によりＳからＤまでの５段階で評価するものとする。

⑵　項目の評価は、詳細項目の評価結果を勘案して行うものとする。

⑶　総合評価は、項目及び詳細項目の評価結果を勘案して行うものとする。

【指定管理者が行う自己評価の基準】

評価ランク	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画等の内容を上回る実績であり、優れた施設管理・運営を行った。
A	年度事業計画等の内容どおりの実績であり、適正な施設管理・運営を行った。
B	年度事業計画等の内容にほぼ等しい実績で適正な施設管理・運営ではあったが、更に適正な施設管理・運営のため工夫・改善の課題もある。
C	年度事業計画等の内容を大きく下回る実績となり、更なる工夫・改善と適正な管理・運営に努める必要がある。
D	年度事業計画等に基づく適正な管理・運営が行えなかったため改善の勧告を受けた。早急に是正すると共に、適正な管理・運営に努める。

【市が行う評価の基準】

評価ランク	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画等の内容を上回る実績であり、優れた施設管理・運営が行われた。
A	年度事業計画等の内容どおりの実績であり、適正な施設管理・運営が行われた。
B	年度事業計画等の内容にほぼ等しい実績で適正な施設管理・運営ではあるが、工夫・改善の課題解決により、更に適正な施設管理・運営となる。
C	年度事業計画等の内容を大きく下回る実績で、更なる工夫・改善と適正な管理・運営を求める必要がある。
D	年度事業計画等に基づく適正な管理・運営であるとは認められず、改善の勧告を行う。是正されない場合は、業務の停止に及ぶことがある。

令和7年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票　施設一覧

No.	施設名称	施設所在地	指定管理者	指定管理料	担当部課	市の総合評価	ページ
1	くりはら交流プラザ	志波姫新熊谷279番地2	株式会社ゆめぐり	有	企画部市民協働課	B	1 ～ 3
2	栗原市市民活動支援センター	築館伊豆二丁目6番1号	特定非営利活動法人Azuma-re	有	企画部市民協働課	A	4 ～ 6
3	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター	一迫字川口中野30番地	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	7 ～ 9
4	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター	一迫字上中島39番地1	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	10 ～ 12
5	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家	一迫北沢十文字62番地5	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	13 ～ 15
6	栗原市築館高齢者福祉センター	築館薬師三丁目6番1号	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	16 ～ 18
7	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設	栗駒八幡西沢10番地1	公益社団法人栗原市シルバー人材センター	有	市民生活部社会福祉課	A	19 ～ 21
8	栗原市一迫老人福祉センター	一迫真坂字高橋20番地1	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	有	市民生活部社会福祉課	A	22 ～ 24
9	栗原市鶯沢老人福祉センター	鶯沢南郷下久保21番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	25 ～ 27
10	栗原市瀬峰ふれあいセンター	瀬峰下田地内	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	有	市民生活部社会福祉課	A	28 ～ 30
11	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター	栗駒岩ケ崎上小路136番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	31 ～ 33
12	栗原市栗駒老人憩いの家	栗駒岩ケ崎上小路136番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	34 ～ 36
13	栗原市志波姫老人憩いの家（万年青荘）	志波姫沼崎原83番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	37 ～ 39
14	栗原市高清水デイサービスセンター	高清水字東館34番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	40 ～ 42
15	栗原市金成デイサービスセンター	金成沢辺町沖200番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	43 ～ 45
16	栗原市一迫高齢者生活福祉センター（やすらぎセンター）	一迫真坂字高橋20番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	46 ～ 51
17	栗原市若柳認定こども園	若柳字川北塚原104番地1	一般社団法人吉野学園	有	市民生活部子育て支援課	A	52 ～ 54
18	くりはら斎苑	築館字荒田沢41番地	グリーン観光バス株式会社	有	市民生活部環境課	A	55 ～ 57
19	栗原市栗駒農林水産物直売所	栗駒文字鍛冶屋103番地	文字地域活性化推進協議会	無	産業経済部農政園芸課	A	58 ～ 60
20	栗原市花山農山村交流センター	花山字本沢北ノ前133番地	一般社団法人はなやまネットワーク	有	産業経済部農政園芸課	A	61 ～ 63
21	栗原市若柳特産物直売センター	若柳字川北塚ノ根27番地1	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合	無	産業経済部農政園芸課	A	64 ～ 66
22	栗原市瀬峰特産物直売センター	瀬峰下田185番地1	瀬峰旬の市会	無	産業経済部農政園芸課	A	67 ～ 69
23	栗原市あやめの里	一迫真坂字清水田川4番地1	新みやぎ農業協同組合	無	産業経済部農政園芸課	A	70 ～ 72
24	栗原市湖畔のみせ旬彩	花山字本沢合道46番地5	一般社団法人はなやまネットワーク	無	産業経済部農政園芸課	A	73 ～ 75
25	栗原市金成農村環境改善センター	金成沢辺町沖200番地1	新みやぎ農業協同組合	無	産業経済部農政園芸課	A	76 ～ 78
26	栗原市一迫地区活性化センター	一迫真坂字高橋20番地1	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	有	産業経済部農政園芸課	A	79 ～ 81
27	築館有機肥料センター	栗原市築館字照越盲壇２９番地９１	有限会社アグリテック宮城	有	産業経済部林業畜産課	A	82 ～ 84
28	金成有機センター	栗原市金成末野下浦山９番地７	有限会社アグリテック宮城	有	産業経済部林業畜産課	A	85 ～ 87
29	栗駒有機センター	栗原市栗駒稲屋敷天王山２番地１６	有限会社アグリテック宮城	有	産業経済部林業畜産課	A	88 ～ 90
30	栗原市栗駒特産物直売センター	栗駒岩ケ崎上小路150番地7	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	有	産業経済部産業戦略課	A	91 ～ 93
31	若柳ふるさとの森	若柳武鎗字磯田沢154番地	ふるさとの森振興協会	有	産業経済部田園観光課	A	94 ～ 96
32	栗原市ハイルザーム栗駒	栗駒沼倉耕英東50番地1	株式会社ゆめぐり	有	産業経済部田園観光課	B	97 ～ 99
33	栗原市栗駒コテージ	栗駒沼倉耕英東49番地	株式会社ゆめぐり	有	産業経済部田園観光課	B	100 ～ 102

令和7年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票　施設一覧

No.	施設名称	施設所在地	指定管理者	指定管理料	担当部課	市の総合評価	ページ
34	栗原市金成温泉金成延年閣	金成三沢32番地	株式会社ゆめぐり	有	産業経済部田園観光課	B	103 ～ 105
35	栗原市花山温泉温湯山荘	花山字本沢温湯15番地1	株式会社ゆめぐり	有	産業経済部田園観光課	B	106 ～ 108
36	栗原市花山青少年旅行村	花山字本沢稲干場2番地1	株式会社ゆめぐり	有	産業経済部田園観光課	B	109 ～ 111
37	栗原市スワントピア交流館	築館字横須賀養田18番地	内沼観光物産協議会	有	産業経済部田園観光課	A	112 ～ 114
38	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館	築館字横須賀養田20番地1	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク	有	産業経済部田園観光課	A	115 ～ 117
39	栗原市くりはら田園鉄道公園	若柳川北字塚ノ根、塚ノ越及び橋元地内	特定非営利活動法人Azuma-re	有	産業経済部田園観光課	S	118 ～ 120
40	若柳川北交流広場	若柳字川北中町1番地	栗原市若柳中町自治会	無	建設部都市計画課	A	121 ～ 123
41	栗原市築館B&G海洋センター体育館	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	124 ～ 126
42	栗原市築館体育センター	築館高田二丁目8番12号	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	127 ～ 129
43	栗原市築館野球場	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	130 ～ 132
44	栗原市築館陸上競技場	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	133 ～ 135
45	栗原市築館B&G海洋センタープール	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	136 ～ 138
46	栗原市築館多目的競技場	築館高田二丁目8番12号	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	139 ～ 141
47	栗原市築館テニスコート	築館伊豆一丁目2番7号	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	142 ～ 144
48	栗原市若柳総合体育館	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	145 ～ 147
49	栗原市若柳野球場	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	148 ～ 150
50	栗原市若柳総合体育館弓道場	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	B	151 ～ 153
51	栗原市若柳総合体育館トレーニングルーム	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	154 ～ 156
52	栗原市栗駒総合体育館	栗駒岩ケ崎裏山221番地	株式会社イトマンスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	157 ～ 159
53	栗原市栗駒野球場	栗駒岩ケ崎裏山216番地64	株式会社イトマンスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	160 ～ 162
54	サン・スポーツランド栗駒	栗駒岩ケ崎裏山211番地	株式会社イトマンスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	163 ～ 165
55	栗原市栗駒テニスコート	栗駒岩ケ崎裏山216番地64	株式会社イトマンスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	166 ～ 168
56	栗原市栗駒プール	栗駒岩ケ崎裏山221番地	株式会社イトマンスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	169 ～ 171
57	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム	栗駒岩ケ崎裏山221番地	株式会社イトマンスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	172 ～ 174
58	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場	一迫字長崎川台53番地5	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	175 ～ 177
59	栗原市文字郷土文化保存伝習館	栗駒文字角ケ崎67番地1	一和会	有	教育部社会教育課	B	178 ～ 180
60	栗原市伊豆沼交流センター	若柳字上畑岡鵜経沢61番地1	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク	有	教育部社会教育課	A	181 ～ 183
61	栗原市志波姫公民館	志波姫沼崎南沖447番地	しわひめスポーツクラブ	有	教育部社会教育課	A	184 ～ 186
62	栗原市花山公民館	花山字本沢北ノ前77番地	一般社団法人はなやまネットワーク	有	教育部社会教育課	A	187 ～ 189
63	栗原市千葉周作ゆかりの家	花山字草木沢箕ノ口地内	有限会社花山産業	有	教育部文化財保護課	A	190 ～ 192
64	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡	花山字本沢温湯地内	株式会社ゆめぐり	有	教育部文化財保護課	A	193 ～ 195

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	くりはら交流プラザ
施設所管部署名	企画部　市民協働課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	くりはら交流プラザ		
施設所在地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2		
設置年月	平成11年 5 月	設置根拠条例	栗原市くりはら交流プラザ条例
設置目的	市民の生活文化の向上及び健康福祉の増進に寄与することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積　8，497．05　㎡、　敷地面積　12，837．65　㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）	
	施設内容	観光物産館、コンベンションホール、会議室、多目的研修室、展望レストラン、ホテル、食堂、事務室、トイレ	
休館日	（本館）毎月第3水曜日　（別館）無し ※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前10時00分　～　午後9時00分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	☑採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	〈利用料金〉 主なもの ・コンベンションホール「清流」 1時間につき35,000円 ・多目的室「楓」 1時間につき4,500円 ・多目的室「虹」 1時間につき12,500円 ・多目的室「ｱﾝﾃｨｴｰﾇ」 1時間につき4,000円 ・多目的室「翼」 1時間につき4,500円 ・多目的室「葵」 1時間につき4,000円 【テナント】 ・観光物産館　1月につき213,720円 ・食堂「鈴蘭」 1月につき249,690円 【ホテル棟】※上限額 ・シングル　1泊　6,600円 ・ツイン　1泊　11,500円 ・スペシャルツイン　1泊　16,550円 ※　条例から変更の有無　☑有　□無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社ゆめぐり		
	事務所所在地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指定の期間	令5年 4 月 1 日～令和8年 3 月31日　（ 3 年間 ）			
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募		指定管理料	63，159，000円　（3年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年5月～平成18年3月	管理委託	くりはら振興株式会社	
平成18年4月～令和　5年3月	指定管理	くりはら振興株式会社・株式会社ゆめぐり	H21,24,29,R2更新

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	365日	365日	365日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	—	50,552人	51,565人	—	102.0%
利用料金収入	164,957,455	142,157,623	144,881,422	87.8%	101.9%
主な増減要因（前年比）	原材料等物価の高騰から4月より宿泊、コンベンション及びレストランの料金値上げを行い、さらに予約システムの販売料金設定にAIを導入したことにより、売上は前年を上回り前年比102.4%となりました。しかしながら客室稼働率は前年を下回り57.8%（前年59.1%）と伸び悩んだこともあり、目標に対し87.6%にとどまりました。経費では、最低賃金の改定等から人件費が前年を上回ったものの飲・食材仕入、水道光熱費などの経費を抑え支出は、前年比97.3%となりました。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月19日	こまどり姉妹昭和歌謡コンサート	昔懐かしい昭和の歌謡ショーをご覧いただき、皆様方にお楽しみいただける場を提供	一般	95人
令和7年4月1日～5月31日	ヴィスタコース	レストランで大皿料理でのプチ宴会	一般	21人
令和7年6月16日～8月31日	夏のパスタフェア	季節の食材を味わう人気のパスタ料理	一般	579人
令和7年7月25日	ビール祭り	ビールに合うお料理と飲み放題のイベント	一般	124人
令和7年8月	ふるさと小包便（夏）	栗原のおすすめ商品を詰め込んだギフト（お中元）	一般	42人
令和7年9月18日～10月31日	ハロウィンフェア	カボチャやさつま芋などハロウィンに因んだメニューのイベント	一般	84人
令和7年10月17日	栗原登米の地酒を楽しむ会	栗原と登米のおすすめ日本酒飲み比べと日本酒に合う料理	一般	60人
令和7年11月29日	感謝祭いい肉の日	日頃の感謝をこめ肉尽くしの料理とドリンク飲み放題	一般	91人
令和7年12月13日	みんなで合同忘年会	カラオケバトルをしながらの忘年会	一般	29人
令和7年12月	ふるさと小包便（冬）	栗原のおすすめ商品を詰め込んだギフト（お歳暮）	一般	45人
令和7年12月31日	年越しオードブル	冷凍牛タン付きでお得感のあるオードブルの限定販売	一般	48人
令和8年1月22日～2月28日	立春ピザまつり	大人から子供まで人気のピザイベント	一般	83人
令和8年2月14日	食の陣	アトラクションを楽しみながら地元食材を使った料理を味わう。ドリンク飲み放題	一般	80人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化により、年々突発的な故障、修繕、また、地震や豪雨など災害時に損害箇所が増加している状況です。都度、栗原市へ報告相談し、調整してまいります。お客様のニーズに合った会場利用として、利用者からWi-Fi環境整備の要望を多く受けており、今後はWi-Fi環境の整備が急務であると考えております。	年々修繕必要箇所が増加しつつあり、細かな修繕は即時対応を行っているものの、急破修繕では対応できない規模のものも修繕を要する状況になってきています。これらについて、状況把握をするために調査を行い、コストを抑えつつも長期的な視野に立って施設運営を可能にするため、適切な修繕を行う必要があります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
同級会ご利用のお客様より、駅も近く、ホテルに宿泊もできるため、遠方からの出席者も多く、とても楽しく満足のいく同級会でした。	ご満足いただき、別の機会でも利用したいというお言葉をいただきました。今後も丁寧な対応を心掛けてまいります。
150名の立食パーティーご利用のお客様より、いろいろな要望に対応していただきありがとうございました。料理の品数が多く会場も広く、そしてホテル宿泊もでき、とても便利でよかったです。	料理内容や飲み物、会場レイアウト等多くの要望があり、随時打ち合わせし対応しました。今後もお客様の要望に添った提案で、満足していただけるよう努めてまいります。
送別会をご利用の学校関係者の方より、エポカは格式があって大変良い。とても気持ちよく利用させていただきました。	料理提供の順番や時間など、ベストな状態で召し上がれるようサービススタッフは事前にミーティングを行っております。
客室の清掃が行きとどいており素晴らしいです。静かな環境でゆっくり休めた。	清掃後、清掃担当者とフロントスタッフが、ダブルチェックを行っております。
朝食がおいしかった。ご飯がとてもおいしいので、おかわりしました。	朝食は、ヴュッフェスタイルでお客様が自由におかわりできるようにしています。米どころ栗原のご飯もホテルの売りとしてアピールしてまいります。
夕食付宿泊プランご利用のお客様より、料理の品数が多くて食べきれないくらいだった。ワンドリンクサービス券でワインも頂けた。また利用したい。	インターネット予約では、夕食付プランを販売しており、お客様から好評です。また、ワンドリンクサービス券を渡すことで更に、満足していただいております。
5階に宿泊したが、新幹線が見えて鉄道好きには嬉しい。5階展望レストランからの眺望もよかった。	立地条件を活かし、お子様がいらっしゃるご家族には客室、レストランから新幹線が見えることを説明し、リピーターに繋がるようアピールしております。
客室から、雁が飛んでいく様子が見え素晴らしかった。	野鳥観察を目的としたお客様には、できるだけ伊豆沼方面に向いている南側の部屋を提供しています。
野鳥観察の海外（アメリカ）からのお客様より、部屋も食事も素晴らしくとても思い出深い旅となり感謝しています。	インバウンドが増加している中、言語、文化の違いがあり難しい点もありますが、上手にコミュニケーションをとり、喜んでいただけるサービスを工夫してまいります。
新幹線ご利用のお客様より、お弁当等販売していないのか問い合わせがありました。	メニューにあるピラフ、ピザトースト、ホットサンド等はテイクアウトが出来る旨を伝えご利用いただきました。駅の中でお弁当類の販売がないので、喜んでいただきました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	今後、さらに体制を強化し管理運営に努める。	A	全体的な意識改革が必要と考えます。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	ゲストサービス課として、料飲、物産、ホテルをマルチタスク化して区切りなく業務を担っている。やや人員不足の部署もある。	B	限られた人員の中で、工夫・改善を行いながら業務を進めてください。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	サービス向上を目的に、バンケットやレストラン等に経験値のあるサービススタッフを配置し人材育成に努めている。	B	定期的に研修会等へ参加し、更なるスキルアップを要望します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により、6月と11月に消防訓練を行ない、避難誘導の再確認を行っている。	A	訓練のみならず、日々の環境整備についても要望します。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各課業務日誌、営業課においては個々の営業日誌を作成、決裁を得ている。	A	適切に行われています。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている。	A	適切に行われています。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	遂行している。	A	適切に行われています。	
(2) 施設管理の状況	A	施設管理の強化が課題である。	A	主体性を持った管理が行われています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A	これまで通り遵守してください。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃を専門業者に委託し環境を整えている。定められた点検を行っているが、突発的な故障も多く随時報告している。	A	長期に亘る施設管理の経験を活かし、不具合の早期発見に努めてください。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	行っている。経年劣化による突発的な修理修繕が多い。	B	故障後の修繕は高額になるため、未然に故障を防ぎ、経費削減に努めてください。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門的点検については、業者に委託し行っている。	A	専門業者と連携し、事故を未然に防ぐよう努めてください。	
⑤ 冷暖房の適切な温度設定と運転を心がけ、省エネルギーと光熱水費削減を行っているか。	A	行っている。常時ONにせず、会場の利用時のみスイッチを入れている。	A	こまめな節電を心掛けてください。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	接客のレベルアップを図る。また、SNSで情報発信を行っている。	B	利用者の満足度をさらに高める取り組みを期待しています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	お客様が見やすくホームページやインスタ等でも新着情報を発信している。また、市営駐車場の使用申し込み手続き等も迅速に行っている。	B	情報発信について、投稿頻度を上げる等、更なる強化が必要と思われます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	お客様からの意見には、できることから迅速に対応している。	A	引き続き改善に努めてください。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	要望、苦情には即、対応を心掛け行った。	B	今後もできるだけ迅速な対応を期待します。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	コンベンション、レストラン、観光物産館それぞれに自主事業を行い多くの方にご利用いただいた。	B	今後も、さらなる新たな取り組みを期待します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	イベントごとのお客様の声として、また参加したい。利用したいとの感想を多数いただいた。	A	利用者の増加につながるよう広く意見を汲み上げてください。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	丁寧な応対を心掛けており、適切であった。	B	良い印象づくりに努めてください。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	ホテルを核として収入増を図る。	B	抜本的な経営改善が求められます。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	最低賃金改定、物価高騰の仕入れへの影響、水道光熱費の増加などで経費が嵩み収益に影響があった。	C	自力での営業黒字を目指し、さらなる集客努力が必要と思われます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	ホテルの新プランの販売やホテル及び宴会プランやレストランの料金の見直しを行い収入の増加に努めた。	B	新たな自主事業等の創出による増益を期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	マイクロバスの送迎など多忙日の施設間での協力を行い経費の縮減を行った。	B	より高いコスト意識を持って努めてください。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	全て適正に、経理処理を行っている。	A	適正に行われています。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 原材料等物価の高騰から4月より宿泊、コンベンション及びレストランの料金値上げを行い、また、宿泊を伴う研修会や、同級会等の利用が増加傾向にあること、予約システムの販売料金設定にAIを導入したことにより、売上は前年を上回り前年比102.4%となりました。さらに、自主イベントや季節ごとのフェアの開催など集客力の向上に努めてまいりました。経費では、最低賃金の改定等から人件費が前年を上回ったものの飲・食材仕入、水道光熱費などの経費を抑え販売費及び一般管理費が前年比98.2%となりました。	B	＜施設所管課の所見＞ 原材料価格やエネルギー価格の高騰など、運営を取り巻く環境が依然として厳しい状況下において、適切に料金改定等の判断をされ、さらにAI技術を活用した販売戦略や自主イベントの企画等、集客力向上に向けた多角的な取り組みを推進されていること、大変頼もしく存じます。 また、人件費等の上昇という困難な要因がありながらも、仕入れの最適化や徹底した経費節減により、販売費及び一般管理費抑えられ、結果として売上高を着実に伸ばされたことは、貴社の経営努力の賜物であります。 引き続き経営改善に取り組んでいただくようお願いいたします。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市市民活動支援センター
施設所管部署名	企画部市民協働課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市市民活動支援センター		
施設所在地	栗原市築館伊豆二丁目6番1号（築館総合支所2階）		
設置年月	平成21年1月	設置根拠条例	栗原市市民活動支援センター条例
設置目的	市内で自主的な社会に貢献する活動を行い、かつ、当該活動に伴い利益を得た場合にその利益の分配を目的としない活動を支援し、その活動の拠点を提供する。		
施設概要	面積	延床面積 1,001．56㎡、 敷地面積 10,966．22㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 貸事務室、多目的室、大会議室、中会議室、小会議室、管理室、印刷室、給湯室、倉庫、キッズルーム、交流サロン、ミーティングスペース、貸ロッカー、エレベーター	
休館日	休館日：毎週月曜日、12月29日から翌1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
開館時間	午前9時 ～ 午後10時 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	〈利用料〉 ・貸事務所 1室1月3，140円、1室1日110円 ・多目的室 1時間につき310円 ・大会議室 1時間につき210円（中会議室と小会議室を同時に利用する場合） ・中会議室 1時間につき110円 ・小会議室 1時間につき110円 ・ロッカー大 1月につき310円、ロッカー中 1月につき210円 ・ロッカー小 1月につき110円 ・複写機 白黒複写1枚につき20円、多色刷り複写1枚につき60円 ・印刷機 1製版につき500枚あたり110円 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人Azuma-re	
	事務所所在地	栗原市築館伊豆二丁目5－39 ビジネスホテル志ばたや内	
指定の期間	令和4年 4月 1日～ 令和9年 3月 31日 （ 5年間）		
指定にかかる選定方法	☑ 公募 □ 非公募	指定管理料	38，256，000 円 （ 5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成22年 4月 ～ 平成26年 3月	管理委託	特定非営利活動法人Azuma-re	
平成26年 4月 ～ 平成29年 3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	
平成29年 4月 ～ 令和 4年 3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	307日	308日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）		38,334人	40,467人	－	105.6%
利用料金収入	1,315,500円	1,285,872円	1,419,136円	107.9%	110.4%
主な増減要因（前年比）	利用料金は前年より増加しており、主な要因として営利利用が増えたことが挙げられる。 利用者数については、前年度を上回る結果となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月～令和8年3月	レターBOXサービス	市民活動支援と施設の利便性を高めるため、団体の連絡先として私書箱（レターBOX）を月200円で利用してもらう	市民活動団体	12
令和7年4月～令和8年3月	FAX送受信サービス	市民活動支援と施設の利便性を高めるため、1枚50円でFAX送受信する	センター利用者	0

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・費用面において、電気代の支出は依然として大きい。引き続き節電に努めていきたい。 ・2026年1月より、全館でWi-Fiが利用可能となった。本来の利用目的を理解して使用していただく様、特に学生利用者への適切な声掛け等を行っていきたい。	継続して節電及び利用者への声掛けに努めていただきますようお願いいたします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
インターネットで予約できたり、部屋の予約状況を提示してもらえると便利になると思う。	ご要望に全てお応えすることは難しいが、より便利にご利用いただけるよう、頂いたご意見も含め、施設管理に努めたい。
休館日を日曜日にしてほしい（月曜日を開けてほしい）。	随時、所管課と協議・検討を行っている。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営している。	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理運営に必要な人員を確保し、運営している。	A	引き続き、適切な人員の配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	定期的にスタッフ間でのミーティングを行い、人材育成に取り組んでいる。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画に基づく避難訓練の実施や職員の勉強会を実施した。	A	引き続き訓練や勉強会を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管している。	A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定を整備した。	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A	引き続き、適切な管理・運営をしていただきたい。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行っている。	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A	引き続き、順守していただきたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理を行っている。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に修繕対応を行っている。	A	今後も修繕計画をたて、適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	適正に行われた。	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている。	A	引き続き、ワンストップでの対応等、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートを行い利用者の意見を反映させている。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	以前より要望があったWi-Fiが導入された。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	ミーティングスペースに地域づくりのヒント集やリーフレット等を設置した。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	99%の利用者が満足している。	A	今後も利用者満足と利用者数の向上に向けた取り組みに期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	身なりに気を付け、来館者との積極的なコミュニケーションを心がけるとともに、丁寧に案内対応を行っている。	A	今後も親切丁寧な対応をお願いします。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正に行われた。	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	概ね事業計画通りの実績となった。	A	引き続き、適切な施設管理に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	FAX、レターボックスサービスの提供で収入増加に努めた。	A	新規自主事業の導入等で、更なる増収を図っていただきたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	閉館から開館時間までの間ブレーカー（主電源）を切る。ミーティングスペースなどは天気・利用者の動向を見ながら電気を点灯させるなど、常に節電を意識している。	A	引き続き、適切な施設管理をしていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	NPO会計基準に則り処理されている。	A	引き続き、適切な施設管理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ●年間を通じて、事故なく施設の管理運営ができた。 ●利用者からの長年の要望であるWi-Fiの導入に至ることができた点については、とても良かった。 ●施設への要望およびアンケートより寄せられた意見について、汲み取れてはいるが未だ反映できていないものもある。特に多く寄せられる休館日の設定について、引き続き所管課と協議を続けていきたい。	A	＜施設所管課の所見＞ 事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。引き続き、サービス向上に向けた適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式６

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター
施設所管部署名	企画部市民協働課

１　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター		
施設所在地	栗原市一迫字川口中野30番地		
設置年月	昭和５６年８月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例、 栗原市農村環境改善センター条例
設置目的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び農村の環境整備の組織的な推進を図る為。		
施設概要	面積	延床面積　1,099.0㎡、敷地面積　2,793.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリー造　２階建て	
	施設内容	保健室・老人室、調理実習室、多目的ホール、生活改善室 青年の室、農事研修室、試食室・子供の室	
休館日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※　条例から変更の有無　　□有　■無		
開館時間	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター　午前9時00分 ～ 午後10時00分、 栗原市一迫農村環境改善センター　午前9時00分 ～ 午後9時30分 ※条例から変更の有無　□有　■無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　■指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	保健室・老人室、調理実習室、生活改善室、青年の室、試食室・子供の室 １時間につき　１１０円 多目的ホール　　１時間につき　３１０円 農事研修室　　１時間につき　２１０円 ※　条例から変更の有無　　□有　　■無	

２　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	
	事務所所在地	栗原市一迫字川口中野30番地	
指定の期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日　（3年間）		
指定にかかる選定方法	□　公募　■　非公募	指定管理料	8,253,568円（3年間）

３　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月　～　平成25年3月	管理委託	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	
平成25年4月　～　令和8年3月	指定管理	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	H28・H30・R1・R2・R5更新

４　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	290日	291日	289日	99.7%	99.3%
利用者数（延べ人数）	5,000人	3,913人	4,613人	92.3%	117.9%
利用料金収入	50,000円	34,066円	29,093円	58.2%	85.4%
主な増減要因（前年比）	２行政区が集会所として使っていたり、社会教育団体が利用しているので利用人数の割には利用収入は少なくなっています。又、コロナ禍で縮小されていた行事が復活したが、利用団体の解散もあり、以前のように戻っていない。				

5　自主事業等の実績　（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
「なし」				

6　施設の管理運営における課題　（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
建物が古くあちこちに劣化が見られ、修繕が不可能な所もいたる所に見られる。安全に関し業者から指摘のあった物件については早めに対応して欲しいと願います。	経年劣化による施設修繕箇所につきましては、予算の範囲内で優先順位の高いものから対応するよう、検討してまいります。

7　施設利用者からの主な意見等とその対応状況　（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
行政区の集会所は管理費に15～20万以上は必要なのに中町と東町は何でも無料で使えるのは不公平だと思う。	「市の条例により無料となっている」と話したものの、やはり不公平感を感じる。
２階の農事研修室及び青年の室にエアコンを設置して欲しい。	利用者の熱中症対策の観点から設置に向けて、市とも協議していきたい。
多目的ホールが夏暑く、冬寒すぎる。冷暖房設備を改善してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
２階使用時階段の利用が高齢化の為大変です。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。

8　総合的な評価　（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴　基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	引き続き、適切な人員配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	警備員には講習が必要と思う。	B		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年２回実施している。	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	引き続き、適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	引き続き、適切な情報管理をしていただきたい。	
⑵　施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の条例に基づき運用している。	A	引き続き、適正な施設管理に努めていただきたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	委託等で対応。	A	専門的な点検となることから、引き続き適切な管理をしていただきたい。	
⑤ 地域コミュニティと連携し利活用されているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
⑶　利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートをお願いしても書いてくれる人はいないので意見を聞いている。	A	アンケート記入の声がけをお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みはないが満足されていると思う。	A	今後も積極的な意見の取り入れをお願いいたします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、利用者満足度の向上につながる対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑷　運営の状況（収支の実績等）	B		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	利用が免除の使用が多く収入増加が見込めない。	A	収入増につながる新たな事業の実施に期待します。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	残念ながら取り組んでいない。	B	地域の状況を鑑みると難しいとは思いますが、引き続き、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電、節水、燃料費の削減等には努めている。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・コミュニティ事業を開催しても、コロナ禍以降参加者の高齢化が止まらず運営方法の見直しが不可欠です。 ・各団体からコピー機や印刷機の利用が多く大変重宝されている。 ・光熱水道費はサービス向上の妨げにならない程度の節電節水等を実施し、経費削減を図る。今後も地域に根ざした地元組織として、地域の声や意見を取り入れ、管理運営して行きたい。	A	＜施設所管課の所見＞ 事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。少子高齢化が進んでいる地域の実情を考えると新規事業の実施になかなか踏み切れない事情もあるかと思われますが、引き続き、地域コミュニティの基盤となる施設として適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式６

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター
施 設 所 管 部 署 名	企画部市民協働課

１　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施　設　名　称	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター		
施　設　所　在　地	栗原市一迫字上中島３９番地１		
設　置　年　月	昭和52年1月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例
設　置　目　的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び地域農業の発展を図るため。		
施　設　概　要	面　積	延床面積　527.0㎡、敷地面積　10,226.0㎡	
	構　造	軽量鉄骨造平屋建て	
	施設内容	会議室、講義室、調理実習室、軽運動場、管理棟	
休　館　日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※　条例から変更の有無　　□有　☑無		
開　館　時　間	午前9時00分 ～ 午後10時00分　※条例から変更の有無　□有　☑無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	会議室・講義室・調理実習室・管理棟　１時間につき　１１０円 軽運動場　１時間につき　３１０円 ※　条例から変更の有無　　□有　　☑無	

２　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指　定　管　理　者	事業者等名称	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫字上中島３９番地１		
指　定　の　期　間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日　（3年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　☑　非公募		指定管理料	6,803,568円（3年間）

３　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期　　間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月　～　平成25年3月	管理委託	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	
平成25年4月　～　令和8年3月	指定管理	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	H28・H30・R1・R2・R5更新

４　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実　　績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開　館　日　数	250日	259日	259日	103.6%	100.0%
利用者数（延べ人数）	2,200人	2,313人	2,309人	105.0%	99.8%
利　用　料　金　収　入	3,000円	1,628円	1,452円	48.4%	89.2%
主 な 増 減 要 因（ 前　年　比 ）	施設利用料が免除となる社会教育団体に登録している団体の利用が殆どなので利用料の増収には繋がらなかった。				

5　自主事業等の実績　（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和８年３月８日	ボッチャ大会	ボッチャ競技を実施	長崎地区民	２４名

6　施設の管理運営における課題　（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化、経年劣化があり修繕しなければいけない箇所が多くある。当協議会でも話し合い優先順位の高いものから修繕に努め、利用者の皆さんが安全に利用できる施設の維持を行っていきたいと思います。	老朽化による施設修繕箇所につきましては、優先順位の高いものから対応するよう、検討してまいります。

7　施設利用者からの主な意見等とその対応状況　（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
駐車場にラインを引いて欲しい。一迫のコミュニティセンターで長崎だけラインを引かれていない。	市と協議をしていきたい。
管理棟の東側にも網戸をつけて欲しい。	令和７年度に網戸取り付け完了しました。
会議室をフローリングにして椅子とテーブルにして欲しい。	足腰の悪い方にはパイプ椅子を用意し対応しています。
トイレの個室が狭いので、一カ所でいいので広いトイレを作って欲しい。	これ以上の修繕は難しことをお伝えしました。
コミュニティセンターも管理棟も屋根が錆びているが塗り替えはしないのか役員会でもアンケートでもご指摘を受けました。	市とも協議はしましたが、雨漏りなどがなければ対応は難しいとのことでお話ししました。
コミュニティセンターの入口付近や駐車場のアスファルトに亀裂や溝があったり、穴が開いている所、アスファルトが凹んでいる所があり、雨だと水溜まりになっていて、歩いてくる際は危ないなと思うことがある。	高齢者の方々の利用が殆どなので市と協議をしていきたい。

8　総合的な評価　（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴　基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理運営に必要な人員を確保している。	A	引き続き、適切な人員配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を行い、サービスの向上に努力している。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に管理・保管を行っている。	A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定に基づいて行っている。	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
⑵　施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	開館及び利用時間、利用料金を遵守した。	A	引き続き、適正な施設管理に努めていただきたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	ワックス清掃、保守点検等適切に行った。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	業者に委託し、専門的点検を定期的に実施した。	A	専門的な点検となることから、引き続き適切な管理をしていただきたい。	
⑤ 地域コミュニティと連携し利活用されているか。	A	コミュニティと連携し除草作業等行い施設管理を行った。	A	引き続き適切な管理運営をしていただきたい。	
⑶　利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に行った。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	引き続きアンケート記入の声掛けをお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	利用者の方の要望は役員会の際に話し合い、一つ一つ取り入れた。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者の方々には満足していただけた。	A	今後も積極的な意見の取り入れをお願いいたします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、利用者満足度の向上につながる対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑷　運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	利用者の増加に向けた事業等の実施を検討願います。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用団体の殆どが社会教育団体の為なかなか増収には繋がらなかった。	B	利用団体の多くが減免団体のため難しいとは思いますが、引き続き、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電、節水に努めた。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に経理を行い、監査も無事終了した。	A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 費用の掛かってしまう要望やご指摘が多く、なかなか対応が難しいことも多いですが、できる限り迅速に対応し、今後も地域に根差した地元組織として利用者の増加に繋がるよう管理運営を行っていきたいと思います。	A	＜施設所管課の所見＞ 事業計画に基づき、利用者の満足度向上に向けて日々適正に運営されていると認めます。 引き続き、地域コミュニティの基盤となる施設として適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式６

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター 一迫農村婦人の家
施設所管部署名	栗原市企画部市民協働課

１　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家		
施設所在地	栗原市一迫北沢十文字62番地5		
設置年月	昭和58年3月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例 栗原市農村婦人の家条例
設置目的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び地域農業の発展を図るため。		
施設概要	面積	延床面積　662.0㎡、敷地面積　5,803.0㎡	
	構造	軽量鉄骨造平屋建て	
	施設内容	保健室（和室）、研修室（和室）、軽運動場、加工室、事務室、トイレ	
休館日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※　条例から変更の有無　　□有　■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分　※条例から変更の有無　□有　■無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　■指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	保健室、研修室、加工室　１時間につき　１１０円 軽運動場　１時間につき　３１０円 ※　条例から変更の有無　　□有　　■無	

２　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫北沢十文字６２番地５		
指定の期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日　（3年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　■　非公募		指定管理料	6,113,568円（3年間）

３　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 平成25年3月	管理委託	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	
平成25年4月 ～ 令和8年3月	指定管理	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	H28・H30・R1・R2・R5更新

４　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和７年度）	前年度（令和６年度）	評価対象年度（令和７年度）	（%）	（%）
開館日数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	1,600人	1,612人	2,333人	145.8%	144.7%
利用料金収入	140,000円	111,991円	67,476円	48.2%	60.3%
主な増減要因（前年比）	利用者数の大幅増に関しては、今年度は選挙の投票所として３回利用された事によるものであり、年々減少傾向にある。利用料金収入の減は、調理加工室での農産加工の利用が減り、加工料の減が大きい要因となっている。				

5　自主事業等の実績　（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6　施設の管理運営における課題　（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年劣化箇所が建物や備品（農産加工機械等）において増えてきている。施設を安心安全、快適に利用していただけるよう市と協議の上、修繕を検討していきたい。	経年劣化による施設修繕箇所につきましては、予算の範囲内で優先順位の高いものから対応するよう検討してまいります。

7　施設利用者からの主な意見等とその対応状況　（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
高齢者や足が不自由な方が座敷に座るのが大変である。	座敷用イスの購入や、テーブル席にするなど検討しているが、予算がなく実現できていないのが現状である。
敬老会を開催する軽運動のお手洗いが和式で狭く、段差もあり危ない。	バリアフリー化の要望を市に相談した事があるが、難しい現状にある。

8　総合的な評価　（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴　基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理人、警備員を配置し、共に防災管理者資格を取得している。	A	引き続き、適切な人員配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	自主防災事業で被災時の対応の講演を聴講し、緊急時に備えている。	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報は厳重に管理している。	A	引き続き、適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	指定管理者協定書に基づき管理運営を行った。	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
⑵　施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守し、利用いただいている。	A	引き続き、適正な施設管理に努めていただきたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	消防設備点検、施設床清掃を委託し実施している。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と相談しながら修繕対応している。	A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	農産加工機械設備の保守点検を専門業者に委託し実施している。	A	専門的な点検となることから、引き続き適切な管理をしていただきたい。	
⑶　利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	いただいたご意見は、役員で検討し、反映できるよう取り組んでいるが、大きな修繕等は対応が難しい。	B	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	役員で共有し、改善できるよう取り組んでいる。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みを検討していきたい。	B	新規事業の実施を検討願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、利用者満足度の向上につながる対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑷　運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	利用者の増加に向けた事業等の実施を検討願います。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	収入減となっている為、利用の増加を含め、今後、課題としていきたい。	B	地域の高齢化などの課題もありますが、引き続き、利用者増加に向けた事業実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	光熱費が値上がりしている為、節電、節水は常に心掛けている。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座で管理し、適正に経理を行った。	A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 一番の課題は施設の利用減少（利用者団体の解散や、地域の少子高齢化等の影響）と考えている。また、利用者の多くは減免団体であり利用料収入の増加は難しくある。 当施設は、栗原市農村婦人の家として、農産加工機械の設備が充実しているので、農産加工グループの方々と相談協力しながら、利用の増加の推進に努めていきたいと思います。	A	＜施設所管課の所見＞ 事業計画に基づき、利用者の満足度向上に向けて日々適正に運営されていると認めます。 地域の少子高齢化に伴う利用者の減少等課題点も多くありますが、引き続き、地域コミュニティの基盤となる施設として適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館高齢者福祉センター
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館高齢者福祉センター		
施設所在地	栗原市築館薬師三丁目6番1号		
設置年月	昭和55年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設置目的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。		
施設概要	面積	延床面積　907．41 ㎡、　敷地面積　2，371．34 ㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造　2階建	
	施設内容	玄関、ホール、会議室　外	
休館日	月曜日、12月29日～1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前9時00分　～　午後9時30分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ・ホール　1時間　310円 ・研修室（和室）1時間　110円 ・研修室及び会議室　1時間　110円 ・調理室　1時間　110円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募		指定管理料	18，200，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月　～　令和11年3月	指定管理	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	307日	307日	307日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	4,550人	3,884人	4,262人	93.7%	109.7%
利用料金収入	157,000円	148,610円	147,240円	93.8%	99.1%
主な増減要因（前年比）	前年度に比べ、利用者数は378名の増となったが、減免申請により利用料が1,370円減収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕が伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築後４５年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。令和７年度は和室にエアコンを設置しております。今後の施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
2階の畳を新しく交換してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
1階多目的ホールのエアコンのリモコンが1つしかなく、代替品が入手できないため、エアコンを新設してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
1F多目的ホールの証明をLEDにしていただき、快適に過ごしている。	令和７年度修繕。
1階和室、2階和室にエアコンを取り付けていただき、快適に過ごしている。	令和７年度修繕。
1階調理室の側面にあるコンセントが使用不可のため、使用できるようにしてほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
玄関自動ドアのセンサーが不調で、勝手に開くときがある。修繕してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の個人情報保護規定に基づき、個人情報の管理・漏洩防止を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	必要な修繕を行い、10万円以上となる修繕は市と協議し行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な保守・点検業務を実施し、施設の維持管理に努めている。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応が出来るように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズをとらえられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートの実施ができなかったため、今後実施したい。	B	利用者からの意見を拾い上げてはいるが、アンケートを実施し、適切に意見を把握するようお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		－		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の評価をチェックし、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用しやすい環境整備に努めていきたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は、対前年度比8%の増となった。 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置を行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営されていますが、利用者数が増加している一方で、収入は減少しております。今後は外部に向けた積極的なPRや利用者アンケートの実施を通じて利用者ニーズの把握に努めるとともに、ニーズに即したサービスの提供や利用促進につながる取組を進められることを期待しております。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設			
施設所在地	栗原市栗駒八幡西沢10番地1			
設置年月	平成8年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例	
設置目的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る			
施設概要	面積	延床面積　1468．70㎡、　敷地面積　7378．00㎡		
	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、屋内ゲートボール場		
	施設内容	（施設内の設置室内容） 賢候ホール、和室、調理実習室、屋内ゲートボール場		
休館日	※　条例から変更の有無　☑有　☐無			
開館時間	午前8時30分　～　午後5時00分　　※　条例から変更の有無　☑有　☐無			
施設利用料金	利用料金制	☐採用　☐採用無　☑指定管理料と併用　☐指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとの記載 ・健康ホール　1時間310円　・和室　1時間110円 ・調理実習室　1時間110円　・屋内ゲートボール場　1時間310円 ※条例から変更の有無　☐有　☑無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	公益社団法人栗原市シルバー人材センター		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南戸の西4番地		
指定の期間	令和6年4月1日　～　令和11年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐　公募　　☑　非公募	指定管理料	21，800，000円　（5年間）	

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年4月　～　令和11年3月	指定管理	公益社団法人栗原市シルバー人材センター	R6.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	246日	247日	250日	101.6%	101.2%
利用者数（延べ人数）	4,500人	4,367人	6,086人	135.2%	139.4%
利用料金収入	97,000円	65,627円	49,693円	51.2%	75.7%
主な増減要因（前年比）	利用者数の増については、栗原市・宮城県・衆議院・参議院の選挙が重なったことが主な要因である。利用料金収入の減については、ゲートボール場利用団体の利用日数減によるもの。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・鉄骨ビニールハウスの撤去を希望。 ・施設老朽化に伴い、建物内倉庫の雨漏りの外、調理室にも若干の雨漏りがみられる。 ・健康ホール照明のLED化されていない8箇所中、4箇所が不良のため、今後の修繕を考慮し、8箇所すべてのLED化を希望。	建築から25年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特に意見、要望なし	

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適正に管理運営されています。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	市役所OBを配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	指定管理業務知識のある人材を配置している。	A	適正でありますが、研修等に参加しスキルアップに努めるようお願いします。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適正に管理運営されています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適正に管理運営されています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に行っている。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	苦情はなかった。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	―	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	―	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足度が得られている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である。	B	利用料金収入以外は適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	具体的な取り組みはない。	B	利用者促進への取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	常に経費縮減に努めている。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・エアコン設置により、例年減少していた夏季の利用者が増加した。快適な状態で施設が利用できるため、今後も利用者増加に繋がる取り組みを継続したい。 ・令和7年度のアンケートでは、特に要望等はなかった。今後も、利用しやすい環境づくりを推進していきたい。	A	＜施設所管課の所見＞ 適正に管理されていますが、ゲートボールの利用者数が年々減少している状況を整理し、施設の利活用に向けて新たな屋内競技として取り組みを検討するなど、利用者の確保に向けた取り組みをお願いします。 引き続き夏季の快適な状態で施設利用ができることを周知することによる利用者増加に向けてご尽力ください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市一迫老人福祉センター
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市一迫老人福祉センター			
施設所在地	栗原市一迫真坂字高橋20－1			
設置年月	昭和59年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例	
設置目的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。			
施設概要	面積	延床面積669．03㎡、　敷地面積9，311．00㎡		
	構造	鉄筋コンクリート造平屋建		
	施設内容	（施設内の設置室内容） 健康相談室、生活相談室、教養娯楽室、図書兼会議室、料理実習室、集会室		
休館日	12月29日～1月3日 ※　条例から変更の有無　☑有　☐無			
開館時間	午前9時　～　午後9時　　※　条例から変更の有無　☐有　☑無			
施設利用料金	利用料金制	☐採用　☐採用無　☑指定管理料と併用　☐指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 健康管理室　1時間110円、生活相談室　1時間110円 教養娯楽室　1時間110円、図書及び会議室　1時間110円 料理実習室　1時間110円、集会室　1時間310円 ※　条例から変更の有無　☐有　☑無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	
	事務所所在地	栗原市一迫真坂字高橋20－1　栗原市一迫老人福祉センター内	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	☐　公募　　☑　非公募	指定管理料	30，550，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月　～　平成28年3月	直営		
平成28年4月　～　令和　8年3月	指定管理	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	4,000人	4,996人	6,272人	156.8%	125.5%
利用料金収入	29,000円	28,927円	49,025円	169.1%	169.5%
主な増減要因（前年比）	行政関連、自治会、スポ少、指定管理者に関しての利用料金が免除対象のため、昨年度の利用料金に関しては成果を達成することが出来ませんでしたが、今年度は利用者数・利用料金共に上回る事ができました。利用者さんの満足向上に取り組み、適切な管理が出来るように務めてまいります。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
市民の高齢者福祉活動の拠点として、施設を気軽に利用していただけるよう、施設内設備の点検や清掃等に配慮し、良好な施設環境づくりに務めています。利用者の方々が不便を感じる意見を確認しながら、サービス低下にならないよう運営してまいります。今後、規模の大きい修繕等がありましたら、協議の程、宜しくお願いいたします。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。特に衛生面は利用者満足度に繋がりやすい箇所であり清掃等配慮していることも、利用者の増に繋がっていると思います。 施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和8年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
老人福祉センター内のトイレが狭く古く寒い。施設自体が老朽化してきている。	施設自体が老朽化してきているので、その箇所に応じて修理等の対応はしております。大きい修繕に関しては、栗原市と協議してまいります。
自治会での利用なので、利用料金は発生しませんが、施設内も清掃が行き届いており、とてもきれいです。今後も利用していきたいと思います。	週に一度、清掃員が利用する部屋全て清掃してるので、きれいに保たれています。
いつも親切、丁寧に対応していただき、気持ち良く利用しています。これからも面倒を見てください。	利用者さんには常に丁寧に対応するよう、心掛けています。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	従業員・警備員でローテーションを行い、対応している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練等を年2回実施している。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者に点検してもらっている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート結果に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	すぐに対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	―		―	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	得られている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である。	A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	―		A	利用促進に繋がる取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	経費節減の実績を得られた。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に行われている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は前年対比125.5%、利用料金は前年対比169.5%となり、どちらも上回っています。利用者の皆さんに、気持ちよく利用して頂けるように、各部屋の掃除を徹底しています。栗原市内の利用者だけではなく、市外一般の団体等、会議等の会場として施設の貸し出しを活用しております。	A	＜施設所管課の所見＞ 適正に管理され、利用者数及び利用料金が大幅に増となっております。市内だけでなく市外の団体への貸出など十分に活用されております。 今後も利用者の気持ちを考え、丁寧な対応と快適な環境で利用していただけるような取り組みをお願いします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市鶯沢老人福祉センター
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市鶯沢老人福祉センター			
施設所在地	栗原市鶯沢南郷下久保21番地1			
設置年月	平成元年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例	
設置目的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。			
施設概要	面積	延床面積807．4㎡、　敷地面積3，604．58㎡		
	構造	木造　平屋建		
	施設内容	栄養指導室、教養娯楽室、相談室、工作室、集会室、運動指導室、図書室　外		
休館日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※　条例から変更の有無　☑有　☐無			
開館時間	午前8時30分　～　午後5時00分　　※　条例から変更の有無　☐有　☑無			
施設利用料金	利用料金制	☐採用　☐採用無　☑指定管理料と併用　☐指定管理料のみ		
	設定金額	集会室及び運動指導室　1時間につき300円、栄養指導室　1時間につき100円 教養娯楽室　1時間につき100円、相談室　外　1時間につき100円 ※　条例から変更の有無　☐有　☑無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	☐　公募　　☑　非公募	指定管理料	11，100，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月　～　令和11年3月	指定管理	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	242日	243日	242日	100.0%	99.6%
利用者数（延べ人数）	2,000人	1,254人	1,181人	59.1%	94.2%
利用料金収入	5,000円	3,348円	14,267円	285.3%	426.1%
主な増減要因（前年比）	前年度に比べ、利用者数は73名の減となったが、減免対象にはならない新規利用者がおり、利用料が10,919円増収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築後35年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
集会室のふすまを交換し、快適に過ごしている。	令和7年度修繕。
玄関自動ドアのセンサーが不調で、勝手に開くときがある。修繕してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
屋根の塗りをしてほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の個人情報保護規定に基づき、個人情報の管理・漏洩防止を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされております。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	利用者からの意見を拾い上げてはいるが、アンケートを実施し、適切に意見を把握するようお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		－		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の評価をチェックし、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされております。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	利用者数以外は適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用料収入が、対前年度比4．26倍の増となった。 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営されていますが、アンケートが未実施となっているため、利用者の意見を集約し、よりニーズに応える取り組みができるよう期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市瀬峰ふれあいセンター
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市瀬峰ふれあいセンター		
施設所在地	栗原市瀬峰下田地内		
設置年月	平成13年6月	設置根拠条例	栗原市介護予防拠点施設条例
設置目的	高齢者等の介護予防と健康増進のための事業を進めるとともに、地域住民と高齢者が一体となった介護知識と介護方法の普及を図る。		
施設概要	面積	延床面積611．99㎡、　敷地面積3，939．43㎡	
	構造	木造・鉄筋コンクリート造　平屋建	
	施設内容	研修室、室内ゲートボール場	
休館日	※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前　9時00分　～　午後　9時00分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 室内ゲートボール場　1時間310円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市瀬峰下田97番地11		
指定の期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募		指定管理料	1，950，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年　9月　～　令和12年　3月	指定管理	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	R7.4更新

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	110日	123日	138日	125.5%	112.2%
利用者数（延べ人数）	1,400人	1,553人	1,643人	117.4%	105.8%
利用料金収入	74,000円	79,450円	81,700円	110.4%	102.8%
主な増減要因（前年比）	健康意識の高まりや、冬場でも屋内でスポーツができる施設の認識が浸透してペタンク愛好会や減少傾向のゲートボール愛好者の冬季間の室内利用が増加の原因と思われる。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
R7.4.19	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人
R7.7.20	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人
R7.10.11	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人
R8.1.11	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
全国的にゲートボール愛好者の減少が顕著なことは明白で、県老連のスポーツ大会でゲートボール大会は昨年度から中止となりました。 そのため、昨年から市老連大会では新種目としてモルック競技が行われたこともあり、瀬峰地区老連では施設の利用増を図るため屋内ゲートボール場でモルック大会を実施した。（1日だけで約70人利用） しかし、施設の利用人数は増えても利用料収入には比例せず運営面では大きな課題である。	大会の中止や競技人口の減少など厳しい状況ではありますが、新たな種目での大会を実施するなど利用者増につながっているとのことです。利用収入にすぐに繋がらないかもしれませんが、認知度が浸透し利用が増えていくことを期待しています。 また、施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適正に管理運営がされています。	
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	適正であると認めます。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適正に管理運営がされています。	
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適正に管理運営がされています。	
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	適正であると認めます。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	－		B	アンケート結果を分析し、利用者がより満足を得られるよう期待します。	
⑥利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適正に管理運営がされています。	
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
②積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	適正であると認めます。	
③積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 屋内競技場としての、特性が知れてきて冬期間でも利用日数が多くなってきている。	A	＜施設所管課の所見＞ 総合的に見て適正に管理運営されております。今後はアンケートの集約を図り、多くの意見を聴き、より利用者の希望に応える取り組みができるよう期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎上小路136番地		
設置年月	昭和59年2月	設置根拠条例	栗原市老人福祉施設条例
設置目的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施設概要	面積	延床面積328．13㎡、　敷地面積1，707．93㎡	
	構造	鉄骨造、一部木造　平屋建	
	施設内容	保健体育室、創作室、教養室　外	
休館日	月曜日、12月29日～1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前8時30分　～　午後5時00分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	保健体育室　1時間につき300円、創作室　1時間100円、教養室　1時間につき100円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募	指定管理料	3，250，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月　～　令和11年3月	指定管理	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	306日	308日	100.0%	100.7%
利用者数（延べ人数）	3,400人	2,881人	2,953人	86.9%	102.5%
利用料金収入	168,000円	140,006円	140,333円	83.5%	100.2%
主な増減要因（前年比）	前年度に比べ、利用者数は72名の増となり、利用料も327円増収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築後40年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。令和7年度は体育館へエアコンを設置しております。今後の施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
照明をLEDに交換して欲しい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
創作室の冷房がほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
扉が重く、開閉困難なため、扉を軽いものにしてほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の個人情報保護規定に基づき、個人情報の管理・漏洩防止を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズをとらえられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	利用者からの意見を拾い上げてはいるが、アンケートを実施し、適切に意見を把握するようお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		－		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の評価をチェックし、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	普段から清潔感のある身なりを心がけている。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	B	収支の改善に期待します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	収支及び利用者数等とも、計画通りの運営となるようお願いします。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		B	経費削減につながる取り組みに期待します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は、対前年度比2%の増となった。 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営されております。一方で、利用者アンケートが未実施となっていることから、今後はアンケートの実施を通じて利用者ニーズの把握に努めるとともに、ニーズに即したサービスの提供や利用促進につながる取組を進めることで、さらなる利用者数の増加につながることを期待しております。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	栗原市栗駒老人憩いの家
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施　設　名　称	栗原市栗駒老人憩いの家			
施　設　所　在　地	栗原市栗駒岩ケ崎上小路136番地			
設　置　年　月	昭和52年4月	設置根拠条例	栗原市老人福祉施設条例	
設　置　目　的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリェーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。			
施　設　概　要	面　積	延床面積236．70㎡、　敷地面積1，707．93㎡		
	構　造	木造　平屋建		
	施設内容	集会室、小会議室、研修室　外		
休　館　日	月曜日、12月29日～1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　☑無			
開　館　時　間	午前8時30分　～　午後5時00分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無			
施 設 利 用 料 金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	集会室　1時間につき100円、研修室　1時間につき100円 小会議室　1時間につき100円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指　定　管　理　者	事業者等名称	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号	
指　定　の　期　間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募	指定管理料	6，100，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期　　間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月　～　令和11年3月	指定管理	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実　　績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開　館　日　数	308日	306日	308日	100.0%	100.7%
利用者数（延べ人数）	1,650人	2,068人	1,717人	104.1%	83.0%
利　用　料　金　収　入	34,000円	43,285円	41,371円	121.7%	95.6%
主な増減要因（前年比）	前年度に比べ、利用者数が351名減少したことにより、利用料も1,914円の減収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築後45年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
玄関に取っ手をつけていただき、出入りが楽になった。	令和7年度修繕。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の個人情報保護規定に基づき、個人情報の管理・漏洩防止を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	利用者からの意見を拾い上げてはいるが、アンケートを実施し、適切に意見を把握するようお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		－		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の評価をチェックし、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	普段から清潔感のある身なりを心がけている。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	B	今後利用増加に向けた取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営されていますが、前年度より利用者数及び収入が減少しております。今後は外部に向けた積極的なPRや利用者アンケートの実施を通じて利用者ニーズの把握に努めるとともに、ニーズに即したサービスの提供や利用促進につながる取組を進められることを期待しております。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	栗原市志波姫老人憩いの家
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施　設　名　称	栗原市志波姫老人憩いの家		
施　設　所　在　地	栗原市志波姫沼崎原83番地1		
設　置　年　月	昭和54年3月	設置根拠条例	栗原市老人福祉施設条例
設　置　目　的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施　設　概　要	面　積	延床面積263．67㎡、　敷地面積1，684．80㎡	
	構　造	木造　平屋建	
	施設内容	集会室、娯楽室　外	
休　館　日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開　館　時　間	午前9時00分　～　午後5時00分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	集会室　1時間につき100円、娯楽室　1時間につき100円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指　定　管　理　者	事業者等名称	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指　定　の　期　間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募		指定管理料	1，700，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期　　間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月　～　令和11年3月	指定管理	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実　　績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開　館　日　数	242日	243日	242日	100.0%	99.6%
利用者数（延べ人数）	1,550人	1,035人	1,073人	69.2%	103.7%
利　用　料　金　収　入	15,000円	16,500円	14,784円	98.6%	89.6%
主な増減要因（前年比）	前年度に比べ、利用者数は38名の増となったが、減免申請により利用料が1,716円減収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築後40年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。令和7年度は畳修繕工事を行っております。今後の施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
多目的室の畳が新しくなり、快適に過ごしている。	令和7年度修繕。
駐車スペースの枠線を引いてほしい。	社協で対応したいと思います。
敷地内にある桜の木が電線に架かる可能性があり、対策を検討してほしい。	令和7年度に木の伐採を実施したが、今後の対策について栗原市と相談したいと思います。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の個人情報保護規定に基づき、個人情報の管理・漏洩防止を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	必要な修繕を行い、10万円以上となる修繕は市と協議し行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な保守・点検業務を実施し、施設の維持管理に努めている。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズをとらえられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	利用者からの意見を拾い上げてはいるが、アンケートを実施し、適切に意見を把握するようお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		－		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の評価をチェックし、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用者を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は、対前年度比3%の増となった。 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営されていますが、利用者数が増加している一方で、収入は減少しております。今後は外部に向けた積極的なPRや利用者アンケートの実施を通じて利用者ニーズの把握に努めるとともに、ニーズに即したサービスの提供や利用促進につながる取組を進められることを期待しております。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市高清水デイサービスセンター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市高清水デイサービスセンター		
施設所在地	栗原市高清水東舘34番地		
設置年月	平成 7年 3月	設置根拠条例	栗原市デイサービスセンター条例
設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施設概要	面積	延床面積 2，505.76 ㎡、 敷地面積 3，460.00 ㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休館日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無		
開館時間	午前 8 時 30 分 ～ 午後 5 時 15 分 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無		
施設利用料金	利用料金制	☑採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 12 年 3 月 31 日 （ 5 年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ☑ 非公募		指定管理料	なし （ 5 年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和8年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R7.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	309日	308日	309日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）	4,560人	4,857人	4,489人	98.4%	92.4%
利用料金収入	0円	0円	0円	－	－
主な増減要因（前年比）	利用者定員25名から地域密着型18名に変更となり利用者数は減少するも、介護度別で前年度より介護度が上がったため増収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年6月	地域住民参加型交流会	デイ事業説明、ミュージックライブ、相談ブース	地域住民	54名
令和7年11月	一迫デイ交流会	健康体操、レクリエーション	高清水・一迫デイ利用者	31名
令和8年2月	地域住民参加型交流会	デイ事業説明、健康体操、レクリエーション、相談ブース	地域住民	66名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化が進んでおり劣化が著しい。施設管理における修繕については、機械室の大型電気温水器制御盤タイマーと、一般浴槽底部ジェットバスのボルト取付け修繕をしていただいたが、特殊浴槽シャワーの温度調節部分の不具合により、一定温度の供給ができない状態が続いている（見積額1,176,120円・R8.1月現在）。また多目的ホール前天井の雨漏りは栗原市へ報告し現地調査していただいております。職員玄関前の風よけが劣化により倒れた。天候により利用者出入りもあるため仕切り設置の検討をいただきたい。	建築後30年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。令和7年度は電気温水器タイマーやジェットバスボルト修繕を行いました。施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えております。令和8年度については、男子浴槽用昇温器温度調節器の修繕を予定しております。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
連絡帳の内容について、デイでの様子がきちんと記入されているので助かっている。	これからもデイサービスでの利用状況や訓練内容等、わかりやすい記入を心がけてまいります。
歩行訓練で以前よりも歩けるようになりました。	無理なく身体を動かすことで、日々の生活動作が続けられるよう支援していきます。
足のリハビリがしたい。	現状では平行棒、階段昇降、廊下歩行と下肢機能の向上に焦点を当て取り組んでおります。
機能訓練やレクリエーションは楽しめる工夫がなされていていい取り組みだと思います。	マンネリ化せず無理のない提案を行っていきたいと考えております。
交流会に何度か参加させていただきました。楽しい雰囲気と地域の方が気軽に出かけられる場所づくりはいいことだと思います。	雰囲気づくりを大切にしながら対応に努めていきたいと考えております。
2月の交流会は福祉用具や専門職の説明があって介護に役立つ情報の場となり良かったです。	今後も集いと情報が発信できることの企画検討してまいります。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会・サービス向上検討会等を計画的に企画し実施、外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	常に、サービス意識の向上に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署立会いにより実施している。	A	災害時の対応訓練ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規程に基づき、守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	保守・点検を適切に実施している。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し、介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	日々の業務後に清掃を行ない、定期的に点検を行なっている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	職員で小まめに確認し、不具合が生じる前に専門業者へ点検依頼している。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について改善を図った。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括支援センターやケアマネジャーへ情報提供を行い、利用者の選択に基づき、契約を行い、迅速に利用できる対応を行った。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対処を検討し、検討内容を家族に回答。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	利用者・家族様との対話やアンケート等で頂いた要望に出来る限り対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	2ヶ月に1回デイだよりを発行。社協支部委員等へ配布。また、出前講座等により施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足69%」「まあまあ満足28%」『普通3%』計100%満足の回答をいただいた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて、満足度は71%と昨年より改善されている。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	地域密着型に移行し、基本報酬の上昇、また平均介護度もあがったことにより増収につながった。	A	特に問題もなく、適正に管理運営されています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	介護度平均があがったことにより増収につながった。	A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	地域参加型交流会や出前講座、デイだよりの発行を継続しPRに努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	一日あたりの職員配置数を最小限とし、効率よく運営を行い人件費支出を抑えた。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 令和7年4月より通常規模型から地域密着型へ移行し、定員が25名から18名へ減少したことで、前年度比368回の減となった。一方で、基本報酬の増額や要介護度平均の上昇により、収入は前年度比+4,571千円の増加となった。 支出面では、定員数に応じた職員数の削減があったものの、人件費高騰や猛暑対策による増員の影響で前年並みの水準となった。車両の小型化など事業費の削減に努めた結果、収支差額は増加した。今後も支出抑制を継続しつつ、収入増につながる取り組みを実施していく。また、増強対策として、年2回（6・2月）に地域住民参加型交流会を開催し、120名の参加が得られた。引き続き、地域との関係構築を進め、利用者確保に取り組んでいく。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営され、収支は保たれております。 今後もアンケート等を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、ニーズに即したサービスを提供することで、利用者数の増加につながることを期待しております。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市金成デイサービスセンター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市金成デイサービスセンター			
施設所在地	栗原市金成沢辺町沖200			
設置年月	平成10年6月	設置根拠条例	栗原市デイサービスセンター条例	
設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。			
施設概要	面積	延床面積 1,989.70 ㎡、 敷地面積 12,589.22 ㎡		
	構造	鉄筋コンクリート造3階建（うち1階部分の一部）		
	施設内容	（施設内の設置室内容） 食堂、日常訓練室、養護室、浴室、事務室等		
休館日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無			
開館時間	午前 8時 30分 ～ 午後 5時 15分 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無			
施設利用料金	利用料金制	☑採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指定の期間	令和7年4月1日～ 令和12年 3月31日 （ 5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ☑ 非公募		指定管理料	なし （ 5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年 9月 ～ 令和10年 3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R7.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（ 7 年度）	前年度（ 6 年度）	評価対象年度（ 7 年度）		
開館日数	309日	308日	309日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）	4,478人	4,514人	3,644人	81.4%	80.7%
利用料金収入	0円	0円	0円	-	-
主な増減要因（前年比）	7月移行、利用者（複数回利用）の長期入所や入院、死亡等が相次ぎ充足率が70%台（7月一日平均14名から50%台（3月一日平均9.8名）に大幅な減少となってしまった。その後、新規契約に至らず、低迷が続いている。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年9月3日	いきいき交流会	デイの1日を紹介（スライドショー）、軽体操、レクリエーション交流会	地域住民	27人
令和8年2月17日	地域住民つながる絆交流会	軽体操、皆で歌おう（ボランティア）、相談ブース、カフェブース、デイ見学	地域住民	33人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
令和7年度はボイラーの故障により1週間入浴提供ができなく、その後修繕していただいた。浴室の蛇口、身障トイレの蛇口の水漏れもあり蛇口の交換をして頂きましたが、全体的に老朽化が進んでいます。 重油代の高騰を含む光熱費の増加がみられるようになってきています。	令和7年度は給湯ボイラーに係る修繕工事を実施いたしました。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断させていただきます。令和8年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
連絡帳の内容について、デイでの様子や体調の様子が分かり、受診の際にも助かります。	詳しく利用が分かるような記入を心がけています。トイレの回数や排便の有無など利用者ごと必要な事項にも対応しお伝えしています。
利用日以外の利用にも、すぐ対応していただきありがたい。	臨時利用や振替利用については、お気軽に相談いただき、柔軟に対応してまいります。
送迎について、家族の都合で対応していただいたり、状態に合わせて対応して頂いている。	送迎時はご家族様とコミュニケーションを図りながら様子をお伝えしています。
自宅のお風呂に入れない分、安心して入浴ができるのが良い。	利用者のその日の状態や体調によって入浴の判断を行い、気持ちよく安心して行えるように支援します。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会、サービス向上検討会を計画的に企画し実施、外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	サービス意識の向上に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署立合いにより実施している。	A	マニュアルを整備し、災害時の対応訓練ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に保守・点検等を行っている。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令を遵守した介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い、定期的に点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	職員で確認し、不具合が生じる前に専門業者へ点検依頼している。空調関係に不具合が見られる。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について改善を図った。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	各事業所との情報交換を円滑に行い利用者の選択に基づき、迅速に利用できる対応を行った。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対処を検討し、検討内容を家族に回答。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望にできる限り対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイだよりを発行。社協支部委員等へ配布。また、出前講座等により施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度はほぼ満足であった。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて、ほぼ満足であった。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B	予算よりも収入減、昨年度対比で6割減の収支実績となってしまった。	B	新規利用者が増えず利用収入が計画値から下がってしまった。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	入所などによる充足率の低下が見られる。	B	収支及び利用者数等とも、計画通りの運営となるようお願いします。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	毎月デイだよりの発行や臨時利用の声掛けを行った。	A	地道な取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	人件費や事業費（水道光熱費）の高騰により支出増となっている。	B	削減に繋がる取り組みに期待します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 収入面では、利用終了者13名に対し、新規利用者5名と目標に届かず、利用者の確保が課題となった。新規利用者獲得に向けて、地域住民との交流会（年2回）の開催、出前講座で絵の事業所PR、居宅介護支援事業所への訪問など積極的に取り組んだものの、成果に妻がらなかった。 支出面では、重油代・光熱水費の増加が大きく、事業費に占める割合が49.9%（前年比+1.0%）と上昇し、経営を圧迫している。今後は可能な限り支出削減を継続するとともに、職員一丸となって新規利用者の確保に向けた増強対策を進め、収支改善に取り組んでいく。	B	＜施設所管課の所見＞ 適切な管理運営がされています。利用者の減により収支の実績値が計画値を下回ったため、新たに利用者を増やすための更なる取り組みを検討するとともに、経費削減に努めてください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター
施設所管部署名	市民生活部　社会福祉課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター		
施設所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設置年月	平成4年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設置目的	高齢者の心身の健康を保持し、ふれあいを深めるとともに、高齢者に通所及び居住等の方法により各種サービスを提供することによって高齢者福祉の増進に図る。		
施設概要	面積	延床面積779．57㎡、　敷地面積9，3110．00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造　平屋建	
	施設内容	通所介護部門：ホール、介護室、浴室　外 居住部門：ホール、居住部屋、浴室　外	
休館日	日曜日、12月31日～1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前8時30分　～　午後5時30分　　※　条例から変更の有無　☑有　□無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	居住部門のみ利用料金あり。 （入居者の収入金額に応じた階層区分あり） ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号	
指定の期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	□　公募　　☑　非公募	指定管理料	6，080，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月　～　令和12年3月	指定管理	社会福祉法人　栗原市社会福祉協議会	R7.4更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	200日	200日	240日	120.0%	120.0%
利用者数（延べ人数）	350人	207人	240人	68.6%	115.9%
利用料金収入	92,000円	44,880円	150,492円	163.6%	335.3%
主な増減要因（前年比）	6月7月と2か月間居住利用がなかったが、前年度に比べ、利用者数33名の増となり、利用料も105,612円増収となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築後30年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。令和8年度の施設管理に係る修繕についても、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
おおむね修繕していただき、迅速に対応していただきありがたいとの声を寄せられた。	不具合がある際、市に対応していただいています。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の個人情報保護規定に基づき、個人情報の管理・漏洩防止を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	利用者からの意見を拾い上げてはいるが、アンケートを実施し、適切に意見を把握するようお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		－		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の評価をチェックし、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	収支の改善に期待します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	収支の改善につながる取り組みをお願いします。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は、対前年度比13%の増となり、利用料収入も3.3倍の増となった。 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 適切に運営されています。 当該施設は、高齢等のため独立して生活することに不安のある方が利用する施設であるため、今後も地域包括支援センター等の関係機関と連携を図り、必要に応じて利用できる環境づくりをお願いします。また、利用者アンケートの集約を図り、よりニーズに応えられる取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター（デイサービス部分のみ）
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター（デイサービス部分のみ）		
施設所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設置年月	平成4年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施設概要	面積	延床面積 779.57 ㎡、 敷地面積 9,311.00 ㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休館日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無		
開館時間	午前 8時 30分 ～ 午後 5時 15分 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無		
施設利用料金	利用料金制	☑採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指定の期間	令和7年4月1日～ 令和12年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ☑ 非公募		指定管理料	なし （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～令和7年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R7.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	309日	308日	309日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）	3,934人	3,177人	3,925人	99.8%	123.5%
利用料金収入	0円	0円	0円	−	−
主な増減要因（前年比）	新規利用者確保するべく、増強対策（交流会・増回の声掛け等）を実施し潜在者の発掘や居宅介護支援事業所訪問し利用者の動向調査や事業所PRを実施したことで一定の成果が出たと考える。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年9月30日	「来てみさいん」交流会	健康体操 レクリエーション 施設見学	デイ利用者 生きがい利用者	26名
令和7年11月12日	高清水デイとの交流会	健康体操 レクリエーション	デイ利用者 高清水デイ利用者	31名
令和8年3月3日	カーリング交流会	健康体操 カーリング 茶話会	デイ利用者 生きがい利用者 地域住民 老連	40名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
機械浴については、経年劣化による浴槽ローラーのひび割れやシャワーミキシング、足受けマット突起破れ等の損傷がある状況（見積額387,530円・R8年1月現在）です。現在、大きな不具合は見られませんが様子見ながら対応しています。	建築後30年以上が経過し、施設の内外に老朽化が目立っております。令和7年度は給湯配管漏水修繕を行いました。今後の施設管理に係る修繕については、指定管理者基本協定に基づき、市と指定管理者が協議のうえ必要性を判断し、予算の範囲内で計画的かつ適切に実施していく必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
送迎時間について、一定の時間に来て欲しい。	できるだけ誤差が生じないよう配車し、誤差が出るときには事前、若しくは当日朝に家族様へ連絡を入れるよう配慮します。
食事について、おかずの量を少し多くして欲しい。味が薄すぎる。	個々の摂食状況（刻み、一口大、トロミ等）に合わせ、対応しております。また塩分を控えめにし、健康に配慮した食事となっておりますが、引き続き業者と協議を重ねてまいります。
電話を掛けた時に自分の名を名乗り受けるのが正しいと思うがどうか。	職員の接遇（来客対応・電話対応）について研修を実施し改善を行う。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき適切に管理・運営をしている。研修により職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、適正な職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修・サービス向上検討会議等を計画的に企画し実施している。	A	常に、サービス向上を常に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署と連携し、実施している。	A	災害時の対応訓練ができている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例に基づき整備、保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	法人の個人情報保護規程に基づき、守秘義務を遵守し保管管理を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に、保守・点検を行っている。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し介護サービスの提供および介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い定期的に点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期点検を業者へ委託し実施。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し要望・指摘事項について改善を行なった。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括やケアマネージャーへ情報提供を行い、利用者の選択に基づき、迅速に対応した。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望・改善点について検討し検討内容を家族へ回答した。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望は所内研修で検討し柔軟に対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	2ヶ月に1回デイだより発行し支部委員へ配布。出前講座・見学交流会等により施設の目的等の説明を行った。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足63%」「まあまあ満足32%」計95%の回答を頂いた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみついて「適切74%」「普通26%」計100%の回答頂いた。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	利用者増強対策等で新規利用の確保に務めた。	A	特に問題もなく、適正に管理運営されています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新規・増回あり終了者も低く抑えられ実績は上向きになった。	A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	居宅介護支援事業所訪問・交流会を通しPRに努めた。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	人件費及び事業費を削減できた。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ 令和7年度は花山デイサービスセンターとの統合（定員15名から18名へ拡大）により、人件費・事業費（車両や車両燃料費）の増（+2,152千円）となったが、収入面で、新規利用者を14名獲得し、増回利用者も複数いたことで全体として上向きとなった。終了者（施設入所者等）は9名にとどまり、低く抑えることができた。また、自主事業として増強対策を計画し、地域住民や生きがい活動との交流会、高清水デイとの交流会を計3回した。交流会を通じて新規利用者の確保に努めた。支出面では、工夫を重ね経費削減に取り組んできた。しかし、建物の老朽化により隙間風が発生し、利用者から寒さの訴えもあったため、暖房機器の台数や使用頻度が増加し、光熱費が上昇した。 今後も事業費削減を継続しつつ、新規利用者の確保に向けて職員一丸となって取り組んでいく。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設は適正に管理・運営され、収支は保たれております。 今後もアンケート等を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、ニーズに即したサービスを提供することで、利用者数の増加につながることを期待しております。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市若柳認定こども園
施設所管部署名	市民生活部子育て支援課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市若柳認定こども園			
施設所在地	栗原市若柳字川北塚原１０４番地1			
設置年月	令和4年4月	設置根拠条例	栗原市認定こども園条例	
設置目的	小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため。			
施設概要	面積	延床面積　4，129㎡、　敷地面積　8，866㎡		
	構造	木造		
	施設内容	保育室、遊戯室、調理室、子育て支援センター、一時保育室、園庭		
休館日	日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無			
開館時間	午前 7時 30分 ～ 午後 6時 30分　※ 条例から変更の有無　□有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	□採用 ■採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	※ 条例から変更の有無　□有 ■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一般社団法人吉野学園	
	事務所所在地	栗原市若柳字川北塚原104番地1	
指定の期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募	指定管理料	1，484，290，000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
令和4年4月 ～ 令和9年3月	指定管理	一般社団法人吉野学園	
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率 （%）	前年度との比較 （%）
	評価対象年度 （令和7年度）	前年度 （令和6年度）	評価対象年度 （令和7年度）		
開館日数	292日	295日	292日	100.0%	99.0%
利用者数（延べ人数）	55,000人	54,981人	51,494人	93.6%	93.7%
利用料金収入	0円	0円	0円	－	－
主な増減要因（前年比）	少子化の進行による園児数の減少。 （令和7年3月末在籍園児数251名、令和8年3月末在籍園児数235名）				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年6月4日	幼児リトミック教室	音楽と触れ合いながらリズム感を養う	3・4・5歳児	141人
令和7年9月2・25日	乳幼児リトミック教室	音楽に合わせて身体を動かす楽しさを体験する	全園児	219人
令和7年10月29日	ハロウィン交流会	ハロウィン行事を通して地域の方々と交流をする	3・4・5歳児	142人
令和7年11月26日	キッズサッカースクール	ボール遊びを通して友達と体 を動かす楽しさを体験する	3・5歳児	56人
令和7年12月1日	キッズサッカースクール	ボール遊びを通して友達と体を動かす楽しさを体験する	4・5歳児	56人
令和7年12月8・9日	乳幼児リトミック教室	リズム感などの音楽的能力を伸ばす	0・1・2歳児	75人
令和7年度通年	インクルーシブ保育・教育	障害・国籍の有無に関わらず共に育ち合う	4・5歳児	3人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
日々の連絡帳記入や保護者対応、行事の準備など、子どもたちと直接関わる以外にも多くの業務があり、保育士の負担は非常に重くなってきている。業務の改善を早期に図り、保育士一人一人が働きやすい職場を実現し、質の高い保育・教育を目指すことが喫緊の課題である。そのために、 ◯書類作成や園児情報のデジタル化を導入し業務を改善する。 ◯職場の連携強化を推進するチーム保育の仕組みを整える。	保育士は、保育業務のほかに保護者対応など様々な業務があるため負担が大きいですが、令和7年1月から、連絡帳機能・登降園機能として、コドモンを導入し、業務の改善を図っております。今後も安心・安全な保育・教育を実施するため、保育士一人一人が働きやすい職場を作り、よりよい保育・教育を提供出来るようお願いします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
異年齢交流、特に未満児（0～2歳児）と以上児（3～5歳児）の交流をもう少し増やしてほしい。	獅子舞、豆まき会などこども園全体での行事を計画し実施した。また、朝の活動の時間に自由に他の学年に行き来し交流を深めた。令和8年度は、こども園全体でのお誕生会や進級式等の行事を計画している。
コドモンでの情報発信で園での活動写真も送られ楽しく拝見しているが、子どもの様子が以前よりも伝わりにくくなった。全体での様子ではなく、わが子の様子が知りたい保護者が多いのではないか。園児一人一人の個人的な日常連絡がほしい。	コドモンでの情報発信だけでなく、登園・降園時に保護者とより多く会話をしたり、写真等を用いた保育記録のドキュメンテーションを廊下に掲示したりして具体的なエピソードを伝えるようにした。
感染症が流行っているときはできるだけ合同保育を回避してほしい。	感染症が流行しているときは合同保育や合同での行事を回避した。しかし、朝・夕は合同保育をせざるを得ない。その際は、感染拡大している学年・クラスの子どもたちは合同保育室とは別の保育室で保育を行った。
子どもたちの給食を食べている様子を見たり、家庭での味付けの参考にするので試食をしたりする機会と場を設けてほしい。	子どもたちと保護者に同時に給食を提供することは不可能だが、保育参観の日に給食を食べている姿を保護者に見ていただいた。さらに、希望者には給食のレシピを提供した。
保育参観や運動会・おゆうぎ会での参観者数が制限されている。おゆうぎ会では、家族3名以内だったので祖父母と母親だけの参観となり、父親が参観できずにとても残念がっていた。また、保育参観は保護者1名だったので、母親のみの参観で、父親が参観できなかった。	運動会については、人数制限せず学年毎に実施した。おゆうぎ会については、0・1・2歳児は人数制限せず学年毎に実施したが、3・4・5歳児はドリーム・パルで全学年合同で実施するため制限無しにはできないが、園児数が減少していることもあり家族4名以内の参観を可能にした。保育参観については、保育室は家族2名が入室するスペースはなく、1名参観で了承していただいた。
午前8時前の登園の場合、保護者は各保育室前まで子どもと一緒に行き、身支度をさせてから合同保育室に連れていくことになっている。朝の忙しい時間帯では厳しいので親の負担を減らす工夫をしてほしい。	午前8時前までの登園の子どもは、昇降口近くの合同保育室で預かり、保護者のみがバッグ等を保育室前のカゴに入れるように改善した。
運動会やおゆうぎ会などの行事では、子どもがたくさんの観客を前に堂々と演技する姿や全力疾走する姿に胸が熱くなった。	運動会やおゆうぎ会は単なる発表の場ではなく、子どもたちの成長を後押しする貴重な機会ととらえ、成長や発達段階を見極め、それに応じたプログラムを考案している。さらに保育士が心を込めて準備をする姿は子どもたちにも伝わり、自信ややる気を引き出す要因となっている。
子どもの食事面で悩むことが多々あったが、個別に給食参観をさせていただいたり、食物アレルギーに対して丁寧に対応していただりしたことで悩みが解消された。	子どもの偏食・小食・むら食いなどで悩む保護者には、担当保育士だけでなく、栄養士も同席して改善への方策を考えた。また、保護者向けに栄養士による食育セミナーを開催し、乳幼児の食育の重要性を学んだ。
登園の際、嫌がることなく自分から保育室に入っていく。降園の際、帰りたくないと泣く。それほど、こども園での生活が楽しく大好きなんだと思うことが多々あった。	保育士が子どもたち個々の特性や興味を理解し、適切な支援を提供することで友達と一緒に遊び、友達と共に生活し、満足感を味わっている。
なかなかトイレで排泄できずに漏らすことが多く悩んでいたが、先生方がたくさん働きかけていただいたお陰で失敗することがなくなった。	排泄は、子どもにとって繊細で、時には大きな困難になる。「今日はトイレに行ってみようかな」と思えるようになるまで、焦らず、比べず、長い目で支援してきたことがより良い結果につながった。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	施設の設置目的や性格を十分に理解した上で職員が連携・協働して管理・運営に努めた。	A	全体的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	安全・安心な保育環境を実現するために配置基準以上の人員及び有資格者を適切に配置した。	A	安心・安全な保育を実施するため、適正な人員配置に努めてください。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	令和7年10月に公開研究会をこども園で実施し、日々の保育・教育の様子を多くの方々に参観していただき好評を博した。	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	火災、災害、事故、事件などの危機に対し、適切かつ迅速に対応・予防するために全ての危機管理マニュアルの見直しを図った。	A	見直しを図った危機管理マニュアルを職員が的確・適正に行動出来るよう努めてください。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	帳簿・記録簿は適切に記載されているか管理職が週末・月末・年度末に点検した。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	情報の持ち出し禁止、共有ホルダーの管理、廃棄の際はシュレッダーの使用など基本ルールの徹底を図った。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	栗原市担当課と報告・連絡・相談を密にし、管理・運営を円滑に進めた。	A		
⑵ 施設管理の状況	A	乳幼児の命を預かる施設として、安全安心、健康、快適を事業理念に施設管理に尽力した。	A	全体的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	開館・利用時間は協定書を遵守し、さらに保護者の意見や要望を真摯に受け止め運営に当たった。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	施設・設備の安全点検を定期的・日常的に実施し、安全安心・健康な環境作りに努めた。	A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	毎日・毎月・4か月毎の頻繁な点検により修繕箇所の早期発見、そして修繕を実施した。	A		
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	遊具・消防設備等の点検を業者に定期的に委託し、設備の維持と事故防止を図った。	A	引き続き、事故防止、安全管理に努めてください。	
⑤ 職員一人一人の事故防止意識を高め、安全管理の徹底を行っているか。	A	事故・怪我はもとより、ヒヤリハット事例を記録し、全職員に周知するだけでなく、改善策を共有した。	A	今後も職員で共有し合い、取り組んでください。	
⑥ 乳幼児の保育・教育業務に携わる職員の健康・安全管理に努めているか。	A	疲労蓄積度自己診断チェックリストにより疲労度が高い職員は嘱託医の面談を実施し健康管理に努めた。	A		
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	子どもたちの個性や興味を理解し、一人一人に応じた保育・教育に努めた。	A	全体的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	保育の様子だけでなく、感染症等の緊急性のある情報もコドモンの連絡帳機能を活用し、迅速に伝達し漏れなく発信できた。	A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	保護者アンケートだけでなくPTA役員会、日常の保護者との関わりの中で意見や要望を把握し運営に反映した。	A	引き続き、利用者の声に耳を傾けながら運営をお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情は、その裏にある子を想う親の気持ちに寄り添う視点で、丁寧で冷静な対応をするように努めた。	A		
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	栽培活動、読み聞かせ、季節行事などの活動を地域のボランティア団体と実施したことで、地域社会とのつながりを子どもたちは実感した。	A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	「子どもの心身の健康や心配事に、いつでも相談できる体制ができているか」という保護者アンケートでは、「とても良い」「良い」が99%であり、極めて満足度が高い。	A		
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	「担任の保育士はもとより、それ以外の保育士もわが子の園での生活の様子を報告してくれて感謝しています」という声が多数寄せられた。	A		
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	日々計画的に消耗品や光熱水費の経費削減に努めた。	A	全体的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	園児数に見合った人員を配置し、事業・収支計画を立案したことで、事業計画は想定通りにほぼ実行できた。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	少子化により園児数の減少だけでなく、子育て支援センター利用者数も減少した。	B		
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	エアコンや床暖の温度管理を計画的に取り組み、電気代高騰の折りだが、前年度比50万円程度削減した。	A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	公認会計士による定期的な確認・助言に基づき、管理経費の効率的な執行に努めた。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ○「園生活が本当に素晴らしいものとなりました」「毎日楽しく登園できました」「すごく成長した姿が見られました」など、卒園した園児の親から感謝の言葉が多数寄せられた。また、年度末保護者評価項目「元気で明るい子どもを育てているか」でも、「とても良い」72%、「良い」28%であり、保護者の満足度が極めて高い。このことは、日々、保育士が一人一人の園児・保護者に寄り添った丁寧な保育・教育の成果である。 ○デジタル化の導入により保育士の業務軽減化が図られ、園児と丁寧に関わることができるようになってきている。	A	＜施設所管課の所見＞ 保護者からの評価が高いことは、日々、保育士が一人一人の園児・保護者に寄り添った丁寧な保育・教育の成果だと、市といたしましても高く評価しております。 今後も、安心・安全な保育・教育を行いながら、園と家庭との連携や信頼関係の継続を図り、さらなる質の高い保育・教育環境の提供をお願いします。	A

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	くりはら斎苑
施設所管部署名	市民生活部　環境課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	くりはら斎苑			
施設所在地	宮城県栗原市築館字荒田沢41番地			
設置年月	平成13年8月	設置根拠条例	栗原市火葬場条例	
設置目的	栗原市の公衆衛生の向上を図ること。			
施設概要	面積	延床面積　2,040.44㎡、　敷地面積　5,234.21㎡		
	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨二階建（ハートビル法認可建物）		
	施設内容	（施設内の設置室内容） 火葬棟：告別室前室・告別室・炉前ホール・炉室・機械室・管理事務室・便所・倉庫 共通棟：収骨室・共通ロビー 待合棟：待合室（和室＋洋室）・待合ロビー・便所・エレベーター		
休館日	1月1日　～　1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　☑無			
開館時間	午前8時30分　～　午後5時15分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無			
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	死体15歳以上　17,000円（市内）　31,000円（市外） 死体15歳未満　13,000円（市内）　23,000円（市外） 死胎（妊娠12週以上の死胎）　5,500円（市内）　11,000円（市外） 改葬死体（死亡した日から10年以上）　1～5体　5,500円（市内）　11,000円（市外） 改葬死体（死亡した日から10年を経過していないもの）　5,500円（市内）　11,000円（市外） 肢体の一部　20kgごとに　4,500円（市内）　9,000円（市外） 胞衣、産汚物等　20kgごとに　3,100円（市内）　6,200円（市外） ※　条例から変更の有無　□有　☑無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	グリーン観光バス株式会社		
	事務所所在地	宮城県栗原市築館字下宮野川北21番地1		
指定の期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	☑ 公募　□ 非公募		指定管理料	222，200，000円　（　5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成13年8月　～　平成22年3月	直営	栗原市	
平成22年4月　～　令和7年3月	指定管理	グリーン観光バス株式会社	

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（　7　年度）	前年度（　6　年度）	評価対象年度（　7　年度）		
開館日数	362日	362日	362日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	23,000人	26,578人	23,595人	102.6%	88.7%
利用料金収入	18,450,000円	20,204,000円	18,731,100円	101.5%	92.7%
主な増減要因（前年比）	人口減少が進むことにより、火葬件数、約100件の減少（1,212件⇒1,114件） 斎苑利用者数　1件当たり横ばい傾向にあります。（21.9人⇒21.2人） 生活保護の件数　昨年とほぼ横ばいにあります。（44人⇒45人）				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
R7.4～R8.3	自動販売機収入	自動販売機収入	利用者	23,595人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・斎苑責任者(斎苑長)として常駐を心がけているが、不在の際は職員がマニュアルに沿って緊急対応し、救命処置を最優先としている。 ・経年劣化のため各機器類に不測の事態が発生する頻度が高くなっている。それに対処するためマニュアルどおり関係各所に連絡及び報告するよう周知している。	・施設の老朽化により、各種設備や機器が突然作動しなくなるなど、修繕箇所が増加していることから、保守点検結果から早めの対応を考え、計画的に修繕していくこととしている。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
・待合室の畳席にテーブル、イスを設置して頂きありがとうございました。	・市に対応して頂きました。
・トイレに音姫があるとよいと思います。	・市に対応して頂きました。
・喫煙所が暑すぎるエアコンがない（7月19日）。	・窓、ドアを開けて対応しています。エアコンを取付ける予定はございません。
・待合室で年配者にとって靴を脱ぐのが大変です。バリアフリーにしてほしい。	・今現在、変更の予定はございません。
・和式トイレは使いづらいので、洋式に変えてほしい。	・市と検討しております。
・トイレが狭い（女子トイレ）。	・市に相談致します。
・枯れた松の木がいつ建物に倒れてくるか分かりません。早めに切ってください。	・市に相談しております。
・トイレの照明はもう少し明るい方がよい。	・間接照明の為、少し暗く感じます。
・とても清潔で美しい施設が維持されていることに感謝申し上げます。	・継続させていただきます。

【18 くりはら斎苑】

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	危険物取扱者1名、防火管理資格者1名、救命講習終了者3名、安全運転管理者等を計画以上に配置している。今年度、危険物取扱者1名増員予定です。	A		
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	毎朝のミーティング、電話での対応等、常に相手の立場を尊重し行動。職員の訓練及び研修等を随時行い、情報の共有によるサービスの向上と人材育成に努めている。	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画による防災訓練を実施し適切に対処できる環境を整備し、特に人命優先の心がけ。設備機器の故障等にはマニュアルを作成し職員が対処できるよう整備している。	A	市への連絡や職員間の連携が密に行われており、緊急時にも適切な対応がされている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録を適切に整備し保管している。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定及び情報公開規定に基づいて管理している。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	指定管理者協定書及び個人情報の保護を含めた管理・運営をしている。	A		
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃及び保守点検等を適切に実施し、施設環境を維持している。	A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と協議しながら修繕対応をしているが、各設備等の老朽化・経年劣化により修繕費が増加傾向にある。	A	市及び職員間の連携が密に行われており、機器の故障等にも適切な対応がされている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者と契約し、設備の維持点検を実施し安全確認をしている。	A		
⑤ 霊柩車の事故防止のため、必要な点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全運転管理者講習を受講し、毎日の運行前点検及び車両の法定点検を実施。安全確認を行っている。	A		
⑥ 霊柩車の円滑な運行管理を行っているか。	A	最大限、円滑に運行できるよう管理している。	A		
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	利用者の利便性を重視し、迅速な利用許可及び施設情報の提供をしている。	A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者の意見を4半期ごとに取りまとめ、市と協議しながらできるものから即時改善している。	A		
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	市の担当課と随時協議し対応している。	A	市との協議を定期的に実施し、市と役割を分担して適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者が静かで安らかな気持ちになれるような環境作りを模索しながら実施している。	A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果を見ると利用者はほぼ満足しており、不満は少ないと思います。	A		
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切でした。	A		
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	経年劣化等による小さい修繕箇所が増加傾向にあり支出は増えると思われる。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	収入の増加は事業特性上困難なため、支出の削減に努めている。	A		
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	燃料費(灯油・LPガス・軽油)及び電気料金等の値上がりのため、更なる縮減に努めている。	A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な経理を実施している。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ①霊柩バスの運行はじめ住民の平等な利用が確保でき、事業計画と比較しても公の施設の効用を最大限に発揮できた。 ②市民サービスの向上を図ることはできたが、燃料費等の値上がりの為施設の管理に係る経費の縮減に努めた。	A	＜施設所管課の所見＞ 老朽化の進む施設全般の管理をよく行い、事業計画に沿った適切な管理運営が行われている。 利用者からの声に真摯に向き合い、市と緊密に連携し大きな苦情もなく業務を行っていただいたことは高評価に値する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒農林水産物直売所
施設所管部署名	産業経済部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒農林水産物直売所			
施設所在地	栗原市栗駒文字鍛冶屋103番地			
設置年月	平成9年11月	設置根拠条例	栗原市農林水産物直売所条例	
設置目的	魅力ある山村地域社会の建設を推進するとともに、地域所得の向上、農業生産意欲の向上を図るため。			
施設概要	面積	延床面積 470.47㎡、 敷地面積 3,619㎡		
	構造	木造一部鉄筋コンクリート造 1階		
	施設内容	物産展示コーナー、食品庫、更衣室、厨房、便所、事務室、風除室、藍染作品展示、織の工房、染の工房、展示通路、試食室、試作室		
休館日	水曜日、12月29日から翌年2月28日 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無			
開館時間	午前10時00分 ～ 午後3時00分 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無			
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	藍染施設 展示室観覧料 1利用につき大人1人 300円、子供150円 体験施設 1利用につき大人1人 820円、子供510円 販売施設 販売金額に対し 20% ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	文字地域活性化推進協議会		
	事務所所在地	栗原市栗駒文字鍛冶屋103番地		
指定の期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ■ 非公募		指定管理料	0円 （ 年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 平成31年3月	指定管理	文字地域活性化推進協議会	H21,26更新
平成31年4月 ～ 令和 6年3月	指定管理	文字地域活性化推進協議会	
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	210日	208日	210日	100.0%	101.0%
利用者数（延べ人数）	3,500人	3,551人	3,405人	97.3%	95.9%
利用料金収入	5,740,000円	6,196,000円	5,557,673円	96.8%	89.7%
主な増減要因（前年比）	藍フェアーの再開により利用者数が増加傾向にあったが、今年度は利用者数は減少した。 新しい事業の実施について検討したい。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	藍染製品の販売	正藍染商品の展示販売	全ての人	2,000人
4月から11月・3月	食堂の運営	地場で取れた産品を食材とし提供する	全ての人	3,514人
6月から7月	藍染体験	藍染を体験してもらう	全ての人	150人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
消防設備の点検と浄化槽の点検を他の市の施設と同様に市の方で一括で業者へ委託してもらいたい。（指定管理料が無いので施設管理の負担を軽減したい。赤字経営が続いているので）。	協定に基づく施設の修繕等については、協議の上計画的に実施していきたいと考えるが、点検業務については指定管理者にて対応いただきたい。そのための費用については、さらなる商品販売戦略や、食堂の集客、独自事業の企画など、増収に向けた経営に努められたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
照明が暗いのでLED照明にしてほしい。	市で対応（令和8年度）。
エアコンが古いので電気代が高い、取り換えてほしい。	市で対応（令和8年度）。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B		B	研修実施について検討されたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B		B	緊急時の対応については周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B		B	法定点検は適時適切に実施されたい。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供に取り組まれたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートは実施していないが、参加者に感想を聞いている。	B	アンケート実施について検討されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者の抽選会を実施し、リピーター確保に務めた。	A	今後も、利用者の声を聞きながら常に改善に取り組まれたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	／		B	利用者の満足が得られるよう運営されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用者数が減少した。	A	利用促進に努め、引き続き黒字経営を維持されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新たな商品開発はできなかった。	B	新商品の開発、事業計画の改善等に努められたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	今後も、創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 藍フェアを、MONJI Colorsと合同で開催しました。また、保健所の指導により、厨房の水道の蛇口をレバー式交換していただき、効率のよい作業ができるようになりました。	A	＜施設所管課の所見＞ 利用者数に減少は見られたが、イベントの継続実施や経費削減などの努力が認められます。 今後も、新しい商品や企画に積極的に挑戦していただくことで利用者の増加と安定した施設運営を目指してください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市花山農山村交流センター
施設所管部署名	産業経済部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市花山農山村交流センター			
施設所在地	栗原市花山字本沢北ノ前133番地			
設置年月	平成15年4月	設置根拠条例	栗原市花山農山村交流センター条例	
設置目的	自然景観を都市との交流を通して紹介し、地域への理解と活力ある街づくりに資するため。			
施設概要	面積	延床面積 678.70㎡、 敷地面積 2,107㎡		
	構造	RC造平屋建て 1階		
	施設内容	風除室、ホール、ギャラリー管理室、休憩室兼研修室、押入れ、床の間、倉庫、HDWC、MWC、FWC、研修室、準備室、展示室		
休館日	火曜日、（休日の場合はその翌日）、12月29日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無			
開館時間	午前9時00分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ■指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	展示室 一般（大学生ふくむ） 個人210円、団体160円 小学生、中学生及び高校生 個人110円、団体80円 研修室 1時間につき 210円 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指定の期間	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	30，792，000円 （ 5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 平成19年3月	管理委託	㈱花山地域振興公社	
平成19年4月 ～ 平成26年3月	指定管理	㈱ゆめぐり	
平成26年4月 ～ 平成31年3月	指定管理	花山地域開発株式会社	
平成31年4月 ～ 令和 6年3月	指定管理	一般社団法人はなやまネットワーク	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（ 令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（ 令和7年度）		
開館日数	310日	310日	309日	99.7%	99.7%
利用者数（延べ人数）	9,300人	8,449人	8,998人	96.8%	106.5%
利用料金収入	40,000円	63,064円	58,763円	146.9%	93.2%
主な増減要因（前年比）	前年対比で利用者は549人増えたが、公園利用者の増で施設利用者及び入館者は減った。 特にそば打ち体験教室を開催できなかったことが要因と考えられる。 現在、夏休みや土・日もそば打ち体験ができるようそば打ちの講師を育成中である。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年6月28日	研修	空き家対策の取組	ー）大野もっこりの里	20人
令和7年8月28日	課題研究	教育活動の地域探究	宮城県ー迫商業高等学校	4人
令和7年10月2日	研修	地域活性化の状況及び支援状況の取組	山形市コミュニテイセンター所長会	17人
令和7年12月4日	研修	地域運営組織の取組	丸森町住民自治組織連絡協議会	18人
令和8年3月8日	研修	地域住民の暮らしを支える活動・移住定住・関係人口の取組	ー）筆甫地区振興連絡協議会	16人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設の老朽によって故障や破損が多くなってきている。交換部品が製造中止になり苦慮している。	施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
男子トイレの手洗いを修繕してほしいと意見がある。	栗原市に要望していると回答。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	旧花山村の歴史・文化を紹介する施設であるので知識向上に努めている。	A	研修等継続して取り組まれたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施。	A	緊急時の対応については周知徹底を図られたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	毎週、休館日に掃除を依頼している。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	ホームページ、SNSを活用されPRに努められたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	利用者の声を聞くため、継続的に実施されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	今後も、企画展、新イベントなど、多角的に検討されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	観光客が減っており、観覧者が増えていない。	B	効果的な集客の方法を検討されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	研修の受け入れを積極的に実施した。	A	研修の受け入れの努力を認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	草刈・植木選定を職員で実施。又、除雪も同様に職員が実施した。	S	経費縮減の努力を認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・新たに「花山もちつき体験＆交流会」を開催。 実際に臼と杵を使ってもちつきを行った。初めてもちつきをする方が多く大盛況に実施できた。30名の参加。 今後も集客に繋がるイベントを開催する。	A	＜施設所管課の所見＞ 物価高騰の厳しい状況ですが、研修の受け入れや経費縮減などの努力により黒字経営を維持されました。 今後も、情報発信や新たな事業の企画等で利用者数の増加に努めてください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	栗原市若柳特産物直売センター
施 設 所 管 部 署 名	産業経済部農政園芸課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施　設　名　称	栗原市若柳特産物直売センター		
施　設　所　在　地	栗原市若柳字川北塚ノ根27番地1		
設　置　年　月	平成23年7月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例
設　置　目　的	農林業の振興及び地域資源の活用を促進するとともに、都市住民等との交流を行い、地域の活性化を図るため。		
施　設　概　要	面　積	延床面積　323.78㎡、　敷地面積　1，829㎡	
	構　造	木造1階	
	施設内容	直売所、加工室	
休　館　日	1月1日から1月3日 ※　条例から変更の有無　■有　□無		
開　館　時　間	午前　9時00分　～　午後　5時　00分　　※　条例から変更の有無　■有　□無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	販売棚 利用する区画ごとの1月当たりの販売実績に100分の25を乗じて得た額（その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額） ※　条例から変更の有無　□有　■無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指　定　管　理　者	事業者等名称	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合		
	事務所所在地	栗原市若柳字川北塚ノ根27番地1		
指　定　の　期　間	令和4年　4月　1日～　令和9年　3月　31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　　■　非公募		指定管理料	0円　（　　年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期　　間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成24年4月　～　令和4年3月	指定管理	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合	令和4年更新
年　月　～　年　月			
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実　績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開　館　日　数	360日	361日	360日	100.0%	99.7%
利用者数（延べ人数）	50,000人	43,980人	41,439人	82.9%	94.2%
利　用　料　金　収　入	17,800,000円	16,924,568円	18,169,062円	102.1%	107.4%
主な増減要因（前年比）	天候不順による商品不足で利用客の減少。店頭販売やイベント開催などで利用料金収入が増えた。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年7月23日	野菜栽培相談会	農園経営者を講師に相談会を実施	組合員	5人
令和7年8月20～31日	野菜栽培講習会	農園経営者を講師にはなかこ栽培講習会を実施	組合員	5人
令和7年12月6日	くりでん冬まつり	栗原市誕生20周年を記念して抽選会等を開催	全員	297人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・天候不順による商品不足があった時の対策。 ・生産者の高齢化や法改正による漬物生産者の減少。 ・施設の老朽化対策。 （出入口、店内照明・外壁・水回り等） ・物価高騰対策。	加工品や季節外の野菜等を取り入れ、多彩な売り場づくりに努められたい。 施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
商品が少ない。	生産者へのメールや電話連絡。
施設の老朽化。	その都度業者へ見積依頼し、市へ提出相談。
商品の出荷始めと終わりが不明。	その都度生産者へ連絡、確認。
野菜等が新鮮で安い。	近隣商店より少し価格を抑えた金額を生産者に提案。
旬のものが手に入る。	SNSや店内POPで旬のものを案内。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	適正に実施している。	A	経営力向上、商品力向上のための人材育成は積極的に取組まれたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適正に実施している。	A	緊急時の対応については周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適正に実施している。	A	引き続き、積極的な情報発信に取り組まれたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	適正に実施している。	A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	適正に実施している。	A	今後も、利用者の声を聞きながら常に改善に取り組まれたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	適正に実施している。	A	前年度よりも収入が増加している。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	適正に実施している。	A	今後も季節事業や周辺施設との連携事業に取り組まれたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	適正に実施している。	A	今後も、創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に実施している。	A	適正であると認めます。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・商品確保、販売に日々努力している。（SNS、店内POP等） ・施設の目的を生かしイベント等取り組んでいる。 ・SNS発信、地道な声掛け等で組合員の増加を図っている。（13名増） ・老朽箇所を工夫して、修繕に取り組んでいる。	A	＜施設所管課の所見＞ SNSや地域住民への声掛けにより、今年度も組合員数や収入が増加しています。 今後も、周辺施設や地域との連携を図りながら創意工夫を行い、経営の安定化を目指してください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市瀬峰特産物直売センター
施設所管部署名	産業経済部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市瀬峰特産物直売センター		
施設所在地	栗原市瀬峰下田185番地1		
設置年月	平成10年11月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例
設置目的	農林業の振興及び地域資源の活用を促進するとともに、都市住民等との交流を行い、地域の活性化を図るため。		
施設概要	面積	延床面積　21.53㎡、　敷地面積　21.53㎡	
	構造	木造1階	
	施設内容	野菜販売棚、即売棚、カウンター、便所	
休館日	日曜日、月曜日、火曜日、木曜日及び金曜日、12月31日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
開館時間	午前9時00分　～　午後7時00分　　※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	食品　1月につき5，390円（1日につき110円加算） 雑貨　1月につき5，390円（1日につき110円加算） 構築物等　1㎡あたり1月につき140円 露店　　1㎡あたり1月につき140円 ※ 条例から変更の有無　□有　■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	瀬峰旬の市会	
	事務所所在地	栗原市瀬峰下田185番地1	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	□ 公募　■ 非公募	指定管理料	0 円 （　　年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年4月 ～ 令和6年3月	指定管理	瀬峰旬の市会	H21,26,R6更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	102日	102日	102日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	3,500人	3,554人	3,250人	92.9%	91.4%
利用料金収入	350,000円	351,820円	331,983円	94.9%	94.4%
主な増減要因（前年比）	会員減少、農産加工を辞める人が多く、販売する農産物が不足しているため。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月25日	監査会	収支決算監査	会員	3人
令和7年4月28日	総会	第27回総会	会員	5人
令和7年12月21日	大掃除	直売所の大掃除	会員	4人
令和8年1月7日	初売り		会員	4人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
高齢化による会員不足で、会計や書類作成などが難しくなってきた。また、会員の高齢化、後継者問題などがあり、直売所に並べる野菜が不足している。	高齢化による運営負担や出荷不足などの状況を踏まえ、無理なく続けられる体制づくりについて検討されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
新鮮で安い野菜が並んでいるので助かっているが、売り切れの時がある。	予約があれば、なるべく希望数を確保するようにしている。
漬物や餅類は冷蔵庫で保管したらどうか。	冷蔵庫は確保できないので漬物は販売中止したが、餅類は保冷剤を活用して販売を継続している。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	会員の減少、高齢化。	B	難題であるが、引き続き会員増加のための努められたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時の対応については、周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	B		B	諸帳簿は適切に整備・保管されたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	変更がある場合は手続きし、利用者に周知されたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供に取り組まれたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートは実施していない。	B	意見箱を設置するなど工夫されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	要望に応えるように努力した。	A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B		B	引き続き、営業改善に努められたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	／		B	利用者の満足が得られるよう運営されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	私服のため個人にまかせる。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	減少傾向にある。	A	黒字を維持しつつ、収入増に向けて取り組まれたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新たな取組は実施していない。	B	創意工夫で収入増に取り組まれたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・建物や設備の老朽化が進んでいるので、日常点検を行い早めに業者に確認するようにしている。 ・会員数減少や物価高騰の影響もある中、経費節減に努めることで値上げをしないで頑張った。	A	＜施設所管課の所見＞ 日常点検や経費節減などの努力が認められます。 今後も、地域に密着した直売所の特長を活かし、地域住民や利用者の声を参考にしながら会員・後継者の確保に取り組んでください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市あやめの里
施設所管部署名	産業経済部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市あやめの里			
施設所在地	栗原市一迫真坂字清水田川4番地1			
設置年月	平成12年3月	設置根拠条例	栗原市地域産物展示販売施設条例	
設置目的	特用林産物、農産物等地域資源の活用及び生産を促進し、農林業者等の所得向上を図る。			
施設概要	面積	延床面積 498．41㎡、 敷地面積 2，665．94㎡		
	構造	木造1階建		
	施設内容	展示販売コーナー、事務室、荷受室、郷土料理試食室、郷土料理試作室、倉庫、デッキ		
休館日	1月から3月⇒火曜日、4月から12月⇒第1及び第3火曜日、12月31日から翌年1月3日 ※条例から変更の有無 ■有 □無			
開館時間	午前9時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無			
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	販売行為をする場合の利用料金及び施設を設置する場合の利用料金については、栗原市地域産物展示販売施設条例第10条第2項で定める額と同じ。 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	新みやぎ農業協同組合 （令和元年7月 栗っこ農協等5農協の合併により移行）		
	事務所所在地	栗原市築館字照越大ケ原43番地1		
指定の期間	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ■ 非公募		指定管理料	0円 （ 年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 平成18年8月	管理委託	栗っこ農業協同組合	
平成18年9月 ～ 平成31年3月	指定管理	栗っこ農業協同組合	H21,26更新
平成31年4月 ～ 令和6年3月	指定管理	新みやぎ農業協同組合	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	332日	332日	332日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	60,000人	56,352人	52,148人	86.9%	92.5%
利用料金収入	25,219,000円	20,373,310円	15,222,557円	60.4%	74.7%
主な増減要因（前年比）	生産力・出荷力の低下による集約力や品揃えの悪化。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	地域物産販売	地域産物販売	地域住民および観光客など	52,148人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
納入組合員の高齢化の影響による生産力の低下により、品揃えが悪化している現状があります。また、その影響で利用客が減少し、販売高が減少しております。利用者のニーズを捉えながら、品質の良い商品を提供できるよう努めていきたいと思います。	若年層を中心に組合員の新規獲得を目指すため、チラシやSNS活用を推進されたい。また、販売状況の分析や利用者ニーズを把握するための聞き取り等を実施し、引き続き、魅力的な売り場づくりに取り組まれたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	引き続き、研修等を実施されたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急対応については周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	引き続き、適切な管理を行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	引き続き、適切な管理を行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	引き続き、安全確認を行われたい。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、情報発信に努められたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	C	アンケート等配置しているが未記入。	C	アンケートの実施方法を見直し、利用者の意見把握に努められたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	魅力ある新規事業を適時実施されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の要望を反映するよう努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用料金収入は事業計画を達成できなかった。	B	収入増、経費縮減の取り組みを計画的に実施されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	集客力向上につながる自主事業を適時実施されたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B		A	今後も、創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は、令和6年度と比較すると、△4,204人（対比92.5%）令和5年度比較△6,122人（89.5%）と年々減少傾向にあります。また、収入面では、食堂の停止等が大きな要因として挙げられます。日々、お客様のニーズに対応する商品の品ぞろえを重視し、顧客の満足度を意識した運営を目指します。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設・設備を適切に維持管理し、経費節減にも努めていることを認めます。 食堂停止による利用者数・収入の減少が課題ですので、引き続き、利用者ニーズの把握に努め、より良い経営を目指してください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市湖畔のみせ旬彩
施設所管部署名	産業経済部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市湖畔のみせ旬彩		
施設所在地	栗原市花山字本沢合道46番地の5		
設置年月	平成13年4月	設置根拠条例	栗原市地域産物展示販売施設条例
設置目的	栗原市の豊かな森林資源を利用して生産される特用林産物や花木を農水産物として展示販売し、農林水産物の生産・販売量の拡大を促進して林業等の活性化を図り、生産活動の安定化及び林業従事者の所得の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積　220.00㎡、　敷地面積　2,256.06㎡	
	構造	木造1階	
	施設内容	展示即売コーナー、地域産物試作・試食室、作業室、事務室	
休館日	11月24日から翌年3月31日まで ※ 条例から変更の有無　■有 □無		
開館時間	午前10時00分　～　午後4時00分　※ 条例から変更の有無　■有 □無		
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	年額　188，570円 ※ 条例から変更の有無　□有　■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指定の期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募　■ 非公募		指定管理料	0円 （　　年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成24年4月 ～ 平成27年3月	指定管理	株式会社東北ダイケン	
平成28年4月 ～ 平成31年3月	指定管理	株式会社花山サンゼット	
平成31年4月 ～ 令和 4年3月	指定管理	一般社団法人はなやまネットワーク	R4更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	98日	98日	97日	99.0%	99.0%
利用者数（延べ人数）	6,800人	6,023人	6,722人	98.9%	111.6%
利用料金収入	3,643,000円	3,824,710円	3,981,374円	109.3%	104.1%
主な増減要因（前年比）	利用者は前年より699人増えた。11月23日・24日に開催した「いわな祭り」が主な要因となっている。利用者の実績は、カフェ利用者と物販販売及び施設見学、トイレの利用者の総人数である。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月19日～29日	湖畔のみせ旬彩再開記念屋台	花山産岩魚の塩焼きと山菜の販売	市民等	483人
令和7年4月28日～11月17日	オレンジカフェ「どんぐり」	認知症カフェの開催	市民等	209人
令和7年7月6日	夏の花山マルシェ	岩魚の塩焼、キッチンカー販売、ホタテ・イカ焼の販売	市民等	268人
令和7年10月12日	秋の花山マルシェ	岩魚の塩焼、キッチンカー販売、舞茸・リンゴの販売	市民等	143人
令和7年11月22日～23日	イワナ祭り	イワナの塩焼きの販売	市民等	700人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・東日本大震災による放射能の影響で特用林産物である山菜の一部、天然キノコが販売ができない。 ・異常気象の影響で菌床舞茸の出荷が少なかった。 ・国道398号を利用する観光客が年々減っている。	放射能や異常気象による影響や観光客の減少など厳しい状況ではあるが、引き続き、周辺施設と連携しながら積極的に情報発信を行い、花山地区ならではの特別感のある商品やサービスの提供に取り組んでいただきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
認知症カフェで花山湖を観ながらのお茶を飲んでみんなと話をしたり、歌謡ミニコンサートを楽しんでいた。	オレンジカフェを引き続き開催する。
展示販売コーナーで山菜・天然キノコを販売してほしいと要望が多かった。	放射能の影響で販売できない旨を説明。放射能を測定し一部販売できるようになったことを説明。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評　価　項　目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴　基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	引き続き、研修に努められたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施。	A	引き続き、緊急時の対応については周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵　施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶　利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	販売目的の施設であり、常に口頭で聞き取りを行っている。	A	意見の収集は幅広く行われたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者アンケート用紙を設けている。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	季節ごとに屋台を設置し楽しんでいただいた。	A	今後も、地域の特性を生かした事業、商品開発に努められたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷　運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	賃金の高騰により人件費が増大している。	A	利用者数と収入は増加しており、経営努力を認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	はなやまマルシェを開催。いわな祭りの開催。	A	事業の実施から結果まで精査され、次の事業立案に生かされたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	物価上昇が続いているため、効果的な経費縮減を検討されたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者数は、事業計画に対しては約1%の減であるが前年比に対しては、12%の増である。 イワナ祭りを開催したことで700名の方が来店。 人件費については、人員整理等を含めさらなる抑制に努める。	A	＜施設所管課の所見＞ 地域資源を活かしたイベントにの効果で利用者数が増加していることから、今後さらなる集客拡大に向けた取り組みを期待します。 人件費高騰の厳しい状況ですが、業務の見直し等を通じて効率的な運営と収支改善の両立に努めてください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市金成農村環境改善センター
施設所管部署名	産業経済部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市金成農村環境改善センター		
施設所在地	栗原市金成沢辺町沖200番地1		
設置年月	平成3年7月	設置根拠条例	栗原市農村環境改善センター条例
設置目的	市における農林畜産業等産業の振興、保険、福祉、教養及び知識の向上並びに住民生活の改善を図るとともに、地域の連帯感を高め、農村の環境整備を組織的に推進するため。		
施設概要	面積	延床面積 618.2㎡、 敷地面積 706.8㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造 1階	
	施設内容	農事研修室、創製作室、農産加工室	
休館日	12月29日から翌年1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	生活改善研修室 1時間あたり 290円、10時間以上の場合 2,900円 農事研修室 1時間あたり 180円、10時間以上の場合 1,800円 創製作室 1時間あたり 250円、10時間以上の場合 2,500円 農事情報室 1時間あたり 140円、10時間以上の場合 1,400円 会議室 1時間あたり 140円、10時間以上の場合 1,400円 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	新みやぎ農業協同組合		
	事務所所在地	栗原市築館字照越大ケ原43－1		
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ■ 非公募	指定管理料	0円 （ 年間）	

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 平成18年8月	管理委託	栗っこ農業協同組合	
平成18年9月 ～ 令和6年3月	指定管理	新みやぎ農業協同組合	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	241日	241日	241日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	1,000人	1,268人	1,175人	117.5%	92.7%
利用料金収入	0円	0円	0円	－	－
主な増減要因（前年比）	イベントおよび会議等の開催時の参加者が増加し計画利用を上回った。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
電気料やガス代の高騰による費用増が懸念される。修繕箇所が多くある。特に雨漏りに苦慮している。	節電等に努めるとともに、利用料金収入による経営改善を検討されたい。 施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
雨漏りの修繕はしないのか。	市と修繕について話をしているところ。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	機器管理、施設管理等研修に努められたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時の対応について周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	諸帳簿等は適切に整備・保管されたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	引き続き、適切な管理を行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	引き続き、適切な管理を行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供方法について検討されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	利用者の直接意見のみでアンケートについては未実施。	B	利用者の意見を聞く仕組みを構築されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みについては未実施。	B	利用者の充実に向けて改善は常に取り組まれたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	アンケート未実施、利用者の不満等は特になし。	B	直接言えない意見を聞く仕組みを構築されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	収入増の取り組みを検討されたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数は、計画を17.5%上回る利用となった。	A	＜施設所管課の所見＞ 昨年度に引き続き利用者数が増加しているので、今後も施設利用についての情報発信をお願いします。 今後も節電、節水等の経費の削減に取り組み、より効率的な経営に取り組まれることを期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	栗原市一迫地区活性化センター
施 設 所 管 部 署 名	産業経済部 農政園芸課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施　設　名　称	栗原市一迫地区活性化センター			
施　設　所　在　地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1			
設　置　年　月	平成5年5月	設置根拠条例	栗原市一迫地区活性化センター条例	
設　置　目　的	栗原市における農林業等産業の振興及び市民の生きがい並びに健康維持を図り、農村地域の活性化の促進に寄与する。			
施　設　概　要	面　積	延床面積　718.6㎡、敷地面積　9,311.0㎡		
	構　造	鉄骨コンクリート 1階		
	施設内容	アリーナ、トレーニング兼談話室		
休　館　日	12月29日から翌年1月3日 ※　条例から変更の有無　□有　■無			
開　館　時　間	午前9時00分　～　午後9時00分　　※　条例から変更の有無　□有　■無			
施 設 利 用 料 金	利用料金制	□採用　□採用無　■指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	アリーナ　1時間につき　310円 アリーナ（舞台を含む）　1時間につき　310円 トレーニング兼談話室　1時間につき　210円 ※　条例から変更の有無　□有　■無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指　定　管　理　者	事業者等名称	栗原市一迫地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
指　定　の　期　間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	□　公募　　■　非公募		指定管理料	12，950，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期　　間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月　～　平成28年3月	直営		
平成28年4月　～　令和6年3月	指定管理	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	R6.3更新
年　月　～　年　月			

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実　績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開　館　日　数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	10,000人	10,104人	10,868人	108.7%	107.6%
利　用　料　金　収　入	159,658円	177,134円	179,459円	112.4%	101.3%
主な増減要因（前年比）	利用者数も定着化してきており、利用料金収入も前年度より徐々に増加しています。ただ低学年、中学生の利用については事故等防止のため、保護者の同伴をお願いしております。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
学生から高齢者まで、利用者は多様化しており、管理状況に関しては利用料金を含め、利用協定書に基づき事故が起きないよう配慮しています。 今後も利用しやすい施設管理を行っていきますが、規模の大きい修繕に関しては、協議して頂き対応をお願い致します。	引き続き、協定書に基づく管理運営に取り組まれたい。 修繕については危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。今後も、日常点検や保守管理等を実施し施設の維持に努められたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
空調(冷房)がないので夏場の活動に不安を感じます。扇風機を付けていただいて、ありがたいです。 窓を開けたいのですか、虫が入ってくるので開けれないので網戸の設置をお願いしたいです。	限られた予算内で、大型扇風機を2台購入し、利用して頂きました。網戸の件は検討いたします。
アリーナ床のラインテープを書いてほしい。 入口側のコートがテープばりなので危ないと思います。	昨年度より、栗原市の担当者と協議しておりますが、中々難しそうですが今後も協議してまいります。
バトミントン用ポールのネジが不備で、うまく張れない。	利用者さんに内容を確認して対応してまいります。
卓球台5台常設していたが、1台壊れたままなので、対応していただきたい。また係員の対応がすばらしく良い。 説明も良くしてくれるし、良く理解できる。	今、人数が間に合っているようなので、卓球台4台でお願いしています。今後も利用者さんの意見に対応してまいります。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	従業員・警備員でローテーションを組み対応している。	A	従業員・警備員の連携を取り円滑な受付を実施されたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	行っている。	A	研修は積極的に取り組まれたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練等を年2回実施している。	A	緊急時の対応については周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	行っている。	A	条例、協定に基づいて事務を遂行されたい。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	尊守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	行っている。	A	引き続き、適切な管理を行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	行っている。	A	引き続き、適切な管理を行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者に委託し、点検を実施している。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている。	A	施設利用の諸注意をまとめて表示している。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート結果に基づき対応している。	A	アンケート結果を分析し、改善の検討をされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速な対応を行っている。	A	今後も、要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	－		B	新たな取り組みも積極的に実施されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	改善できるものは迅速に対応を行った。	A	今後も、気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	今後も、気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である。	A	利用増、経費縮減の取組を計画的に実施されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	－		B	施設の活用を図られたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	経費節減の実績を得られた。	A	創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に行われている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者は前年対比107.6%、利用料金は前年対比101.3%となり、どちらも前年度より上回っています。 施設管理については、利用者の声に迅速に対応するように、常に心掛けてています。 今後も利用者の満足向上、経費縮減に取り組み、適切な管理に努めてまいります。	A	＜施設所管課の所見＞ 利用者数および利用料金ともに増加しており、収支は黒字を維持しています。 今後も必要な維持管理を実施しながら、利用者満足度の充実、経費縮減など経営の維持、改善に取り組まれることを期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	築館有機肥料センター
施設所管部署名	産業経済部林業畜産課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	築館有機肥料センター			
施設所在地	栗原市築館字照越盲壇29番地91			
設置年月	平成12年6月	設置根拠条例	栗原市有機肥料センター条例	
設置目的	畜産経営に伴って生ずる家畜排せつ物による畜産公害を未然に防止し、生活環境の保全と畜産の振興を図るとともに、完熟堆肥の活用による有機農業及び地域資源を有効利用した資源循環型農業を推進するため。			
施設概要	面積	延床面積 1,406.06㎡、 敷地面積 9,423㎡		
	構造	木造平屋建て		
	施設内容	醗酵処理棟、原料・副資材置場、管理棟、機械格納庫、脱臭棟		
休館日	※ 条例から変更の有無 ☑有 □無			
開館時間	午前9時00分 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無			
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	施設利用料：家畜ふん等搬入1トン当たり310円、運搬車貸出料：家畜ふん等搬入1回当たり走行距離5キロメートルまでは110円（1キロメートル増すごとに30円を加算した額） 有機肥料の販売料金：100キログラム当たり366円、袋詰め1袋（15キログラム入り）370円、フレコンバック詰め（約500キログラム）1本2，930円 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	有限会社アグリテック宮城		
	事務所所在地	宮城県栗原市一迫柳目字中山54番地7		
指定の期間	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	☑ 公募 □ 非公募		指定管理料	85，800，000円 （3年間）※3施設分

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 令和6年3月	直営		
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	264日	266日	264日	100.0%	99.2%
利用者数（延べ人数）	400人	430人	312人	78.0%	72.6%
利用料金収入	1,063,333円	591,860円	476,832円	44.8%	80.6%
主な増減要因（前年比）	①8月下旬の落雷被害に伴う復旧工事のため、8月～3月の利用者数が減少した。 ②1農家の廃業に伴い、利用者数及び利用料金収入が減少した。 ③金成有機センターの施設改修が完了し、一時的な金成組合員の搬入受け入れが終了したため、稼働率が減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
2025年7月	高校生企業訪問	築館高校の企業訪問にて域内資源循環と有機センターの取り組みを紹介した。（3施設）	築館高校	4名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設及び設備、車両の老朽化に伴う継続的な修理・修繕	・施設の老朽化については、令和8年度に改修事業を実施する予定です。（建屋及び設備） ・車両更新時期は未定ですが、協定書に基づいた修繕を行います。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
域外産廃処理業者の受け入れ停止に伴い、市内養鶏場より鶏ふん受け入れ量の増加要望あり。	・一時的な受入れ上限の引き上げを実施。 ・施設改修期間中の受け入れについて継続検討中。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	安定した管理運営体制を評価します。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置し、必要に応じて追加人員を派遣した。	A	計画に基づき人員を適切に配置し、柔軟な増員対応で安定運営を維持した点を評価します。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部有識者を招集し、原料配合別の堆肥醗酵対照試験を実施し、温度変化や物理変化を記録した。	S	外部有識者の指導のもと試験を実施し、品質向上に努めた取組みを評価します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備している。落雷時には昨年度導入したセキュリティシステムにより、落雷があったことを即時に感知し、速やかな対応を行った。	A	平常時の安全管理に加え、昨年度導入したシステムによる緊急時体制が適切に構築されている点を評価します。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管している。	A	各種記録が適切に整備・保管されており、適正な施設運営を評価します。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報を取り扱う電子ファイル等にはパスワードを設け、社内共有フォルダでの情報共有を行っている。	A	情報の重要性に応じたアクセス制御と共有環境を適切に構築しており、個人情報の適正管理を評価します。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A	法令及び協定を遵守した、適正かつ安定的な管理運営を評価します。	
⑵ 施設管理の状況	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	施設の適正な管理と安全な環境維持を評価します。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	規定に基づき、適正に施設の管理・運営を行っている点を評価します。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持している。利用組合員と共同作業を実施して場内草刈を行った。	A	施設環境を良好に維持し、利用者と連携した清掃活動に努めている点を評価します。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行った。修繕時の対応には修繕対応スタッフを派遣し修繕を行った。	S	協定に基づき設備等の修繕に適切に対応し、専任スタッフ派遣により早期復旧を図っている点を評価します。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行った。	A	専門的な点検により設備の安全性が確保されており、事故防止に向けた取組みを評価します。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	S	個別の評価項目を集計し総合評価をSと判定した。	S	丁寧な対応と高い顧客満足度の維持を評価します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	築館有機センターの改修工事に向けて、市役所・利用組合員と連携をとり、適切な情報提供を行った。	S	施設改修に向け、関係者と密に連携し、適切な情報提供に努めた取組みを評価します。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	利用者アンケートにより、利用者の意見を把握した。	S	アンケートを通じ、利用者の意見を的確に把握している点を評価します。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	要望に対する対応を十分に行った。苦情はなかった。	S	利用者の要望に丁寧に対応し、苦情ゼロの実績を評価します。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	地元高校生へ有機センターでの取り組みを紹介し、地域資源循環の魅力を若い世代へ認知した。	A	地域の取組みを通じて、若い世代へ資源循環の重要性を伝えた点を評価します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	S	モニタリング・アンケートの結果利用者の満足が得られた。	S	調査を通じて利用者の高い満足度が得られている点を評価します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	応対及び、身なりは適切であった。	A	適切な接遇と身だしなみ、丁寧な対応を評価します。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	計画的な収支と適正な経理、効率的な運営を評価します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるが、工夫・改善の課題解決により、更に適正な施設管理・運営となる。	B	収支・事業計画に基づき運営されており、改善による更なる向上を期待します。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあった。	A	収入確保に向けた積極的な姿勢と、実効性のある具体的な取り組みを評価します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られた。	S	経費削減への積極的な姿勢と、具体的なコスト抑制の実績を評価します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われている。	A	専用口座や帳簿を備え、経理業務が適正かつ正確に遂行されている点を評価します。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞	S	＜施設所管課の所見＞	A
	・利用者数は前年度と比較して27.4%減となった。金成有機センターの改築工事終了と落雷被害に伴い、利用者数が減少となった。 ・客単価ベース＋111%を達成した。 ・築館高校への地域資源教育を通じて、有機センターの認知を図るとともに、地域に根ざした人材育成に貢献した。 ・市内鶏ふん業者の要望に応え、例年の約5倍程度の一時的な受入れ増加により市民の事業活動維持に貢献した。 ・落雷被害により、約半年間の事業困難状態が続いたが、発電機、ローダーによる切り返し及び横持ち運搬等の応急的な対応により、利用者への影響を全く出さずに平常通りの運営を行った。		施設改修や落雷被害という困難な状況下においても、応急対応により利用者への影響を最小限に抑えた運営体制を評価します。また、地域教育への貢献を継続し、今後も更なる安定経営に期待します。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	金成有機センター
施設所管部署名	産業経済部林業畜産課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	金成有機センター			
施設所在地	栗原市金成末野下浦山9番地7			
設置年月	平成16年11月	設置根拠条例	栗原市有機肥料センター条例	
設置目的	畜産経営に伴って生ずる家畜排せつ物による畜産公害を未然に防止し、生活環境の保全と畜産の振興を図るとともに、完熟堆肥の活用による有機農業及び地域資源を有効利用した資源循環型農業を推進するため。			
施設概要	面積	延床面積 2,670㎡、 敷地面積 6,600㎡		
	構造	鉄骨造平屋建て		
	施設内容	醗酵処理棟、原料・副資材置場、管理棟、機械格納庫、脱臭棟		
休館日	※ 条例から変更の有無 ☑有 □無			
開館時間	午前9時00分 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無			
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	施設利用料：家畜ふん等搬入1トン当たり310円、運搬車貸出料：家畜ふん等搬入1回当たり走行距離5キロメートルまでは110円（1キロメートル増すごとに30円を加算した額） 有機肥料の販売料金：100キログラム当たり366円、袋詰め1袋（15キログラム入り）370円、フレコンバック詰め（約500キログラム）1本2，930円 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	有限会社アグリテック宮城		
	事務所所在地	宮城県栗原市一迫柳目字中山54番地7		
指定の期間	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	☑ 公募 □ 非公募		指定管理料	85，800，000円 （3年間）※3施設分

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 令和6年3月	直営		
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	264日	266日	264日	100.0%	99.2%
利用者数（延べ人数）	500人	611人	438人	87.6%	71.7%
利用料金収入	15,109,999円	11,911,575円	12,719,654円	84.2%	106.8%
主な増減要因（前年比）	① 3農家が廃業したために利用者数が減少した。 ② 堆肥散布の大口注文があったため利用料金収入が増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
2026年3月～	敷料販売FS事業	家畜排せつ物を運びに来る組合員の帰り荷が空いている。相互物流を実現するため敷料の販売についてFS（実行可能性調査）を実施中。		

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・トラックスケールの修繕が繰り返し必要となっている。（対応協議中） ・ふるい機の供給機スクリュー劣化により、使用できない状態が続いている。（対応協議中）	・運営管理に支障があるため、修繕を検討します。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
土づくりにおいてかかせない堆肥を作っていただいています。対応も丁寧で助かっています。	継続して良質な堆肥を製造しております。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	安定した管理運営体制を評価します。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置し、必要に応じて追加人員を派遣した。	A	計画に基づき人員を適切に配置し、柔軟な増員対応で安定運営を維持した点を評価します。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部有識者を招集し、原料配合別の堆肥醗酵対照試験を実施し、温度変化や物理変化を記録した。	S	外部有識者の指導のもと試験を実施し、品質向上に努めた取組みを評価します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備している。	A	通常時および緊急時の安全管理体制が適切に整備されています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管している。	A	各種記録が適切に整備・保管されており、適正な施設運営を評価します。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報を取り扱う電子ファイル等にはパスワードを設け、社内共有フォルダでの情報共有を行っている。	A	情報の重要性に応じたアクセス制御と共有環境を適切に構築しており、個人情報の適正管理を評価します。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A	法令及び協定を遵守した、適正かつ安定的な管理運営を評価します。	
⑵ 施設管理の状況	S	個別の評価項目を集計し総合評価をSと判定した。	S	施設の適正な管理と安全な環境維持を評価します。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	規定に基づき、適正に施設の管理・運営を行っている点を評価します。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持している。外部訪問者から非常に綺麗な有機センターと好評をいただいている。	S	適切な維持管理により、良好な施設環境を維持していることを評価します。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行った。修繕時の対応には修繕対応スタッフを派遣し修繕を行った。	S	協定に基づき設備等の修繕に適切に対応し、専任スタッフ派遣により早期復旧を図っている点を評価します。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行った。	S	専門的な点検により設備の安全性が確保されており、事故防止に向けた取組みを評価します。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	S	個別の評価項目を集計し総合評価をSと判定した。	S	丁寧な対応と高い顧客満足度の維持を評価します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	築館有機センターの改修工事に向けて、市役所・利用組合員と連携をとり、適切な情報提供を行った。	S	施設改修に向けた関係機関との円滑な連携と情報提供を評価します。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	利用者アンケートにより、利用者の意見を把握した。	S	アンケートを通じ、利用者の意見を的確に把握している点を評価します。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	要望に対する対応を十分に行った。苦情はなかった。	S	利用者の要望に丁寧に対応し、苦情ゼロの実績を評価します。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	地元高校生へ有機センターでの取り組みを紹介し、地域資源循環の魅力を若い世代へ認知した。	A	地域の取組みを通じて、若い世代へ資源循環の重要性を伝えた点を評価します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	S	モニタリング・アンケートの結果利用者の満足が得られた。	S	調査を通じて利用者の高い満足度が得られている点を評価します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	応対及び、身なりは適切であった。	A	適切な接遇と身だしなみ、丁寧な対応を評価します。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	計画的な収支と適正な経理、効率的な運営を評価します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は、内容を上回る実績であり、優れた施設管理・運営を行った。	S	計画を上回る優れた実績であり、模範的な施設管理運営を評価します。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあった。	A	収入確保に向けた積極的な姿勢と、実効性のある具体的な取り組みを評価します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られた。	S	経費削減への積極的な姿勢と、具体的なコスト抑制の実績を評価します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われている。	A	専用口座や帳簿を備え、経理業務が適正かつ正確に遂行されている点を評価します。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数は前年度と比較して28.3%減となった。3農家の廃業に伴い、利用者数が減少となった。本件を踏まえ、市内農家の減少を抑制するため、敷料の販売に加えて、価格が安定的な国内飼料の製造・流通を検討している。 ・利用料金収入が昨年度比110.1%を達成した。（税抜きベース） ・改修工事からの復旧を円滑に実施した。	S	＜施設所管課の所見＞ 利用者の減少という厳しい環境下において、新規事業の検討など前向きな課題解決の姿勢を評価します。また、利用料金収入の着実な増加や改修後の円滑な復旧対応など、総合的に安定した施設運営がなされていると判断します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗駒有機センター
施設所管部署名	産業経済部林業畜産課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗駒有機センター			
施設所在地	栗原市栗駒稲屋敷天王山2番地16			
設置年月	平成20年4月	設置根拠条例	栗原市有機肥料センター条例	
設置目的	畜産経営に伴って生ずる家畜排せつ物による畜産公害を未然に防止し、生活環境の保全と畜産の振興を図るとともに、完熟堆肥の活用による有機農業及び地域資源を有効利用した資源循環型農業を推進するため。			
施設概要	面積	延床面積 4,725.84㎡、 敷地面積 9,934㎡		
	構造	鉄骨造平屋建て		
	施設内容	醗酵処理棟、原料・副資材置場、管理棟、機械格納庫、脱臭棟		
休館日	※ 条例から変更の有無 ☑有 □無			
開館時間	午前9時00分 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無			
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	施設利用料：家畜ふん等搬入1トン当たり310円、運搬車貸出料：家畜ふん等搬入1回当たり走行距離5キロメートルまでは110円（1キロメートル増すごとに30円を加算した額） 有機肥料の販売料金：100キログラム当たり366円、袋詰め1袋（15キログラム入り）370円、フレコンバック詰め（約500キログラム）1本2，930円 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	有限会社アグリテック宮城		
	事務所所在地	宮城県栗原市一迫柳目字中山54番地7		
指定の期間	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	☑ 公募 □ 非公募		指定管理料	85，800，000円 （3年間）※3施設分

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 令和6年3月	直営		
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	264日	266日	264日	100.0%	99.2%
利用者数（延べ人数）	500人	539人	467人	93.4%	86.6%
利用料金収入	1,063,333円	815,705円	754,894円	71.0%	92.5%
主な増減要因（前年比）	金成有機センターの施設改修が完了し、一時的な金成組合員の搬入受け入れが終了したため、稼働率が減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
2025年4月～現在	堆肥醗酵促進事業	堆肥発酵が安定しない課題を克服するため、副資材を活用し、配合比や原料等の調整を実施し、安定的な醗酵を実現した。	自社	5人
2026年1月～現在	完熟たい肥生産量増加事業	ふるい網を新たに調達し、網目を大きくすることで生産量を大幅に増加した。	自社	5人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
マンホール周辺の路盤が老朽化により、ひび割れを起こしている。（対応中）	建屋や設備以外にも老朽化が進んで来ています。利用者へ影響が出ないよう対応をお願いします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
栗駒カントリー、農業法人からもみがらの搬入の依頼があった。	もみがらの受け入れを実施しました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	安定した管理運営体制を評価します。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置し、必要に応じて追加人員を派遣した。	A	計画に基づき人員を適切に配置し、柔軟な増員対応で安定運営を維持した点を評価します。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部有識者を招集し、原料配合別の堆肥醗酵対照試験を実施し、温度変化や物理変化を記録した。	S	外部有識者の指導のもと試験を実施し、品質向上に努めた取組みを評価します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備している。	A	通常時および緊急時の安全管理体制が適切に整備されています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管している。	A	各種記録が適切に整備・保管されており、適正な施設運営を評価します。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報を取り扱う電子ファイル等にはパスワードを設け、社内共有フォルダでの情報共有を行っている。	A	情報の重要性に応じたアクセス制御と共有環境を適切に構築しており、個人情報の適正管理を評価します。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A	法令及び協定を遵守した、適正かつ安定的な管理運営を評価します。	
⑵ 施設管理の状況	S	個別の評価項目を集計し総合評価をSと判定した。	S	施設の適正な管理と安全な環境維持を評価します。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	規定に基づき、適正に施設の管理・運営を行っている点を評価します。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持している。	S	施設清掃や点検が適切になされ、良好な施設環境を維持していることを評価します。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行った。修繕時の対応には修繕対応スタッフを派遣し修繕を行った。	S	協定に基づき設備等の修繕に適切に対応し、専任スタッフ派遣により早期復旧を図っている点を評価します。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行った。	S	専門的な点検により設備の安全性が確保されており、事故防止に向けた取組みを評価します。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	S	丁寧な対応と高い顧客満足度の維持を評価します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	築館有機センターの改修工事に向けて、市役所・利用組合員と連携をとり、適切な情報提供を行った。	S	施設改修に向けた関係機関との円滑な連携と情報提供を評価します。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	利用者アンケートにより、利用者の意見を把握した。	S	アンケートを通じ、利用者の意見を的確に把握している点を評価します。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	要望に対する対応を十分に行った。苦情があった際には直接訪問し、製品交換対応を即時行った。	S	利用者の要望や苦情に対し、即時の製品交換など誠実な対応を評価します。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	地元高校生へ有機センターでの取り組みを紹介し、地域資源循環の魅力を若い世代へ認知した。	A	地域の取組みを通じて、若い世代へ資源循環の重要性を伝えた点を評価します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	モニタリング・アンケートの結果利用者の満足が得られた。	S	アンケート結果からも利用者の満足度が高いと評価します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	応対及び、身なりは適切であった。	A	適切な応対と身なりで、誠実な姿勢を評価します。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A	計画的な収支と適正な経理、効率的な運営を評価します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるが、工夫・改善の課題解決により、更に適正な施設管理・運営となる。	B	昨年度に比べ収支は減少しましたが、健全な経営状態を維持しており、引き続き安定的かつ効率的な運営に努めてください。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあった。	S	収入増加に向けた積極的な取り組みと工夫を評価します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られた。	S	積極的な経費削減の取り組みと、その成果を評価します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われている。	A	専用口座や帳簿を備え、経理業務が適正かつ正確に遂行されている点を評価します。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数は前年度と比較して13.4%減となった。金成有機センターの改築工事終了に伴い、利用者数が減少となった。 ・客単価ベース107%を達成した。 ・堆肥発酵が安定しない課題を克服するため、副資材を活用し、配合比や原料等の調整を実施し、安定的な醗酵を実現した。処理量の大幅な増加を見込む。 ・ふるい網を新たに調達し、網目を大きくすることで生産量を倍増した。	A	＜施設所管課の所見＞ 施設改修の影響による利用者数の減少はありますが、技術的課題への対応、また設備改善による生産量の増大など、事業の質的向上に向けた積極的な取り組みを評価します。今後の増産にも期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒特産物直売センター
施設所管部署名	産業経済部産業戦略課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒特産物直売センター		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎上小路150番地7		
設置年月	平成30年4月	設置根拠条例	栗原市特産物直売条例 栗原市特産物直売センター条例施行規則
設置目的	農林業の振興及び地域資源の活用を図るもの。		
施設概要	面積	延床面積 370．98㎡ 、 敷地面積 7,896㎡	
	構造	木造	
	施設内容	直売所191.29㎡、事務室16.56㎡、搬入室19.87㎡ 付帯設備トイレ、駐車場、多目的広場、街路灯、七十七銀行ATM（令和6年4月1日より稼働）	
休館日	1月1日 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		
開館時間	午前9時30分 ～ 午後6時00分 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ■指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	販売棚 利用する区画ごとの1月当りの販売実績額に100分の20を乗じて得た額 （その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額） ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合		
	事務所所在地	栗原市栗駒岩ケ崎下小路11番地1		
指定の期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ■ 非公募		指定管理料	8，022,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成30年4月 ～ 令和3年3月	指定管理	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	
令和3年4月 ～ 令和8年3月	指定管理	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	364日	364日	364日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	125,000人	120,019人	117,198人	93.8%	97.6%
利用料金収入	14,000,000円	35,673,040円	37,167,141円	265.5%	104.2%
主な増減要因（前年比）	SNSを活用した情報発信に取り組むとともに生産者の確保による品揃えの充実を図りました。毎年恒例のイベントや周辺地域のイベントに合わせた企画を開催し集客に努めましたが、秋の行楽シーズンには熊の影響で観光客が減少し、それに伴い利用客数も減少しました。収入増加分は価格の値上げが影響しているものと考えられます。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年3月13日～23日	春彼岸セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	4,181人
令和7年7月26日～27日	栗駒山車祭り協賛セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	889人
令和7年9月14日～23日	秋彼岸セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	3,578人
令和7年10月12日～13日	収穫祭（7周年祭）	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	1,043人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・駐車場の縁石で利用客がつまずき、転倒し怪我をする事故が起きました。再発防止のため縁石に注意喚起表示をしたりポールを設置し縁石に気づきやすくして、安全対策を実施しています。安心して利用できるよう安全対策をご検討頂きたく要望いたします。 ・熊出没に関する情報が増加し、利用者の安全への不安から観光客が減少しています。それに伴い利用者数や売上にも影響が出ており、利用者増加に向けた取り組みを進めることが課題となっています。	利用者が安心して施設を利用できるよう、駐車場を含めた施設の安全対策について検討していく必要があります。 また、熊の出没による利用者の不安や利用者数の減少に対応するため、指定管理者や関係機関と連携しながら、安全に関する情報発信や施設の利用促進に向けた取組を進めていく必要があります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
買い物を終えて停めていた車へ向かって歩いていたところ駐車場の縁石につまずいて転びそうになったので対策を考えてほしい。	転倒して怪我をした方がいたので、縁石付近にポールを設置して利用者が縁石に気づきやすくなるよう注意喚起をして安全対策を講じている。
世界谷地など周辺観光地へのアクセス情報案内板があるとありがたい。	未対応。
中田栗駒線からの入り口に設置してある山の駅の案内看板が小さくて見つけにくく通り過ぎてしまう。	未対応。
国道457号線を築館方面からきて中田栗駒線のT字路交差点正面に案内看板があると山の駅を見つけやすい。	未対応。
同じ敷地内に飲食店があると良い。	未対応。
ローソンわきの砂利を敷いた空きスペースに何もないのがもったいない。	未対応。
トイレの洗面台の水の勢いが弱い。	未対応。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A		
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	社員を対象に接客等の面談等を実施。	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B		B		
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	冷蔵・冷凍適性温度管理票、一般衛生管理点検票を用いて毎朝夕点検を実施。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	業務仕様書及び協定書に基づき適正に管理・運営がなされている。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	トイレ設備については毎日3回の清掃業務、冷蔵・冷凍庫・エアコンについては月1回の性総点検を実施。	S	トイレ清掃及び詰まり対策を徹底しており、継続して対応願いたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A		
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	消防総合訓練2回実施、水消火器で初期消火模擬訓練を実施。	A		
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用客の満足度が一層向上する取り組みを継続して行っていただきたい。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	河北新報・オリジナルチラシに加えインスタグラム活用し情報発信を強化。	S	引き続き積極的なPR活動に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B		B	利用者の意見を把握するためのアンケート等の実施を検討いただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	賞味期限チェック・鮮度管理を再徹底し，再発防止を図った。	B	消費者が安心して商品が購入できるよう、賞味期限等の確認、店内の環境整備に努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の満足度が把握できるためのアンケート等の実施を検討いただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	月1回対応チェックシートにより確認指導を実施。	A		
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	熊出没等の影響により利用客は減少したものの、売上げは増加しており、良好な運営管理を行っている。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	計画を下回っている要因を分析し利用者の増加や収入確保に向けた取り組みを強化する。	B		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	欠品防止を基本とし不足商材の生産者開拓により利用者の安定供給に努めた。	S	商品の品揃えに目を配り、お客様に配慮した店舗づくりに務めていただきたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	S		S	引き続き適正な諸帳簿の管理に努めていただきたい。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・利用客数は計画を下回ったものの、地元イベントによる集客効果があった。熊出没情報の影響で近郊利用者や観光客が減少したが、地元利用者の定着により利用者数の維持につながった。 ・季節商品の売上は好調でしたが、利用客減少により全体の売上は計画を下回った。 ・トイレや駐車場などの施設をこまめに清掃し、来店者が快適に利用できる環境の維持に努めた。	A	＜施設所管課の所見＞ 熊出没という抗しがたい要因による集客への影響があったものの、地元利用者の定着に向けた丁寧な運営や、季節商品の企画など、創意工夫による補完努力が見受けられました。施設運営の根幹である環境維持管理についても高い意識で取り組まれており、良好な管理運営であったと評価いたします。 今後においては、外部環境の変化に左右されにくい安定的な集客・収益構造の構築に向けて、さらなる戦略的な取り組みを期待いたします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	若柳ふるさとの森
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	若柳ふるさとの森			
施設所在地	栗原市若柳武鎗字磯田沢154番地			
設置年月	昭和63年4月	設置根拠条例	栗原市公園条例	
設置目的	市民の生活文化の向上及び健康増進並びに地域活性化に資することを目的とする。			
施設概要	面積	延床面積　41.4㎡、　敷地面積　100,952㎡		
	構造	木造平屋建		
	施設内容	（施設内の設置室内容） 管理棟、四阿2棟、パークゴルフ場、遊歩道、駐車場		
休館日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たる日を除く。） 休日の翌日（土曜日又は日曜日に当たる日を除く。） ※ 条例から変更の有無　□有 ☑無			
開館時間	午前9時　～　午後5時　　※ 条例から変更の有無　□有 ☑無			
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	※ 条例から変更の有無　□有　☑無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	ふるさとの森振興協会		
	事務所所在地	栗原市若柳武鎗字町舘319番地		
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募　☑ 非公募		指定管理料	8,800,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成21年4月 ～ 令和6年3月	指定管理	ふるさとの森振興協会	H26、H31、R6更新
令和6年4月～令和11年3月	指定管理	ふるさとの森振興協会	R6 更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	350日	350日	350日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	13,000人	13,349人	13,960人	107.4%	104.6%
利用料金収入					
主な増減要因（前年比）	イノシシ等の被害があったが、利用者数については前年度と大きく変化なし。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
12月8日	ありがとうコンペ	振興協会定期コンペ	自由参加	73名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
トイレの便座マイコンの不具合がある（便座3台）。 浄化槽の不具合がある。	トイレの便座については指定管理者で対応いただいています。また、浄化槽については修繕対応済みです。広い敷地のため、利用者の安全確保の為の日頃の管理の徹底をお願いいたします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレの衛生管理。	日常的な清掃と、周辺を含めた清掃作業を年10回行う。
開場日数を増加！	年末年始の開場（継続）。
遊歩道周回路の整備。	未整備。
遊歩道周回路の景観整備。	未整備。
トイレの便座の不具合（3台）。	未整備（R8年度対応予定）。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	1日1回開錠・施錠・施設内に点検。	B	継続的に施設を管理していけるよう、後継の確保について計画的な対応をお願いします。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修会への参加等。	B	継続的に施設を管理していけるよう、後継の確保について計画的な対応を望む。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	緊急連絡先・連絡網の確立。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	入場者数棟日誌作成。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	1日1回開錠・施錠・施設内に点検。	A	適切に管理されている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	月1回管理棟及び周辺清掃。	B	おおむね適切に管理されているが、一部遊歩道の管理頻度が減っています。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	D	周回路の木製橋未対応。	B	R6年度聞き取りの際、対応済であることを確認しています。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に施設管理・草刈り機点検。	B	おおむね適切に管理されている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙配布回収。	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	開場時間延長。	A	利用者の意見に対し適切に対応されている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		B	前年度と同様の取り組みが見られた。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		B	事業の実施数・内容ともに前年同様のものであった。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		B	経費の削減が見られた。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ 便座の修理予定しているため、遊歩道整備・樹木管理費が未執行でした。令和8年度に便座の修理を行う。利用者ついては、微増となっています。	A	＜施設所管課の所見＞ おおむね適切に管理されているが、広い敷地のため、管理しきれない部分が出てきています。刈払いの方法や管理範囲については今後の課題であると認識します。 近年はクマやイノシシの被害がでていることから、普段から施設内点検を入念に行うなど注意が必要であり、来所者が安全に施設を利用できるよう、今後とも引き続き適切な安全管理・保全を実施し、安定した利用者数の確保に努めてください。	A

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市ハイルザーム栗駒
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市ハイルザーム栗駒		
施設所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
設置年月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市ハイルザーム栗駒条例
設置目的	栗駒山麓の豊かな自然の中で、自然と温泉を活用した健康づくりと福祉の増進及び地域の活性化に資すること。また、自然の中で健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ健康と福祉の増進及び地域の活性化に資することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 5,030.31㎡、 敷地面積 57,524㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造3階建、地下2階建	
	施設内容	（施設内の設置室内容）栗原市ハイルザーム栗駒 [センター棟] 大広間、中広間、事務室、売店、エントラスホール、ラウンジ、休憩室、レストラン、待合室、アトリウム、浴場、露天風呂、プール、サウナ室、脱衣室、カラオケ室 [ホテル棟] 宿泊室（28室）・宿泊定員（112名）、従業員宿泊室（10室） [その他] 駐車場（200台）	
休館日	毎月第1・第3木曜日、11月10日から3月31日まで休館 ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無		
開館時間	日帰りの場合、午前10時から午後6時まで 宿泊の場合、午後3時から利用最終日の午前10時まで ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279-2		
指定の期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ☑ 非公募		指定管理料	5施設一括（ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村） 228,989,000円（税込） （3年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 令和8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2,5更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	344日	345日	212日	61.6%	61.4%
利用者数（延べ人数）	20,260人	18,177人	14,133人	69.8%	77.8%
利用料金収入	137,685,000円	76,967,535円	61,564,612円	44.7%	80.0%
主な増減要因（前年比）	本年度は冬季の収支不均衡の見込みから、4月1日より11月9日までを開館期間としたため、利用料金収入は前年比20%減となった。 なお、4月から10末までの期間における前年比較では、宿泊利用者が前年比367人増の4,356人、日帰り宴会利用者が45人増の878人、日帰り入浴利用者が238人減の8,399人となった。 また、同期間の利用料金収入は前年比約458万円の増となり、宿泊料金において「ダイナミックプライシング」（AIによる動的価格設定）のシステム導入による宿泊単価の設定効果が売上げ増の要因となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
4月（9回）	栗駒-温泉直行便プラン	水芭蕉の開花に合わせた仙台駅からの無料送迎付きプラン	一般	54人
4月～9月（14回）	東日本急行で行く くりはら三湯物語プラン	仙台駅から栗原市一迫までの東日本急行往復バス乗車券と一迫から宿泊先への無料送迎、1泊2食料金をセットにしたパッケージプラン	一般	211人
4/14～6/29	春の栗駒山麓 お花見プラン	世界谷地の高山植物の開花シーズンに合わせた宿泊プラン。世界谷地までの無料送迎付き	一般	110人
4/19	お花見大宴会	カラオケを通じて参加者みんなで日頃の疲れを癒すプラン	一般	5人
5/24	さなぶり大宴会	カラオケを通じて参加者皆で田植えの後の慰労を兼ねたプラン	一般	11人
6/21	夏の栗原の地酒を愉しむ会	酒蔵見学及び栗原市内6蔵元の地酒とそれに合う料理を愉しむプラン	一般	22人
7/16, 17	ハイルザーム栗駒 創業祭	創業記念日に合わせ、舞踊の観覧と食事を合わせたプラン。宿泊プランと日帰りプランを用意	一般	169人
7/19～9/19	ハイルザーム栗駒 サマーファミリープラン	小学生以下のお子様の宿泊を伴う場合のリーズナブルプラン。浮き輪や虫とり網の無料貸出しのほか、手持ち花火セットのプレゼント特典付き	一般	693人
8/17	セントラルスポーツ 夏合宿	プール利用のほか、岩魚のつかみ取りやカレーライス作り、ミニ四駆製作等を合わせた事業	一般	52人
11/7	マドンナの休日プラン	女性限定ロングステイプラン。女性向けの特別な食事内容のほか、一輪挿しを制作するワークショップを実施。2日目のランチを含む1泊3食プラン	一般	37人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・設備の経年劣化による不具合が発生している。 ・施設規模が大きく維持管理が難しい状況となっている。 ・物価高騰により経費が増大しており、利用料金への転嫁が大きな課題。	・設備の不具合については修繕対応しているものの、早期発見が重要であるため、施設内の状況記録を継続いただき、異常を感じた場合は複数人で確認するなどの対応をお願いします。 ・設備の管理マニュアルの作成及び社内研修により、管理方法を従業員が共有し、維持管理の円滑化や省力化に向けた検証を保守点検業者と協議してください。 ・利用料金は、プラン毎の経費の費用対効果の分析を充分に行い、収益を高める取り組みの実施と同時に最適な料金を設定するよう努めてください。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
年末に利用してきたが、休業で利用できず残念。	休業に至る状況を説明し、理解いただいた。
くりこま高原駅から宿までの無料送迎があり便利。	日帰り、宿泊ともに無料送迎を行ってきた。特に紅葉シーズンについては、毎日くりこま高原駅から無料送迎を行い喜ばれた。
リーズナブルなうえ、清掃が行き届いており、またスタッフの方の対応も十分で、快適に過ごせました。	お客様に快適に過ごしていただけるよう日々心掛けています。
大改修の際で良いので部屋にシャワーを設置してほしい。できれば家族風呂も。	お客様の要望として市へ伝える旨説明しました。
スリッパが壊れていたので買い替えたほうが良い。	150足を新たに購入しました。
建物上部のハイルザーム栗駒の表示がかけて、みすぼらしかった。	表示について補修しました。
2泊しましたが、料理が別メニューで嬉しかったです。岩魚塩焼きと香草焼きが美味しく満足です。	連泊者には料理内容を一部変え提供しています。また、アレルギー等ある方にもその都度内容を変え提供しています。
紅葉が最高なので、散歩をしようと思いましたが、クマが出たら大変と思いやめました。	クマ対策のため令和7年度は散策路の利用をご遠慮いただきました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	役職者を配置し管理運営。法定点検は専門業者へ委託し対応している。	B	概ね適正であるが、設備維持管理に必要な有資格者の複数人の育成を計画していただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	人材育成のための社内研修を実施している。	C	経営マネジメントやSNS発信等の研修に機会を設けて参加いただき、今後の人材育成に努めて欲しい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練の実施及び夜間の防災体制人員を配置。	B	概ね適正であるが、設備管理マニュアルを作成し、従業員が緊急時に適切に対応できるよう備えることが必要。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の整備・保管を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	PCへの不正アクセス対策や従業員教育を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	市条例及び協定書に基づき担当課と連携した。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定書の内容を遵守し管理運営した。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者への点検を行った。	B	概ね適正であるが、結露防止やカビ発生防止に留意すること。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応した。	B	概ね適正であるが、軽微な修繕は早期に対応すること。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法令による設備の保守点検を委託し実施した。	B	概ね適正であるが、事故防止のため照明の電球交換などは迅速に対応すること。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	HP、SNS、DM、渉外活動による積極的な情報提供に努めた。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	内容を精査し対応。施設改修の要望については市に要望を伝えた。	B	概ね適正であるが、利用者増に繋がるようなアンケート内容の見直しや分析に取り組んでいただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望は内容を精査し随時対応し、苦情に対しては即対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	C	新たな自主事業（お花見大宴会、さなぶり大宴会、山開きプラン）を試みたが集客につながらなかった。	C	自主事業について、ターゲット層を明確にし、実績分析を行いながら、より認知度を向上させる工夫・改善が必要と考えます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの意見は多いが、設備的に不満足との声もあった。	B	概ね適正であると認めます。施設改修の要望については指定管理者と協議して参ります。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	社内研修を通じて、適切な応対、身だしなみに取り組んでいる。	A	適切であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	年間計画・自主事業計画ともに計画値には及ばなかったが、冬季休業することで赤字を減額することができた。	C	前年収入実績に応じた支出計画をベースに、営業改善や経費削減を実践し、赤字を減額することが必要です。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	宿泊料金にAIによる金額変動機能を取り入れ売上増に繋がった。また、イベント内容を改善し売上増に努めた。	B	各プランの魅力をより明確に打ち出す広告デザインやHPの作成、施設独自の体験メニューを増やす等の改善が必要と考えます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	経費削減に努めたものの物価高等の影響もあり、苦慮した。	C	支払手数料や決済手数料をはじめ、営業費支出は増加しており、費用対効果の分析が必要と考えます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に処理。監査指摘無し。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・オンライン旅行代理店（OTA）、HP、SNS等での情報発信に力を入れた。また、ネット予約に関しては、ダイナミックプライシング（動的価格設定）を導入し、売上増に努めた。 ・設備の老朽化により突発的な機器故障等あった中、臨機応変に対応してきた。	A	＜施設所管課の所見＞ ・宿泊料金の設定にAIを導入し、ハイシーズンやローシーズンにおける県内宿泊施設の宿泊単価や宿泊需要に応じた料金をAIが設定することで、予約件数及び収益の拡大に繋がったことは評価できる。また、様々な媒体でのPRに注力していると見受けられるが、各媒体の費用対効果の分析が必要であり、効果や利用率が低いものについては削減するとともに、利用者の年代や地域、利用プラン、予約経路の分析等を進め、今後の広告方法やプラン内容について、より収益性の高い内容となるよう改善していただきたい。 ・施設の維持管理及び修繕については、指定管理者と連携を密にして対応していく。	B

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒コテージ
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1　評価対象施設の概要（施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒コテージ		
施設所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東49番地		
設置年月	平成9年2月	設置根拠条例	栗原市栗駒コテージ条例
設置目的	栗駒山麓の豊かな自然の中で、自然と温泉を活用した健康づくりと福祉の増進及び地域の活性化に資すること。また、自然の中で健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ健康と福祉の増進及び地域の活性化に資することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積　417.26㎡、敷地面積　－　㎡	
	構造	木造2階建	
	施設内容	コテージ　木造2階建（全7棟　1棟定員5人） [1階] 洋寝室、[中2階] 洋寝室、浴室、トイレ、洗面所 [2階] リビング、キッチン、畳小あがり、バルコニー	
休館日	毎月第1・第3木曜日　11月10日から3月31日まで休館 ※　条例から変更の有無　　☑有　☐無		
開館時間	到着日の午後3時から利用最終日の午前11時まで。ただし、これを超える利用については別途延長料金により、最長利用最終日の午後1時まで延長することができる。 ※　条例から変更の有無　☐有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	☐採用　☐採用無　☑指定管理料と併用　☐指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※　条例から変更の有無　☐有　☑無	

2　指定管理者等の概要（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社　ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279-2		
指定の期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日　（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募　☑ 非公募		指定管理料	228,989,000円（税込み）（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

3　施設管理の経過（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月　～　令和8年3月	指定管理	株式会社　ゆめぐり	H21,26,29,R2,5更新

4　施設の利用実績（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	232日	244日	212日	91.4%	86.9%
利用者数（延べ人数）	1,250人	1,010人	1,269人	101.5%	125.6%
利用料金収入	5,150,000	4,135,948円	5,366,724円	104.2%	129.8%
主な増減要因（前年比）	栗駒山の知名度が年々向上し、登山やツーリングと合わせて当施設を利用する方が増加していると思われる。利用状況は、利用者数が前年比で25.6%増、利用料金収入が29.8%増となり、利用料金収入は計画値を超える実績となった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年 月 日	事 業 名	事 業 内 容	対象者	参加者数
な し				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・空調設備等の経年劣化による不具合が発生している。 ・カメムシや蟻が室内に侵入する。 ・天井が高く、容易に電球交換ができない。 ・市内のクマ被害によるイメージ回復が必要。	・設備の不具合については修繕対応しているものの、早期発見が重要であるため、施設内の状況記録を継続いただき、異常を感じた場合は複数人で確認するなどの対応をお願いします。 ・虫の侵入については立地環境の影響もあることから、完全に侵入を防ぐことは困難なため清掃での対応をお願いします。 ・クマ被害の未然防止については、引き続き注意喚起を行って参ります。 ・他地域の取り組みを情報収集し、体験事業と合わせたプランの企画を検討するなど、積極的な誘客に取り組んでいただきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
カメムシが大量発生し、自分達で駆除した。	チェックイン前に再確認、駆除。超音波機材を設置。
室内がカビ臭かった。	チェックイン前に再確認、換気を徹底。
ペット同伴ができるので大変ありがたい。	7棟中1棟をペット同伴可能としています。ペットと過ごせる宿は、まだそれほど多くなく、好評をいただいております。
環境が良く、楽しく過ごせました。朝、お風呂に行くときキツネを見ました。自然の素晴らしさに感動しました。	栗駒山の中腹にあり、自然豊かな立地です。キツネ、テン、リスなど野生生物が時折見られます。
大変気持ちの良いホテルでした。道路が整備されていたら旅行者がもっと増えると思います。	県道42号線の行者滝から道幅が狭くなっていますが、木々が生い茂り新緑、紅葉と自然を感じることができます。
フリー Wi-Fi があるのには助かりました。	センター棟はもとより、コテージ棟でもWi-Fi がつながる環境のため、お客様の利便性に貢献出来ました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評　価　項　目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴　基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	適切に人員配置している。	B	概ね適正であるが、設備維持管理に必要な有資格者の複数人の育成を計画していただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	人材育成のための社内研修を実施している。	C	経営マネジメントやSNS発信等の研修に機会を設けて参加いただき、今後の人材育成に努めて欲しい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練の実施及び夜間の防災体制人員を配置。	B	概ね適正であるが、設備管理マニュアルを作成し従業員が緊急時に適切に対応できるよう備えることが必要。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の整備･保管を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	PCへの不正アクセス対策や従業員教育を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	市条例及び協定書に基づき担当課と連携した	A	適正であると認めます。	
⑵　施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定書の内容を遵守し管理運営した。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	従業員による定期的な巡回点検及び業者委託による点検を行った。	B	概ね適正であるが、利用が無い日については細目な換気を行うなど良好な環境を維持いただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応した。	B	概ね適正であるが、軽微な修繕は迅速に対応すること。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法令による設備の保守点検を委託し実施した。	B	安全確保のため、照明の電球交換などは迅速に対応すること。	
⑶　利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	ホームページや渉外活動による積極的な情報提供に努めた。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	内容を精査し対応。施設改修の要望については市に要望を伝えた。	B	概ね適正であるが、利用者増に繋がるようなアンケート内容の見直しや分析に取り組んでいただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望は内容を精査し随時対応し、苦情に対しては即対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	C	新たな取り組みは実施できなかった	C	他地域の類似施設の取り組みなどを情報収集し、当施設でできることを企画するなど積極的に取り組んでいただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの意見は多いが、設備的に不満足との声もあった。	B	概ね適正であると認めます。施設改修の要望については指定管理者と協議して参ります。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切であると認めます。	
⑷　運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	料金収入において計画値を超えることができた。	B	料金収入が計画値を超えたことは評価できるが施設の魅力を引き出せるような自主事業を実施いただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	ペット同伴可能な施設としてPRした。	C	ホームページ以外にも例えば市内の小学生へのチラシ配布や、SNSを通じた発信等の誘客に努めて欲しい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	経費削減に努めたものの、灯油やリネンのクリーニング費用の単価上昇の影響があり苦慮した。	B	概ね適正に経費節減に取り組んだと認められる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に処理。監査指摘無し。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・クマ被害のニュースの風評により、売り上げが期待値より伸びなかったと感じるが、年度計画値を超えることはできた。一方、平日の利用者は依然集客が少なく、新規開拓が必要である。 ・ペット同伴可能であると認知されてきた。	A	＜施設所管課の所見＞ ・利用者数及び収入額が年度計画値を超えることができたことは評価できる。平日の利用者拡大のためには、旅行の自由度が高い層に特化したプランが効果的であると考えます。隣接するハイルザーム栗駒を利用し、相乗効果を狙う「平日限定ランチと温泉入浴セットプラン」、研修や福利厚生事業の利用を誘致する「平日限定全棟貸切プラン」など、他地域での取り組み等を参考に、当施設で実現できる取り組みについて検討し、実施いただきたい。	B

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市金成温泉金成延年閣
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市金成温泉金成延年閣			
施設所在地	栗原市金成三沢32番地			
設置年月	平成3年11月	設置根拠条例	栗原市金成温泉金成延年閣条例	
設置目的	市民の保養及び健康の増進並びに地域の活性化に資することを目的とする。			
施設概要	面積	温泉棟　延床面積2,227.71㎡、屋内ゲートボール場　延床面積575.81㎡ 敷地面積　25,624㎡		
	構造	温泉棟　鉄筋コンクリート造平屋建一部地下1階 屋内ゲートボール場　鉄骨造平屋建		
	施設内容	（施設内の設置室内容） [1階] 事務室、フロント、売店、食堂、厨房、大浴場、露天風呂、サウナ、家族風呂、大休憩室（250人）、休憩室（30人×2室）、小会議室（16人）、トイレ、エレベーター [地下1階] 休憩室1号（30人）、休憩室2号（50人）、休憩室3号（100人）、パントリー、トイレ、機械室 [付帯施設] 屋内ゲートボール場、トイレ [その他] 駐車場（100台）		
休館日	毎月第2・第4火曜日 ※　条例から変更の有無　☑有　☐無			
開館時間	【温泉棟】 午前9時から午後8時30分まで 【ゲートボール場】 午前9時から午後5時まで ※　条例から変更の有無　☑有　☐無			
施設利用料金	利用料金制	☐採用　☐採用無　☑指定管理料と併用　☐指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※　条例から変更の有無　☑有　☐無		

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社　ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279-2		
指定の期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日　（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募　☑ 非公募		指定管理料	228,989,000円（税込み）（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月　～　令和8年3月	指定管理	株式会社　ゆめぐり	H21,26,29,R2,5更新

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	342日	342日	334日	97.7%	97.7%
利用者数（延べ人数）	99,800人	97,295人	101,461人	101.7%	104.3%
利用料金収入	46,280,000円	43,151,732円	45,729,394円	98.8%	106.0%
主な増減要因（前年比）	今年度は、男女大浴場の天井排煙窓改修工事による休館により営業日数が前年度より8日減となったが、利用者数は前年比4,166名増（4.3%増）で計画値を上回る10万人以上の利用を達成し、前年比約258万円増（6.0%増）の実績となった。また、利用料金収入は回数券利用者や割引サービス利用者の増により計画値には届かなかった。なお、前年比較での利用者数及び利用料金収入の増加要因は、当施設の利用促進にかかる新聞掲載や折込チラシ、ウェブサイトでの発信等、常に情報を発信し、延年閣の存在をPRしてきたことの効果が表れたものと思われる。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
7月12日～8月3日	延年閣杯ふるさとの森パークゴルフ大会	ふるさとの森パークゴルフ場において「延年閣杯」を開催。参加者の多くが大会後に当施設を利用いただいた	ふるさとの森PG場会員	63人
7月12日～8月3日	延年閣うなぎ弁当の販売	無料配達のほか入浴割引券付きでオリジナルうなぎ弁当の販売を行い、入浴利用者の拡大を図った	市内及び近隣地域の方	1,549人
8月8日・9日・10日	延年閣「酒フェスタ2025」	市内の地酒、ワイン、ビールなどの飲み放題とビュッフェ形式による食事の提供により、多くの方から好評をいただいた	チケット購入者	246人
11月1日	金成延年閣創業祭	特別料理と紅白餅の提供。併せて舞踊ショーを開催し、利用者に楽しんでいただいた	延年閣ご愛顧のお客様	99人
通年（全27回）	舞踊・南部神楽公演	舞踊・南部神楽の観覧とお弁当、入浴のセットプラン。根強い人気があり、好評をいただいている	舞踊・神楽ファン	2,123人
通年（全11回）	延年閣・温泉バス	延年閣を利用してもらうため無料送迎バスを運行した	市内または施設近隣の方	102人
通年	各種宴会プラン	季節ごとの会席膳（3種）による宴会プランを実施しました。無料送迎、ドリンクサービス、入浴代を含めたセットプラン	主に市内及び近隣地域の方	8,774人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・老朽化に伴う設備の不具合が頻発している。根本的な解決を図るには全改修を行う必要がある。 ・最近の社会情勢により、物価高や最低賃金の上昇による経費が増加しているため、入浴料の値上げを検討している。 ・新入社員の不足に加え、現社員の高齢化により人員不足が懸念される。特に専門部署における後継者不足が深刻である。	・設備の維持管理及び改修については、必要に応じ適切に対応して参ります。 ・重油をはじめ、物価の高騰にかかる入館料の値上げについては、指定管理者と協議のうえ対応して参ります。 ・設備管理要員や調理員等の専門職員の退職時期を見据え、技術継承期間を含めた採用計画に基づき良好な施設運営を維持していく必要があります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
ドライヤーの台数を増やしてほしい。	ドライヤーの設置台数を増やすためにはブレーカー等の改修工事が必要なため、対応について市と検討して参ります。
水風呂を設置してほしい。	施設の躯体や基礎部分の改修や衛生面、安全面を考慮しながら、対応について市と検討して参ります。
不衛生な客・マナーを守らない客がいるので何とかしてほしい。	場所取り、身体を洗わずに浴槽に入る、排泄物で施設を汚す等の行為により、深刻な風評被害を生んでいる。これらの行為は著しく施設のイメージを損ない、新規顧客の獲得に悪影響を与えている。掲示物による注意喚起、巡回の強化はもちろんのこと、公共の施設だからこそ、そのような利用者を発見した場合は厳しい対応を取っていく。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	各部署に必要最低限の人員を配置している。施設の点検等は専門業者へ委託している。	B	概ね適正であるが、設備維持管理に必要な有資格者の複数人の育成を計画していただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	C	新入社員の入社がなく、人的余裕もないため研修を行う機会が確保できていない。	C	社員を小グループに分けての受講やオンラインで受講するなど、スキルアップの機会を設けていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	緊急時に指示・対応できる責任者を置いている。また、避難訓練を実施している。	B	概ね適正であるが、設備管理マニュアルを作成し、従業員が緊急時に適切に対応できるよう備えることが必要。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の整備・保管を行っている。	B	概ね適正であるが、ゲートボール場トイレ等の離れた施設の点検にも留意願いたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	端末のセキュリティに気を配り、個人情報の記載された紙面を破棄する際は必ずシュレッダーを使用している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、協定に基づいた運営を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市に承認を得た内容で運営している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	保守点検は行っているが、老朽化により全改修が望ましい事案に対し、部分的な修繕・改修対応に留まっている。	B	概ね適正であるが、使用していないプレハブについては早期に処分し、正面玄関付近の環境改善が必要。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	経年劣化に伴う修繕が頻繁に発生しており、市でも全て対応することが難しい状況である。	B	優先順位を考慮しながら、引き続き修繕や改修を行って参ります。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法定点検の実施。専門業者へ点検を依頼。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	利用者拡大のため様々な情報を施設内掲示やHP等で広く告知している。また、食堂も電子決済可能とし利用者から評価されている。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	C	即対応できない要望も多く（工事が必要なものなど）、意見反映が難しい事案がある	B	利用者の要望を反映できるよう指定管理者と情報共有し対応して参ります。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	C	利用者同士のトラブル（常連客のマナー違反等）に対する意見が多く、対応に苦慮している	B	マナーやルールの徹底は問題発生場所に複数の掲示物を貼付するなど、注意喚起に注力していただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	入浴以外にもポイントカードの押印の機会を増やすなど、利用者の利便性を図っている。	B	概ね適正であると認めます。引き続き利用者拡大を図り、様々な取り組みの試行・分析に努めていただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	概ね満足いただいている。	B	概ね適正であると認めます。施設改修を伴う案件については、指定管理者と協議・検討して参ります。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	施設で用意したユニフォームを着用し適切に接客対応している。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	利用者拡大に取り組み、収入については目標値に近い実績となった。	B	利用者数が計画値を上回ったことは評価できる。支出については改善策の検討及び実施に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	積極的な営業や告知に加え、利用者からの細かな要望に応える宴会プランを実施するなど、少しでも多く予約を獲得できるよう常に話し合い工夫している。	B	概ね適正であると認めます。引き続き、利用者のニーズを分析し、きめ細やかなサービスを提供願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	削減案を話し合い、室温計を設置して節電を行った。また、パート従業員の勤務時間の短縮化や、見積合わせによる発注に取り組んだ。	B	施設管理にかかる経費が節減されている。引き続き経費の費用対効果や分析・試行に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	会計事務所の指導を守り、監査においても特段の指摘はなかった。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 入館者数は昨年を4,166名上回り、年々増加の傾向にある。 また、宴会予約も増加しており、総収入は計画・前年比ともに上回ることができた。一方で、重油や消耗品の物価高騰や最低賃金の底上げ等による支出の増加は今後も増大していくと予測されることから、入館料の値上げを検討している。 また、今年で築35年を迎える施設は老朽化も著しく、修繕案件が頻発している状況である。35年を経て、浴場やサウナなどの規模や設備的にも競争力が著しく低下しており、今後の集客や売上を確保するためには、施設全体のリニューアルが必要である。	A	＜施設所管課の所見＞ 入館者数がコロナ禍後、初めて10万人を超えるまで回復したことは、広告宣伝や営業努力の結果として評価する。 また、物価高騰による経費増への対応については、指定管理者と協議のうえ適切に対応して参ります。 また、施設設備については既に改修済みの設備との合理的な調整を図りながら、引き続き適切に実施して参ります。 なお、施設維持管理に必要な人材の確保並びに育成については、施設設備の管理マニュアルの作成と併せ、適切に対応するよう努めていただきたい。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市花山温泉温湯山荘
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市花山温泉温湯山荘		
施設所在地	栗原市花山字本沢温湯15-1		
設置年月	平成8年8月	設置根拠条例	栗原市花山温泉温湯山荘条例
設置目的	温泉利用による健康保持及び観光産業の創出による地域振興を図るため。		
施設概要	面積	2,495.00㎡	
	構造	RC造 地下1階 地上3階	
	施設内容	建築面積 ： 1315，50㎡ 延床免責 ： 2597，29㎡	
休館日	なし ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
開館時間	日帰りの場合、午前10時から午後6時まで 宿泊の場合、午後3時から利用最終日の午前10時まで ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	別紙資料のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指定の期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	□ 公募 ☑ 非公募		指定管理料	228,989,000円（税込み） （3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 令和8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2,5更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	365日	354日	365日	100.0%	103.1%
利用者数（延べ人数）	23,240人	20,889人	20,392人	87.7%	97.6%
利用料金収入	94,335,000	79,273,412	86,761,365	92.0%	109.4%
主な増減要因（前年比）	利用人数が前年比で497人減（97.6%） 宿泊 132人減（98.2%） 日帰り 365人減（97.2%） 宿泊前年比： 栗原市内2,602人（前年比443人減 85.5%） 宮城県内1,008人（108人減 84.5%） 東北（宮城以外）270人増（168.5%） 関東192人減（85.9%） その外地区（東北・関東以外の国内、海外）429人増（629.6%・ネット予約の増加 R6年332件890人⇒R7年715件1,686人） 日帰り 日帰り会食、日帰り入浴共に減少 ※宿泊、日帰り共に9月～11月の紅葉シーズンの利用が低迷した（各地で相次いだ熊出没による影響） ※利用人数は減少したものの、ダイナミックプライシングの活用により収入は増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
8月8日（金）	創業祭	舞踊ショー鑑賞ディナーショー	一般	24人
9月6日（土）	栗原の銘酒を愉しむ夕べ	金の井酒造の地酒飲み比べ	一般	23人
12月6日、1月24日、3月15日	舞踊ショー	舞踊観覧	一般	167人
2月21日（土）	くりはらの銘酒を愉しむ会	萩野酒造の地酒飲み比べ	一般	12人
毎月26日	ふろの日	入浴料金割引き（大人350円　小人150円）	一般	594人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・収入の確保と支出抑制 インターネット予約サイトの拡充 ・施設、設備の経年劣化による不具合箇所の改修修繕 日々の点検と計画的な修繕 ・人財の確保（担い手の確保・若返り）	一部地域からの集客増が見られたものの、全体的な利用人数は減少しています。今後は、減少傾向にある市内・県内からの利用者や日帰り客をいかに取り戻し、安定的な集客基盤を構築していくかが課題です。 修繕の要望があるものについては、緊急性等を考慮しながら計画的な修繕が必要と考えます。 引き続き日々の点検の継続や、人材確保も含め、持続可能な施設運営に努めてください。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
食事が美味しかった。特に岩魚の塩焼きが良かった。	同様の意見を今後もいただけるよう継続して取り組む。
スタッフの接客サービスが親切丁寧で素晴らしい。	同様の意見を今後もいただけるよう継続して取り組む。
レースのカーテンがほつれていた。	レースカーテンの交換。
浴衣にほつれがある。新調してはどうでしょうか。	経年劣化の浴衣入れ替えを業者と相談中。
浴室の鏡が劣化して見えづらい。	交換予定。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	法定点検は専門業者へ委託し対応。人員不足が解消できていない。	B	有資格者については問題ないが、施設管理に必要な人員は不足している。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	栗原市や宮城県が主催した講習会へ参加。	A	適切に管理されている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練を2回/年実施。	B	おおむね適切に管理されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録簿への記入と保管。	B	おおむね適切に管理されている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	条例に則り対応。	A	適切に管理されている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	異常時は担当課へ報告。	B	修繕等の報告に遅延が生じていることがあった。	
⑵ 施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例に則り対応。	A	適切に管理されている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃、専門的な個所は業者へ依頼。	B	適切に管理されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	不具合発生時は随時報告。	C	修繕等の報告に遅延が生じていることがあった。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者へ委託し管理。	A	適切に管理されている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請時には迅速に対応。	A	適切に管理されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙を設置。	A	適切に管理されている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	随時対応。	A	適切に管理されている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな企画を考えているが、出てきていない。	B	おおむね適切に管理されている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果では概ね高評価を得ている。	A	適切に管理されている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	概ね良好。	A	適切に管理されている。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	売上が伸びずマイナス収支から脱却出来ていない。	C	前年度に引き続き赤字となった。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新たな企画プランを販売したが、収支が改善するまでに至っていない。	B	新たなプランを企画提案したが、収支改善には繋がっていなかった。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	委託契約時に複数年契約や共同購入を図り支出の抑制に取り組んだ。	B	おおむね適切に管理されている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	監査による指摘無し。	B	適切に管理されている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 収入の柱である宿泊客を確保すべく栗原市内及び近隣向けのプランや広く受け入れ対応するべくインターネットサイトの充実に取り組ました。今後も新たな宿泊プランを企画し宿泊客の獲得に努めます。 支出では、日常点検を継続し、不具合箇所の早期発見に努め、設備備品の取り扱いは丁寧に取り扱い支出の抑制に取り組んで行きます。 人手不足が深刻な現状ですが、親切丁寧で、お客様に寄り添った接客を心がけ安全安心な環境整備に努め再度利用頂けるように取り組んでいきます。	B	＜施設所管課の所見＞ 一部地域からの予約件数を増加させた点を評価しますが、減少傾向にある市内・県内客や日帰り客の回復が課題です。 利用者の動向などのお客様分析はしっかりと行われていると見受けられるため、今後は「どのターゲット層にどのようなアプローチをするか」をより明確にしていく必要があります。また、昨今の物価高騰の中で、様々なコスト等のバランスを考慮し、赤字解消に向け収支を改善していく取り組みが必要だと考えます。 人員不足の中にあっても、お客様に寄り添った懇切丁寧な接客を実践し、利用者から高い評価を得ている点は大変素晴らしいものです。今後もこの強みを継続し、リピーターの獲得に努めてください。 引き続き設備の日常点検に取り組むとともに、不具合の早期発見に努めてください。また、限られた人員の中でも確実かつ効率的な維持管理を継続できるよう、設備管理等のマニュアル作成による業務の標準化にも取り組んでいただくようお願いいたします。なお、施設の不具合や老朽化等については、市と指定管理者とで協議しながら計画的に対応していく必要があると考えております。今後も安心・安全で持続可能な施設運営をお願いいたします。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市花山青少年旅行村
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市花山青少年旅行村		
施設所在地	栗原市花山字本沢稲干場2-1		
設置年月	昭和48年7月	設置根拠条例	栗原市花山少年旅行村条例
設置目的	青少年の健全な旅行を推奨するとともに、地域の振興を図り、もって地域住民の福利向上に資することを目的とする。		
施設概要	面積	管理棟　延床面積　180.76㎡、コテージ　延床面積　48.86㎡×8棟 敷地面積　57,524㎡	
	構造	管理棟　木造2階建 コテージ　木造平屋建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） ①管理棟　事務室、会議室　②コテージ　8棟　③集会棟　1棟 ④シャワー棟　1棟　⑤炊事場　1棟　⑥便所　1棟　⑦四阿	
休館日	コテージは11月15日から3月31日まで冬期休館。 ※　条例から変更の有無　☑有　☐無		
開館時間	キャンプ場　日帰りの場合、午前9時から午後5時まで 宿泊の場合、午前11時から利用最終日の午前10時まで コテージ　午後2時から利用最終日の午前10時まで 雨天集会場　午前9時から午後10時まで 運動広場　午前9時から午後5時まで ※　条例から変更の有無　☐有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	☐採用　☐採用無　☑指定管理料と併用　☐指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※　条例から変更の有無　☐有　☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社　ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指定の期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日　（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募　☑ 非公募		指定管理料	228,989,000円（税込み）（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 令和8年3月	指定管理	株式会社　ゆめぐり	H21,26,29,R2,5更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	365日	365日	365日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	9,000人	6,801人	5,597人	62.2%	82.3%
利用料金収入	10,912,000円	7,692,445円	7,379,279円	67.6%	95.9%
主な増減要因（前年比）	利用者数・利用料金共に前年を下回った。 要因としては、花山湖渇水による自主事業の中止、景観の悪化が考えられる。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
4.14～4.27	花山湖春のツーリング	カヌー、サップ等で水没林や上流部まで航行	一般	24名
8.9～8.17	夏休み岩魚つかみイベント	特設プール設置。岩魚掴み、岩魚焼き体験	一般	42名
6.21～11.16約2月休	ポケモンボート	ラプラスボート運航	一般	172名
10.15～11.16	花山湖紅葉ツーリング	カヌー、サップ等で紅葉の花山湖航行	一般	17名
12.20, 8.1.1	メモリアルファイアー	冬至及び元旦のキャンプファイヤー	一般	14名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・天候など自然条件により自主事業が中止となり、利用者減少に繋がった。 ・設備の老朽化	花山湖の渇水による自主事業の中止は、自然条件による不可抗力であり、安全を最優先にした適切な判断であったと理解しています。 修繕の要望があるものについては、緊急性等を考慮しながら計画的な修繕が必要と考えます。 引き続き日々の点検の継続や、人材確保も含め、持続可能な施設運営に努めてください。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
（コテージ）古いけれど、掃除が行き届いて居心地よく、景色も素晴らしい。スタッフも親切。また来たい。（同様の意見多数）	同様の意見を今後もいただけるよう取り組む。
コテージのwi-fiがつながりにくい。	今年度もアンケートで多かった。増幅器が最も簡易なものを使っているとの業者の指摘があった。
キャンプ場宿泊でカヌーの夕方、朝方のさんぽが素晴らしく、友人を誘ってまた来たい。サップ教室にも参加したい。	同様の意見を今後もいただけるよう取り組む。
キャンプ場シャワーを使った、湯量も多く、とてもよかったが床の水がたまってしまい、流れにくい。	すのこを設置して対応した。
夜キャンプ場トイレの中が見えている。	女子トイレ入り口にすだれを設置。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を配置し対応した。	B	おおむね適切に管理されている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	社内研修のみであった。	B	おおむね適切に管理されている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切な環境整備を行った。	A	警察等と連携し、適切に安全管理されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切な書類整備を実施した。	B	おおむね適切に管理されている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	PC内の利用者情報を適切に管理した。	B	おおむね適切に管理されている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	各種検査を適正に実施した。	A	適切に管理されている。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例、利用料金を遵守した。	A	適切に管理されている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	環境整備には力を入れていた。	A	適切に管理されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	設備・備品を適切に利用した。	B	おおむね適切に管理されている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各種検査を定期的にした。	A	適切に管理されている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	HPやSNS等を活用しつつ適切に実施した。	B	おおむね適切に対応されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	コテージについては、アンケートを実施。キャンプ場利用者の声は、直接聞いた。	B	おおむね適切に対応されている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望に対し迅速かつ適切に対応した。	A	適切である。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな自主事業を実施した。	B	新たな自主事業を通じて、利用者の体験充実を図っている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	おおむね好評。特にコテージは高評価であった。	B	おおむね満足が得られていた。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切であった。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	収支についてマイナスであった。	C	前年度に引き続き、赤字となっている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新たな自主事業を計画した。	B	新たな自主事業が行われていて、収入増への前向きな姿勢が感じられる。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	環境整備費・人件費、光熱費等が収入に追いつかない結果であった。	B	人件費・施設管理費が減少しており、経費縮減が図られている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切に処理した。	A	適切である。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 本年度も昨年度に引き続き、赤字となった。キャンプブームの終焉については、昨年度にも記したが、近隣の新たなキャンプ場への、分散傾向もあったように思われる。特に暑い夏は樹木の多いところで涼を求めると話すキャンパーが多かった。 今年度は、「夏休み岩魚つかみ体験」等新たな取り組みを増やした。更にこれまでのカヌー・サップ、メモリアルファイヤー等のイベントも、認知定着してきた。残念だったのが、全国的な少雨による水不足であった。夏休みをまたぎ2か月間ラプラスボートの休業。そしてサップ教室も中止せざるを得なかった。令和7年度の7，8月の利用延べ人数は6年度と比較して71%止まりであった。景観的にも元通りになったのは9月中旬となり、その後客足は回復したが、水不足期間は厳しい状況であった。	A	新しいイベントの企画や、既存事業の継続など、利用者の満足度を高めようとする意欲的な姿勢を評価します。夏場の渇水による自主事業の中止、景観への影響による利用者数の減少については、やむを得ない事情であったと理解しております。 収支・利用状況については、全体として利用者数と売り上げが減少したものの、企業研修などの団体利用が増加したことで、売り上げの落ち込みが抑えられたことは良い傾向です。引き続き収支が赤字となっている点は課題であるため、収支の分析をさらに強化して黒字化に向けた明確な目標を持つとともに、指定管理者の本社との連携を一層深め、収入増と収支の改善に努めてください。 また、キャンプ需要の変化や他施設への分散といった状況に対応するためには、個人利用者へのアンケート調査をさらに強化し、詳細なニーズを把握することが重要です。今後は集めた利用者の声を施設の改善に活かすとともに、ホームページだけでなくSNS等を活用した効果的な情報発信による認知度向上も検討し、さらなる利用促進と魅力ある施設づくりに取り組まれることを期待します。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市スワントピア交流館
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市スワントピア交流館		
施設所在地	栗原市築館字横須賀養田18番地		
設置年月	平成8年4月	設置根拠条例	栗原市スワントピア交流館条例
設置目的	伊豆沼・内沼の自然観察及び自然教育に資するとともに、来訪者と地域住民との交流の場とすることを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 101.25㎡、 敷地面積 3,668㎡	
	構造	木造ログハウス式平屋建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 交流室、ホワイエ、喫茶室、トイレ	
休館日	（1）月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。） （2）休日の翌日（土曜日又は日曜日に当たる日を除く。） （3）1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☑有 □無		
開館時間	午前9時 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	月額16，230円の範囲内において指定管理者が定める。 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	内沼観光物産協議会	
	事務所所在地	栗原市築館字横須賀養田18番地	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	□ 公募 ☑ 非公募	指定管理料	4，250，000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成8年4月 ～ 平成18年8月	管理委託	内沼観光物産協議会	
平成18年9月 ～ 令和6年3月	指定管理	内沼観光物産協議会	H21,H26、H31、R6更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	292日	308日	100.0%	105.5%
利用者数（延べ人数）	2,530人	2,480人	2,360人	93.3%	95.2%
利用料金収入	180,000円	180,000円	180,000円	100.0%	100.0%
主な増減要因（前年比）	喫茶室を利用している「ひしの実」閉店（R7.8～）に伴う減。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化に伴い、入口階段およびデッキ等の修繕が必要となる他、蝙蝠対策が必要である。	施設利用者アンケートの回収率が極めて低い状況です。 利用者ニーズを把握し、今後の施設運営に活用していく必要があると思われます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特になし。	

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		B	おおむね適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		B	おおむね適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		B	おおむね適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	記入者がいない。	B	アンケートを実施しにくい環境であるが、利用者の意見等を取り上げられるような工夫を期待します。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B		B	アンケートを実施しにくい環境であるが、利用者の意見等を取り上げられるような工夫を期待します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	記入者がいないので、不明。	B	アンケートを実施しにくい環境であるが、利用者の意見等を取り上げられるような工夫を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	管理人は常駐していない。	B	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		B	今後の新たな取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 施設周辺の環境整備(草刈り等)を定期的に実施している。 室内については、消毒液の設置と定期的な清掃を行っているほか、年1回のハウスクリーニングを委託している。 また、令和7年度は消防署の立ち入り検査があり、消防設備の定期点検について未実施だった事の指摘があり、令和8年3月に点検を実施し結果を栗原消防署に提出しました。令和8年度より年2回の消防設備等の定期点検実施し、1回は消防署への報告を行います。	A	＜施設所管課の所見＞ 本施設は管理人が常駐していないものの、隣接するサンクチュアリセンターつきだて館の管理者と連携し、適切な管理体制が維持されています。施設周辺の環境整備をはじめ、室内の清掃等により衛生環境が適切に保たれており、収支についても予算内で適正に管理されている点を評価します。 一方で、令和7年度の消防署立入検査において指摘を受けた点については、改善すべき課題ですので、今後は点検を確実に実施するようお願いいたします。 また、前年度の評価で課題とした「利用者アンケートの回収率向上」についても、施設の実情に合わせた工夫が求められます。引き続き関係団体と協力し、利用者の声を反映したサービス向上や、新たな利用促進に繋がる魅力づくりに取り組まれることを期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館		
施設所在地	栗原市築館字横須賀養田20番地1		
設置年月	平成5年7月	設置根拠条例	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館条例
設置目的	人間と野生動植物とが共存できる優れた自然環境としてのサンクチュアリの創造及び市民の自然保護思想の向上に資することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 465.24㎡ 、 敷地面積 3,557㎡	
	構造	管理棟 木造地上2階建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 事務室、展示室、シアター室、男子・女子トイレ	
休館日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たる日を除く。）、休日の翌日（土曜日又は日曜日に当たる日を除く。）、1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
開館時間	午前9時 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ☑指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 □有 ☑無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク	
	事務所所在地	栗原市若柳字上畑岡敷味45番地	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	☑ 公募 □ 非公募	指定管理料	45，604，000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成21年4月 ～ 平成31年3月	指定管理	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	H26更新
平成31年4月1日～令和6年3月31日	指定管理	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク	R6更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	304日	306日	304日	100.0%	99.3%
利用者数（延べ人数）	11,000人	12,397人	12,310人	111.9%	99.3%
利用料金収入					
主な増減要因（前年比）	2025年度の来館者数は、前年比99.3%の12,310人となりました。 前年度は、夏季におけるハスの開花状況が良好であったことや、冬季の天候が比較的安定していたことにより、伊豆沼・内沼を訪れる方が多く見られ、来館者数が大きく伸びた年度でした。 今年度は、前年度と比較して87人の微減となりましたが、年間を通じて概ね同水準の来館者数を維持することができました。主な要因としては、伊豆沼・内沼の自然環境や昆虫に関心を持つ来館者が継続して見られたことに加え、夏場の猛暑に対応した「クーリングシェア」の取組や、年間を通じて実施した各種イベント・企画展が、引き続き集客効果を高める要因となったものと考えられます。 また、訪日外国人旅行者の増加に伴い、通年でインバウンドの受け入れも見られ、来館者層の広がりにもつながったものと考えられます。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
2025年4月1日～2026年3月31日	Facebook企画 「おしえて！ むかっち コレ なぁ～に？」	見つけた昆虫のなまえが分からないとき、むかい＊いきもの研究所のむかっち博士（向井康夫博士）に相談し、Facebook上で回答を公開するもの	一般・子ども	1人
2025年4月1日～2026年3月31日	企画展示 「世界のクワガタムシ展」	こんちゅう館が保管している標本からクワガタムシだけをピックアップ！ 125種類の世界のクワガタムシの標本を展示	一般・子供	
2025年4月1日～2026年3月31日	顔ハメパネル「チョウトンボにへんしん」設置	来館者が記念撮影を楽しめるよう、顔ハメパネルを設置	一般・子ども	
2025年4月～2026年3月	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	367人
2025年4月～2026年3月	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	26組57名
2024年4月19日～	カブトムシ・クワガタムシの生体展示	カブトムシ・クワガタムシと自由に触れ合える成体展示	一般・子ども	
2025年6月7日	作ってあそぼう！いきもの工作 「ゲコゲコカエル」	ストローと紙コップで、カエルの鳴き声がするおもちゃを作成	一般	22人
2025年6月28日	栗原市誕生20周年記念 令和7年大船渡大規模林野火災支援 JAZZチャリティーコンサート	大船渡林野火災への支援を目的としたチャリティーコンサート	一般	54人
2025年7月19日	作ってあそぼう！いきもの工作 「のぼるクワガタムシ」	描いたイラストがのぼっていくおもちゃを作成	一般	22人
2025年8月3日	蟲神器対戦体験会　～蟲神器 全国なつやすみコラボイベント～	昆虫をテーマとしたトレーディングカード、「蟲神器」の対戦体験会	一般	19人
2025年8月13日	つまみ細工「お気に入りの布で作る花のブローチ」	自分のお気に入りの布を使って、アサガオのブローチづくり	一般	5人
2025年11月16日	自分だけのちいさな森「栗駒山麓栽培の苔でテラリウム	栗駒山麓で栽培された苔を使って、自分だけの小さな世界、苔テラリウムを作成	一般	4人
2025年11月26日	ビンゴで知ろう！ 渡り鳥「伊豆沼バードウォッチング」	渡り鳥やマガンをテーマにしたビンゴゲームをしながら、約8kmのハイキング	一般	4人
2025年12月2日	癒しの灯り「ひょうたんランプ」	栗原産のひょうたんをつかって、自分だけのオリジナルひょうたんランプを作成	一般	5人
2025年11月14日、12月13日	普段使いの器を作ろう「陶芸体験」	1kgの粘土を使って、「ひもづくり」という技法で、作品づくりにチャレンジ	一般	10人
2025年12月17日	つまみ細工「若柳地織で作る花のストラップ」	栗原市の伝統工芸品「若柳地織」のハギレを使って、お花のつまみ細工をつくるワークショップ	一般・子供	7人
2025年12月20日	自然の恵みでつくる「手づくりキャンドル」	栗原で育ったお花をちりばめ、自分だけのフロストキャンドルを作成	一般	4人
2026年1月18日	自然の恵みをとじこめる「てづくりフロストキャンドル」	栗原で育ったドライフラワー、レンコン等の植物を自由に張り付けた、自分だけのフロストキャンドルを作成	一般	4人
2026年3月8日	ツジヤマガクウクレレコンサート	岩手県奥州市のウクレレシンガー・ツジヤマガクさんを迎えて、子どもも大人も楽しめるコンサート	一般	30人
2026年1月25日、1月31日	みんなでつくるこんちゅうずかん	子どもたちが新しい「こんちゅう」を考えて、その絵を描くワークショップ	一般・子供	36人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・床の損傷、屋根の塗装の劣化、エアコンの故障など、施設の老朽化が進んでいるため、利用者の安全の確保や施設の維持の観点から修繕が必要と考えています。 ・シアタールームのコンテンツ（動画）が古くなり、情報の更新やコンテンツの魅力の向上が必要となっており、シアタールームの機能を含めて更新が必要と考えています。	・修繕の要望があるものについては当初予算要求をしているものの、緊急性が高いものを優先していることもあり、なかなか承認されない状況です。映像コンテンツを含め、今後計画的な修繕の検討をしてまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特に意見や苦情等は無し。	
見学に来た小学生から壁新聞や手紙などで御礼が届いています。	

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	平均2人以上の配置により適切に運営した。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	専門家による勉強会や応急手当講習等により人材育成に努めた。	A	怪我や事故等に対応できる人材育成を評価します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	日常業務で点検等を実施し、また適切な連絡体制を確保した。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	業務日誌を記録した。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	原則として個人情報を収集しない対応とした。	A	適当な対応がなされていると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づいた管理・運営を行った。	A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守して運営した。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日常で清掃を実施し、また法令に従って設備の保守点検を実施した。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	日常で点検を実施し、修繕対応を行った。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	外部の専門事業者に委託し実施した。	A	適正であると認めます。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ウェブサイト、SNSにより利用案内をPRした。	A	SNSを通した情報提供を評価します。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	館内での利用者からの聴き取りやウェブサイト・SNSにより意見等を収集し、適切に対応した。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	特に要望、苦情等が無かった。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	施設の利用を多様化するため、新たな取組みを多数実施した。	A	自主事業を多数展開し、年間通じた集客への取り組みを評価します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られた。	A	引き続き、利用者から満足される施設管理に期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	利用者を自然体で迎えるため、普段着での従事としているが好評だった。	A	適正であると認めます。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	施設管理の経費は増加しているが、利用が多様化しているため、現段階では妥当と評価している。	A	支出は増となっているが、自主事業による収益が多く、妥当であると認める。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	販売コーナー、自主事業の実施のほか、敷地内の施設との連携により収入確保に努めた。	S	自主事業を積極的に行い、利用者の増につなげている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	感染防止、暑さ対策の観点から換気を多くしており、そのため冷暖房費が増加している	B	経費の縮減に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務の適切な諸帳簿の管理を実施してる。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・今年度の来館者数は12,310人となり、前年度の12,397人と比較して87人の減、前年比99.3%となった。わずかな減少にとどまり、年間を通じて安定した来館状況を維持することができた。 ・夏季には、伊豆沼・内沼のハスや周辺の自然環境を目的とした来訪者が多く見られ、冬季においても野鳥観察を目的とした来館があり、通年で安定した利用につながった。 ・訪日外国人旅行者の増加傾向を背景に、今年度も外国人観光客の来館が見られ、伊豆沼・内沼の自然環境や昆虫展示への関心が確認された。 ・猛暑対策として「クーリングシェア」の取組を継続し、地域の避暑空間としての役割も果たした。 ・SNS等を活用した情報発信や、外部専門家・関係団体との連携による企画運営を継続的に実施し、施設の魅力向上と来館促進に努めた。 ・カブトムシやクワガタムシなどの昆虫展示は、今年度も子どもを中心に反響があり、夏季の集客に寄与した。 ・団体利用については、ジオパーク学習や環境学習など教育利用の受け入れを引き続き実施し、学校・団体等の学習機会の提供に努めた。 ・敷地内のスワントピア交流館との連携を継続し、相互利用による周遊性の向上と施設間の相乗効果を図った。 ・施設を起点とした環境啓発活動を継続して実施し、特に「CLEAN WETLANDS Project 日曜日のゴミ拾い」は、地域と連携した持続可能な自然保護活動として定着しつつある。	A	＜施設所管課の所見＞ 天候等の要因もあるが、多種多様なイベントの開催により収入となっていることを評価します。 また、伊豆沼・内沼のを活かした環境保全イベントや施設の標本展示を再活用した取り組みは、、市の観光資源である2つの沼の保全し周遊させ、施設本来の目的として機能しており、これも評価します。 来館者については前年度と同様程度となっていることから、更なる増を期待しこれからも引き続き、利用者に喜ばれるサービスの提供を願います。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	くりはら田園鉄道公園
施設所管部署名	産業経済部田園観光課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	くりはら田園鉄道公園（くりでんミュージアム、旧若柳駅舎等動態保存施設、芝生広場）			
施設所在地	栗原市若柳字川北塚ノ根17番地1ほか			
設置年月	平成29年4月	設置根拠条例	栗原市くりはら田園鉄道公園条例	
設置目的	くりはら田園鉄道の歴史的財産の保存及び展示並びに乗車体験等を通じて、その歴史と文化に親しむ機会を広く提供し、もって市民文化の向上と地域の活性化に資する。			
施設概要	面積	延床面積 1，169㎡、 敷地面積 18，419㎡		
	構造	木造		
	施設内容	・くりでんミュージアム ・旧若柳駅舎等動態保存施設 ・芝生広場		
休館日	火曜日、12月29日から翌年1月3日までの日 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
開館時間	午前10時00分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ■指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	○ミュージアム入館料 ： 一般500円、小中学生300円 ○運転シミュレーター ： 1回300円 ○レールバイク ： 1台500円 ○鉄道車両 ： 1人300円 ○鉄道車両運転体験 ： 1両編成25,000円（初回は30,000円）、2両編成40,000円 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人Azuma-re	
	事務所所在地	栗原市築館伊豆二丁目5－39 ビジネスホテル志ばたや内	
指定の期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募	指定管理料	211，852，000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成29年4月 ～ 令和3年3月	直営	栗原市	
令和3年4月 ～ 令和6年3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	R6更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	308日	307日	99.7%	99.7%
利用者数（延べ人数）	15,000人	18,611人	22,272人	148.5%	119.7%
利用料金収入	4,850,000円	6,928,560円	7,914,260円	163.2%	114.2%
主な増減要因（前年比）	利用者数（延べ人数）に関して（R6年度）18,611名に対して（R7年度）22,272名（前年度比119.7%）となり、3661名増となった。平均的な来館者数が増加していることもあるが、特筆する要因として考えられるのは9月-10月に掛けて行った漫画作品とのことコラボ展示およびコラボ乗車会期間中の来館者が例年により多かったこと、また12月に行ったくりでん創業祭で普段走行しない車両での乗車会を実施し、前年を超える来場者だったことと考える。また、レールバイクを無料としたことにより、開催毎に来場者が増加したことが結果的に収入増に繋がっている。訪日外国人の団体客も多かった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	グッズWebショップ販売事業	Webサイトを利用したグッズ販売	すべて	161件
通年	リピーター拡大事業	くりでんミュージアム入館に特化した年パスの発行	すべて	124件
通年	旧若柳駅舎開放事業	駅舎の常時開放・案内の実施	すべて	2,605名
通年	構内無料乗車会	イベント時以外に教育施設見学時の構内乗車会	すべて	11件
通年	貸切乗車会	イベント時以外に特定の団体に特別開催	すべて	9件
通年	細倉マインパーク委託販売	鉄道模型をマインパークで委託販売実施	すべて	34件
令和7年4月～9月	レールバイク乗車会無料	令和7年度開催のレールバイクをすべて無料とした	すべて	552台1,680名
令和7年8月	気動車構内運転体験	子ども向け若柳構内のみのミニ運転体験	すべて	10名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
まず挙げる課題としては施設の老朽化である。若柳駅や車庫に関しては廃線後に耐震工事やリニューアルを行っているが、やはり外壁の老朽化や木材の痩せが目立つ。特に若柳駅は2010年にリニューアルしているが、外壁の塗装がかなり色あせている。ミュージアム側車庫も外壁の木材が落ちている箇所もある。車両に関してもこれまで破損しなかったたボルトが折れる事案が発生した。また電磁部品の老朽化でエンジンが切れない、掛からない等のエラーも頻発した。現在は代替品や純正品も見つかるが、今後部品の交換が増え、かつ値段も上がっていくことが予想されるため経費に不安が残る。 また、くりでんミュージアムで開館時に導入したモニターの不調が発生した。以前から不調であるシアタープロジェクターも限界照射時間を間もなく迎えるため、数年以内の大規模な機器入換が想定される。 また、くりでんミュージアム車庫の気温の調整が難儀しており、夏は車輌内が40度近くを超え、運転シミュレーター等のサービス利用者が減っているだけではなく見学時間も短くなる影響が出ている。令和7年度はスポットクーラーを栗原市より貸与したが、レギュラーで導入したほうがいい。また冬は0度を記録し、快適な見学を守れていない状況が改善されていない。	施設や車両の老朽化については市としても把握しており、修繕要望をもとに予算処置を行っています。ミュージアムについても開館10年を迎えるため設備の更新の必要が出てくるため、引き続き適切な施設管理と修繕報告をお願いいたします。 また、ミュージアム内の気温については、特に歴史的建物部分については構造上空調が難しいため、引き続きスポット的な対応行い、今後については歴史的な建物や展示を損ねない空調の方法を検討していきます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
現金決済のみであることからグッズの購入時に商品を厳選しなくてはいけない。また、現金の持ち合わせがないため入館をあきらめるなどの意見をいただいていた。	令和7年4月1日から、キャッシュレス決済を独自に導入した。 現金他、クレジットカード、電子マネー、交通系IC、バーコード決済を導入し、来館者には好評をいただいている。今後も継続して実施する。 導入はLANケーブル新規設置を行っている。
若柳駅に保存されている10両の車輌に関する詳細な説明や、工作機械に関する説明を求められていたが、口頭で答えるのみで、パンフレットなどは無かった。	令和7年度から資料の説明を記載したパンフレットや工作機械の解説を行うためのパンフレットなど、新規でツールを増やした。その結果、来館者に好評をいただき、これまで以上にくりでんを後世に伝えることが出来ている。
近隣の観光情報や栗原市内の周遊に関する提案を求められることが多くなったが、口頭で情報を伝えるなどしていた。	令和7年度から栗原市観光物産協会から定期的に近隣施設のパンフレットを提供していただくなどし、新たにパンフレットブースを設けた。また、ミュージアムスタッフがジオ講習を受け、市内の観光に深い理解を得ることで、来館者に市内全域の周遊を促すことに繋がっている。
運転体験の申し込みがメールや、郵送などを使っているため、空き枠閲覧の更新・反映までにタイムラグが発生し、速やかな予約ができない状況であった。	令和7年度から、自主運営しているくりでんミュージアムのWEBサイト上に運転体験予約決済システムを構築・運用することで、予約から支払いまでをWEBで完結できるようになった。その結果その手軽さから、即完売となった。 システム構築にはSEM-ITによる作業が発生してる。
グループで若柳駅を1日貸切を行いたいという意見や、団体観光客に対して貸切乗車会、運転体験などを実施したいという要望があった	自主事業として若柳駅での貸切乗車会・運転体験を料金化し、対応することによって、お客様の要望に応えてきた。また、団体客には積極的に栗駒山麓ジオパークジオガイドを活用することで、ミュージアムを中心とした栗原市の歴史を伝えるツアーに繋げることにも成功している。
工作機械の保存に関して、動いているところを見てみたいという声があった。	東北職業能力開発大学校と連携して、工作機械のメンテナンスを行い、日常的に動かすことができるまで復活させた。また月に1度動かすことを目標に実施しており、来館者からは好評をいただいている。
学芸員履修過程を行っている大学から、資格取得に必要な博物館実習を受け入れてほしいという要望があった。	実際に受け入れを行い、5日間の学芸員実習を行った。栗原市内では初の試みであり、くりはら田園鉄道公園が博物館実習の受け入れを行ったことで、当館がミュージアムとしての立ち位置を他方から認知いただいたことにもつながった。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	くりでん保存愛好会と連携し運転士育成に努めている。	A	今後も、動態保存を継承する活動に期待します。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	積極的に外部施設を訪れ、車両整備関連や学芸員の研修を行うことができたジオパーク研修にも参加し2名修了者を出した。1名はジオガイドに登録した。	S	動態保存や施設の魅力発信につながる人材育成を評価します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	防災訓練を年2回行った。 新職員が防火管理者研修を受けた。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	S	車両修繕に関しては詳細な記録を取ることによって後世や他施設へ情報提供も行うなど意識して業務に努めた。	S	普段の管理日誌の作成に加え、施設の修繕に備える記録に作成を評価します。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑵ 施設管理の状況	S		S		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	シミュレーターは値下げを行い、大幅に利用者数を上げた。レールバイクを無料にし交流人口増加を達成した。	A	来場者増への取り組みを評価します。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	定期的な施設点検を行い、エラーを発見した際には迅速に対応・報告した。	A	引き続き、迅速な施設管理を期待します。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	車両修繕に関しては詳細な記録を取ることによって後世や他施設へ情報提供も行うなど意識して業務に努めた。	S	日常的に点検し、適切な対応を行っていると認めます。また、修繕記録の作成等、動態保存の維持への姿勢を評価します。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	線路点検にとどまらず、軌間修正や線路突き固めなどをOBの指示のもと実施した。	S	引き続き、事故防止への取り組みに期待します。	
⑤ くりでんの魅力を広く発信し、後世に伝える取り組みを行っているか	S	SNS、HPを活用した発信や、市内学校施設への乗車体験など行っている。	S	引き続き、くりでんの魅力発信に期待します。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	S		S		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	新規でキャッシュレス決済の導入、継続でホームページ運柄、SNSの運営に加え、年間パスポート所有者へのDM発送、チラシの折り込み、市内施設との連携を行っている。	S	幅広い情報発信を評価します。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	WEB上の施設評価サービスを活用して見える形で評価を公開している。	A	引き続き、来場者の意見を取り入れながら、サービスの向上に期待します。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	クレームは無かった。	A	引き続き、丁寧な対応を期待します。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	駅舎の解放や図書コーナーに加え、スタンプカード配布、参加型ゲーム、グッズの開発、漫画コラボなどを行った。	S	来館客増につながる取り組みを評価します。引き続き、サービス充実のための創意工夫に期待します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	S	googleの評価は昨年から上昇しており、口コミ数も市内観光施設ではトップクラスである。、運転体験や施設利用者からもスタッフの対応は高評価をいただいている。	S	引き続き、来場者の満足度の向上に期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	S	制服を着用し身なりをそろえている。朝礼を全員参加とし、常に挨拶や接客の対応について訓練している。	A	引き続き、丁寧な職員対応を期待します。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	S		S		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	計画を上回ることができた。	S	利用料金収入が計画値を大幅に上回っています。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	常に変化を意識しながら改善を続けた結果、通常開館時の来場者増や絵画展などの参加者増など数字で結果を出している。運転体験の回数を増やし、増収につなげた。	S	好評を得る企画を創出し、収入増につながることを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	デザインや広告に関してスタッフが行いより多くの広告や印刷物の制作をすることで来場者満足度に貢献している。	A	経費削減が図られていると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞	S	＜施設所管課の所見＞	S
	指定管理期間中で最大施設利用者を更新することができ、収入面でも大きく記録を伸ばすことができた。利用者サービス向上では、4月よりキャッシュレス決済を導入した。 また、運転体験の申し込みをWEB上で完結できるシステム構築を行い、例年よりも異例の速さで完売させることができた。スタッフにジオ研修を受講させ、1名履修、1名ジオガイド登録することもでき、栗原市全体の魅力発信を可能にする体制を強化している。栗原市内3施設での事業連携や、ジオガイドの積極的活用、東北職業能力開発大学校との連携による工作機械の動態保存、直売所くりでんや若柳金成商工会との共同イベント開催など他施設や地域との連携も強化している。 地域の幼保・教育機関への無料乗車会も好評。地域おこし協力隊の受け入れや、くりはら市内初の学芸員研修の受け入れも行い博物館としての認知向上に努めた。 秋に行った漫画コラボでは北海道、九州、沖縄、韓国などからも来客もありくりでんを後世に伝えるというミッションを着実に遂行出来ていると考える。		利用者数は、計画値を大きく上回っており、数多くの取り組みによって集客に関するイベントを行っていることを高く評価します。また、市内関連施設や事業者との取り組みは当施設だけではなく、地域全体を巻き込んんだ影響を与えるものであると評価し、次年度以降もこのような活動の継続を期待します。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	若柳川北交流広場管理棟
施設所管部署名	建設部都市計画課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	若柳川北交流広場管理棟		
施設所在地	栗原市若柳字川北中町1番地		
設置年月	平成19年4月	設置根拠条例	栗原市公園条例
設置目的	商店街の活性化と交流促進による賑わいのある市街地の創造のため。		
施設概要	面積	延床面積　87．48 ㎡、　敷地面積　1，769 ㎡	
	構造	コンクリート造	
	施設内容	ホール、管理室	
休館日	12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ☑無		
開館時間	午前 9 時 00 分　～　午後 10 時 00 分　※ 条例から変更の有無　□有 ☑無		
施設利用料金	利用料金制	☑採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	※ 条例から変更の有無　☑有　□無	

区分／室名	午前（午前9時から正午まで）	午後（正午から午後5時まで）	夜間（午後5時から午後10時まで）	全日（午前9時から午後10時まで）
ホール	1,000円	1,250円	1,500円	3,500円
管理室	500円	750円	1,000円	2,000円

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	栗原市若柳中町自治会	
	事務所所在地	栗原市若柳字川北中町32番地7	
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	□ 公募　☑ 非公募	指定管理料	0 円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年7月～平成19年10月	管理委託	栗原市若柳中町自治会	
平成19年11月～令和 8年 3月	指定管理	栗原市若柳中町自治会	H22、H26、H31、R6更新
年　月 ～　年　月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和 7年度）	前年度（令和 6年度）	評価対象年度（令和 7年度）		
開館日数	30日	26日	17日	56.7%	65.4%
利用者数（延べ人数）	400人	364人	258人	64.5%	70.9%
利用料金収入	20,000円	17,000円	9,000円	45.0%	52.9%
主な増減要因（前年比）	従来の利用者が若柳公民館などの施設利用料金が安価な施設へ流出しているため、前年度と比べ全体的に減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
特になし。	特になし。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
テーブルやパイプ椅子の経年劣化がみられるため、交換したい。	テーブルについては、指定管理者側の予算で2台交換した。 パイプ椅子については、市と協議し、旧畑岡小学校から30脚備品払い下げを行った。
防災対策の観点から、テレビを設置したい。	令和8年度に市と協議を行っていきたい。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適切に運営している。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	適切に環境整備している。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と協議を行いながら、対応を行っている。	A	協定に基づき、適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適切に対応している。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適切に行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	—	利用者アンケートを実施していない。	—	協定に、利用者アンケートの実施に関する規定なし。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	適切に対応している。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	—	モニタリング・アンケートを実施していない。	—	協定に、モニタリング・アンケートの実施に関する規定なし。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適切に実施している。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B		—	中町自治会での使用を主に想定しているため、評価対象としない。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	経費削減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正に管理している。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 管理棟内の清掃や備品の適切な管理を行い、館内の美化に取り組んだ。広場においても、除草や草刈りを行い良好な環境維持に努めた。今後も、地域コミュニティの拠点として、多くの人に利用してもらえるよう管理を継続していく。	A	＜施設所管課の所見＞ 管理棟内や広場について、清掃及び除草等が適切に行われており、良好な環境が保持されている。引き続き同様の管理をお願いしたい。今後も、地域コミュニティの場として、多くの人が快適に利用できるよう施設管理に努めていただきたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館B＆G海洋センター体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館B＆G海洋センター体育館		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	昭和57年2月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積 1,102.0㎡ 敷地面積 9,986.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	アリーナ、事務室、会議室、更衣室、トイレ、器具庫、機械室	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	203,710,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 （特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更）	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	14,000人	14,564人	13,792人	98.5%	94.7%
利用料金収入	200,000円	193,400円	230,560円	115.3%	119.2%
主な増減要因（前年比）	中学生の部活動利用が減少したため、利用者数は減少したが営利団体（マリーゴールドプロレス）の利用があったため利用料金収入は増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月2回土曜日	サッカースクール	幼稚園年長から小学生を対象としたサッカー教室	幼稚園～小学生	延べ1,440名
12月14日	ルーキーカップ	大会で活躍のチャンスが少ない選手強化・健全育成	中学生（男）	45名
1月22日	室内ニュースポーツB&G杯	生涯スポーツの普及推進と健康増進	栗原市民	27名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設の経年劣化による設備の破損が増加している。	経年劣化による施設設備の不具合や破損が顕著になっている。利用者の安全確保を最優先に、予算措置と優先順位を考慮しながら適切な修繕対応を継続されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
体育館に冷暖房設備を設置して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
体育館の床が滑るのでワックスをかけ直して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	バスケットボールとニュースポーツ大会の自主事業を開催している。	A	自主事業により計画を上回る利用者数であり、優れた運営が行われた。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切である。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める。	A	今後も利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画を達成できた。	A	適切に実施している。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	有料のニュースポーツ大会を開催し、収入増加を図った。	A	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・中学生の部活動利用が減少したことなどから利用者数は事業計画と比較して1.5%の微減となった。一方で利用料金収入は5月にプロレス大会での営利目的利用があったことなどにより15.3%増加した。 ・学校部活動の地域移行などの影響で利用者数が減少傾向にあるため、新規自主事業の開催等で利用人数の増加を図りたい。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は5%減、利用料金収入は19%増となった。5月のプロレス大会利用による収入増は評価できるが、部活動の地域移行等による利用者数の減少傾向には注意が必要である。今後は学校や地域団体との連携を深め、新規事業の展開を含めた利用促進に努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館体育センター
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館体育センター		
施設所在地	栗原市築館高田二丁目8番12号		
設置年月	昭和57年9月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積 1,312.0㎡ 敷地面積 5,506.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	アリーナ、事務室、会議室（和室）、更衣室、トイレ、器具庫、ステージ	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	203,710,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 （特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更）	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	308日	306日	99.4%	99.4%
利用者数（延べ人数）	12,000人	11,996人	12,076人	100.6%	100.7%
利用料金収入	200,000円	212,560	240,460	120.2%	113.1%
主な増減要因（前年比）	新規利用で空手大会の利用があったため、利用料金収入が増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
12月13日	ルーキーカップ	大会で活躍のチャンスが少ない選手強化・健全育成	中学生（女）	32名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・定期利用者の高齢化により冷暖房設備設置の要望が増えてきている。	施設の経年劣化が進行している。利用者が安心して利用できるよう、日頃の点検を徹底し、故障等の際は早期の修繕対応をお願いする。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
体育館に冷暖房設備を設置して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	バスケットボール大会を開催した。	A	今後の自主事業拡大に期待する。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	A	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	職員研修会として「苦情・クレームへの対応」を開催した。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	計画を上回った。	A	適切に運営されている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業を開催した。	A	今後の自主事業拡大等の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数は計画と前年比でほぼ横ばいだったが、利用料金収入は新規の空手大会があったため計画比で20.2%、前年比で13.1%の増となった。現状の定期利用と合わせて、新たな大会の誘致・定着等で利用料金収入の増加を図っていきたい。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は横ばい、利用料金収入は13%増となった。新規の空手大会の開催等により収入の増加を図った点は評価できる。今後も利用者ニーズを汲み取り、定期利用団体と新規利用のバランスを調整しながら、地域スポーツの拠点として一層の活用に期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館野球場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館野球場		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	昭和53年度	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積　187.9㎡（管理棟） 敷地面積 24,910.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メイン球場1面、サブ球場1面、スタンド（管理棟）、放送設備	
休館日	月曜日、12月1日から翌年の2月末日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
開館時間	午前9時00分　～　午後10時00分　　※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無　□有　■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2	
指定の期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募	指定管理料	203,710,000円　（5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 （特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更）	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	218日	218日	218日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	14,000人	14,020人	20,286人	144.9%	144.7%
利用料金収入	300,000円	361,020円	432,930円	144.3%	119.9%
主な増減要因（前年比）	大会での利用や市外の硬式野球チームの利用が増加したため、利用者数、利用料金収入ともに増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
8月28日	グラウンド・ゴルフダンディカップ	グラウンドゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	54名
11月14日	グラウンド・ゴルフ秋季大会	グラウンドゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	89名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・経年劣化により設備や備品の修繕費が増加している。	経年劣化による修繕費の増大は避けられない状況である。市と連携し、事故防止および利用者の利便性を維持するための効率的な修繕計画を今後も検討していく必要がある。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理･運営に努めた。	A	適切に管理･運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備･保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理･運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃･点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	自主事業を開催している。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	アンケート回答はなかったものの利用者との積極的なコミュニケーションが図られたと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況 （収支の実績等）	A	更なる改善･工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	適切である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画を達成できた。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業を開催した。	A	地域ニーズに即した収入確保に努めている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ･大会や定期利用などで市外の有料団体の利用が増加したことなどから事業計画と比較して、利用者数は44.9%、利用料金収入は44.3%の大幅な増となった。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は44%増、利用料金収入は19%増となった。市外からの有料団体利用が大幅に増加し、高い利用実績を維持した点は素晴らしい運営である。今後もグラウンドの状態を適切に管理し、多くの市民が安心して利用できる野球場としての環境維持に努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館陸上競技場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館陸上競技場		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	平成3年度	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積　267.0㎡（管理棟） 敷地面積 38,000.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	トラック（全天候型走路8コース、第3種公認）、フィールド（天然芝生）、補助競技場（全天候型100m直線路6ｺｰｽ、150mﾄﾗｯｸ5ｺｰｽ）、管理棟、メインスタンド、器具庫	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
開館時間	午前9時00分　～　午後5時00分　※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無　□有　■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2	
指定の期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募	指定管理料	203,710,000円　（5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 （特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更）	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	18,000人	18,681人	14,922人	82.9%	79.9%
利用料金収入	1,000,000円	1,170,380円	812,940円	81.3%	69.5%
主な増減要因（前年比）	日本陸上競技連盟公認検定に向けた改修工事で本競技場が9月から利用できなかったため利用人数、利用料金収入ともに大幅に減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
5月22日	グラウンド・ゴルフ春季大会	グラウンド・ゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	112名
9月14日	スプリントクリニック	走る楽しさや基本動作、考え方の理解を中心	地域住民	55名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設利用者の増加、大会開催の増加により器具・設備の修繕費が年々増加している。 ・大会利用時に駐車場の台数が足らず、路上駐車などが年々増加している。大会主催者側に交通整理をお願いしているが、今後も検討課題である。特に大会開催日の野球場やプールの利用が困難になっている。	公認検定に向けた改修工事に伴う利用制限があったものの、適切な施設管理に努めたことは評価する。今後も大会主催者と連携し、周辺施設（野球場等）との同時開催時における混雑緩和策や交通整理等の検討を継続されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
現行の利用時間では部活動の地域展開への対応が難しい為、夜間の利用や照明設備等利便性の拡大を図ってほしい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	新規自主事業を開催した。	S	一定の取り組みを行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者の意見を取り入れ、器具庫の備品配置換えなどを実施した。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	事業計画の8割に留まった。	B	工事の影響があったものの、計画の8割を達成したことは評価ができる。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	新たな自主事業を開催した。	S	スプリントクリニックを開催する等積極的に収入創出に努めた。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	S	引続き節電節水に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・日本陸上競技連盟公認検定に向けた改修工事があり、大会や練習での利用が無かったため、事業計画と比較して利用者数は17.1%、利用料金収入は18.7%の減少となった。 ・新たな自主事業として「スプリントクリニック」を開催し53名の参加があり、参加者からも好評をいただけた。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は20%減、利用料金収入は30%減となった。公認検定に向けた改修工事の影響による期間休館はあったが、スプリントクリニックの開催等、工夫を凝らした運営姿勢は評価できる。改修後の施設を最大限に活かし、大会誘致や利用促進へ向けた取り組みを期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館B＆G海洋センタープール
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館B＆G海洋センタープール		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	昭和57年2月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積 111.78㎡（管理棟）、1,144.71㎡（プール） 敷地面積 9,986.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造（管理棟）、鉄骨造（プール）	
	施設内容	プール（25m×6コース、幼児用1面）、管理棟	
休館日	月曜日、9月1日から翌年の6月30日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時～正午、午後1時～午後4時、午後5時～午後8時30分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	203,710,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 （特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更）	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令7年度）		
開館日数	53日	53日	54日	101.9%	101.9%
利用者数（延べ人数）	2,500人	2,252人	1,700人	68.0%	75.5%
利用料金収入	100,000円	113,590円	88,870円	88.9%	78.2%
主な増減要因（前年比）	猛暑の影響により利用者数、利用料金収入ともに大幅に減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
7/19～8/30の土曜 全7回	水泳教室初級	水泳初心者の子どもを対象にした水泳教室	市内小学生	131名
7/23～8/8 全12回	水泳教室夏休み短期集中	水に潜ることのできる子どもを対象にした水泳教室	市内小学生	50名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・上屋シートが無くなったことや夏場の猛暑による熱中症の危険性が高くなっていることで利用者・自主事業参加者が減少し続けている。雷雨の影響により教室が途中休講になるなど自主事業開催にも深刻な影響が発生している。	猛暑や施設設備の不備という困難な状況下ではあるが、水質管理等の維持管理を適切に行っている。安全で衛生的な水環境の提供は本施設の最重要任務であるため、今後も万全の体制を維持されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレを洋式に改修して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
熱中症予防のためプールサイドに日よけを付けて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
プールサイドが滑りやすく、高温になるため滑り止めのマットを付けて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
学校でのプールの授業が少なくなり、水泳教室は貴重な時間だと思った。来年以降も開催して欲しい。	「水泳教室にご参加いただきありがとうございました。来年も開催いたしますので、ご参加お待ちしております。」と返答した。
暑くて大変だったので、水泳教室の時間を夕方や夜の涼しい時間帯に開講して欲しい。	「ご意見ありがとうございます。来年度の教室開講の参考にします。」と返答した。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理･運営に努めた。	A	適切に管理･運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	体育施設管理有資格者を含め、適切に人員配置を行っている。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を受けた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施している。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備･保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理･運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃･点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	水泳教室を開催した。	A	自主事業の実施に積極的に取り組んでいる。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	新たに水泳教室のお知らせに公式LINEを活用している。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める	A	適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	自主事業として水泳教室を開催した。	A	適切に行っている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善･工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	適正であると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	事業計画を達成できなかった。	B	猛暑や施設設備の不備という困難な状況下のなか、計画の88%という結果は一定の評価ができる。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	水泳教室を開催した。	A	地域ニーズに即した収入確保に努めている	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・上屋シートが破損･消失したことで夏場の猛暑による熱中症の危険が高くなっていることなどで、利用者･自主事業参加者が減少し、収入全体が事業計画の20.9%の大幅な減となった。 ・水質管理用の塩素をより持続性の高いものに変更するなどをしたことから、消耗品費は対前年比で12.6%の経費削減を達成した。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は24%減、利用料金収入は21%減となった。昨今の猛暑や設備状況という厳しい環境下での運営となった。水泳教室等の事業継続や安全管理の徹底は評価できるため、今後も地域に不可欠な施設として、無理のない範囲で安定した運営を維持されたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館多目的競技場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館多目的競技場			
施設所在地	栗原市築館高田二丁目8番12号			
設置年月	平成12年9月29日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例	
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。			
施設概要	面積	延床面積　387.92㎡（管理棟） 敷地面積 23,9660.93㎡		
	構造	鉄骨造（管理棟）		
	施設内容	１１人制ホッケーコート1面、管理棟、駐車場		
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無			
開館時間	午前9時00分　～　午後10時00分　　※ 条例から変更の有無　□有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無　□有　■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募		指定管理料	203,710,000円　（5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 （特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更）	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	12,000人	12,193人	11,097人	92.5%	91.0%
利用料金収入	300,000円	228,140円	106,570円	35.5%	46.7%
主な増減要因（前年比）	サッカーでの利用や社会人ホッケー大会の利用が無くなるなど、有料団体の利用が激減したため利用料金収入も大幅に減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
9月11日	グラウンドゴルフ レディースカップ	グラウンドゴルフを通じて地域への普及と親睦	地域住民	43名

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・経年劣化により設備の故障や施設の破損が増加している。	設備の故障や施設の破損について、優先順位を判断し適切な修繕に努められたい。今後も安全管理を徹底し、利用者が安心してスポーツを楽しめる環境の維持をお願いする。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
多目的競技場でサッカーができるようにゴールを備品として備えて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	利用者の施設使用状況を確認しながら施設の保全を図られたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	グラウンド・ゴルフ大会を開催した。	A	今後の自主事業拡大に期待する。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める	B	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	適正であると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	利用料金収入が計画を大きく下回った。	C	積極的に収入確保に努められたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	グラウンド・ゴルフ大会を開催した。	A	今後の自主事業拡大等の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・前年度にあったサッカー団体の利用や社会人ホッケー大会などの有料利用が無くなったため、事業計画と比較して64.5%の大幅な減となった。 ・グラウンド・ゴルフ「レディースカップ」を開催し、43名の参加があった。次年度も同様の自主事業を開催し、減少傾向にある利用料金収入を補えるように努力したい。	B	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は9%減、利用料金収入は53%減となった。有料団体の利用が減少したことは課題であるが、グラウンド・ゴルフ大会等の自主事業を継続し、地域利用を図っている点は評価する。今後も積極的な広報や利用誘導を行い、施設利用の底上げに期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市築館テニスコート
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市築館テニスコート		
施設所在地	栗原市築館伊豆一丁目2番7号		
設置年月	平成27年9月15日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施設概要	面積	敷地面積 2,867.04㎡	
	構造		
	施設内容	砂入り人工芝コート 3面（内1面はゲートボール併用）	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	203,710,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成27年9月 ～ 令和3年 3月	直営	栗原市	
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	11,000人	10,634人	11,277人	102.5%	106.0%
利用料金収入	400,000円	448,200円	401,310円	100.3%	89.5%
主な増減要因（前年比）	定期利用団体の内容変更（一般の練習会⇒小中学生の教室）があったことなどから、利用者数は増加したが、利用料金収入は減少した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
10月13日	スポーツの日テニスコート無料開放	スポーツの日にテニスコートを無料開放する	テニスコート利用者	53

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・ナイター利用が増加しているため電気料金が年々増加している。	ナイター利用に伴う電気料金の適正な管理をお願いする。今後も利用状況を注視し、効率的な施設運用の模索をお願いする。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	無料開放を行った。	A	適切な施設管理を行っている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	A	天候により中止となったが、新たな取り組みの計画について、評価できる。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	適切である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	ほぼ事業計画通りの結果となった。	A	適切に実施している。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業として「スポーツの日無料開放」を行った。	A	開催時期の変更など、今後の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数と利用料金収入は、ほぼ事業計画通りとなった。一方で前年比では利用者数は微増したが利用料金収入が10.5%減少した。定期利用している団体が利用内容を一般の練習会から小中学生対象のテニス教室に変更したことで利用料金が半額になったことなどが要因と思われる。 ・定期利用団体が平日のナイターに集中しているので、利用が無い日中に利用を誘導するなどして、利用料金収入増加を図りたい。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数は6%増、利用料金収入は10%減となった。定期利用団体の利用形態変更により料金単価に変化が生じたが、利用人数は堅調である。今後は空き時間の効率的な利用促進や、日中の利用率向上に向けた工夫を継続し、施設運営の安定化に努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市若柳総合体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市若柳総合体育館			
施設所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2			
設置年月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例	
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る			
施設概要	面積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡		
	構造	鉄筋コンクリート		
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場		
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	118,654,000円 （ 5年間 ）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月 ～平成19年3月	直営		
平成19年4月 ～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月 ～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月 ～令和 7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会（特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更）	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	308日	307日	308日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）	35,000人	48,770人	33,019人	94.3%	67.7%
利用料金収入	850,000円	1,638,210円	954,520円	112.3%	58.3%
主な増減要因（前年比）	10月以降メインアリーナの空調設備工事が行われた事で、人数が前年度比：67.7%と減少。その要因に伴って、利用料金収入も前年度比：58.3%と大きく減少。 工事の期間、サブアリーナや会議室の利用はあったが、メインアリーナの利用中止期間が大きく響いた。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月～令和8年3月	レクダンス教室	毎週金曜日、音楽に合わせて楽しくダンスで身体を動かし、リフレッシュする	一般	149人
令和7年4月～令和7年10月	ジュニアテニス教室	ジュニア用テニス用具を用いて、遊びながらテニスを楽しむ	小学生	183人
令和7年2月15日	スポーツ講演会	生涯スポーツに必要な知識や具体的な施策の展開方法等について研修する	ｽﾎﾟｰﾂ協会会員・ｽﾎﾟｰﾂ少年団会員他	70人
令和7年11月30日	ジュニアテニス大会	ジュニアテニス教室の子どもたちが実際に試合を行い、自分のスキルの向上を図る	小学生	21人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
空調設備工事によりメインアリーナの利用が制限され、利用料金収入が大きく減少した。これは一時的な外的要因によるものであり、収支全体に大きな影響を及ぼした。 一方で、最低賃金引上げによる人件費増加や、世界情勢に伴う物価上昇・水道光熱費の増加により、収支に影響を及ぼしている。 8年度はメインアリーナが通常利用可能となるため、今後は利用回復に向けた広報強化や新規利用者の獲得が課題であるとともに、経費の節約による安定的な運営が求められる。	工事に伴う利用制限という不可抗力があったものの、代替利用の促進により一定の収入を確保した点は評価する。今後は、令和8年度の通常運営再開を見据え、既存利用者に加え、市外団体への営業活動や平日日中帯の稼働率向上に向けた広報戦略の強化が必要である。 また、人件費やエネルギーコスト高騰への対策として、継続的な経費節減と運用の効率化を求める。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理･運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	計画どおり適切に配置。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	B	接客研修等により、継続的な人材育成を求める。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	消防計画に基づく訓練実施等、環境整備が適切。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	業務日誌等の管理は適切。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	規定に基づき適切に運営管理。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	協定に基づき適切に運営。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃･保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	計画的に実施され良好な環境。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	市との連携により的確に対応。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、安全性を確保した。	A	必要な点検を実施し安全確保。	
⑤ 設備等の円滑な運用	A	設備点検等を適切に行い、市の協力も得て修繕を行った。	A	メインアリーナ工事中も代替利用を促進。	
⑥ 空調冷暖房設備の円滑な運用	A	事務室、会議室ともに設備更新を行っていただき、利用者からも好評である。	A	工事中も柔軟な対応を実施。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	ホームページでの広報が適切。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	意見箱を通じた改善努力を確認。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	迅速かつ丁寧な対応。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	工事対応を優先したため、次年度に新たな取組みに期待。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	工事中も利用者の理解を得ている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	丁寧な接客がなされている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	おおむね収支計画通りとなった。	A	工事の影響下で計画以上の収入を確保。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	大会スケジュール調整等を行い、利用回数を増やす努力をした。	A	代替利用促進の成果が現れている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	経費削減につとめ、できることは職員で行うなど節約に努めた。	A	光熱費節約等の努力が見られる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	税理士指導の下、適切に管理。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ メインアリーナの長期間に及ぶ設備工事が行われる中、利用者の要望を聞き、サブアリーナや会議室の利用を勧めるなど、代替利用の促進に努めた。限られた施設条件の中で、可能な範囲で利用機会の確保を図り、利用者サービスの維持に取り組んだ。 また、経費面では利用料金収入において、計画との比率：112.3%と代替利用の促進の成果が現れた。ガス料金が前年度比：111.5%と増加している事も含め、水道光熱費の節約に努めたい。	A	＜施設所管課の所見＞ メインアリーナの空調設備工事という特殊要因により利用休止期間が発生したものの、代替利用（サブアリーナ・会議室等）の促進により、利用料金収入の計画比112.3%という成果を上げた点は高く評価できる。工事に伴う利用者の不利益を最小限に抑えるための丁寧な対応や、経費削減への努力も認められる。令和8年度は通常利用が再開されるため、広報強化と新規利用者の獲得によるさらなる利用回復を期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市若柳野球場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市若柳野球場			
施設所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2			
設置年月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例	
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエ―ション活動の推進と生活文化の向上を図る			
施設概要	面積	延床面積 106.5㎡（管理棟）、 敷地面積 18,000.0㎡		
	構造			
	施設内容	・野球場2面（A・B対面式）、センター交差 ・観客席、管理棟、倉庫、駐車場（若柳総合体育館と兼用）		
休館日	月曜日、12月1日から翌年の2月2末日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
開館時間	午前9時00分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	118,654,000円 （ 5年間 ）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月 ～平成19年3月	直営		
平成19年4月 ～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月 ～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月 ～令和 7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会（特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更）	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和6年度）		
開館日数	236日	235日	236日	100.0%	100.4%
利用者数（延べ人数）	6,000人	6,865人	4,210人	70.2%	61.3%
利用料金収入	100,000円	112,170円	81,410円	81.4%	72.6%
主な増減要因（前年比）	利用者数は61.3%、利用料金収入は72.6%と減少した。主な要因としては、天候不良による利用中止や軟式野球の競技人口減少が考えられる。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月～令和8年3月	グラウンドゴルフ教室	毎週1回、正しい技術やルールを教え、上達するためのレッスン	一般	147人
令和7年10月29日	グラウンドゴルフ大会	個人ゲームとし、個人表彰1～3位、ホールインワン賞等参加賞を配る	一般	8人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
利用者数および利用料金収入が減少していることから、安定的な利用確保が課題となっている。特に野球という競技の性質上、天候や大会利用に左右されやすい面があるため、日々のグラウンド整備管理から少しでも利用がしやすい環境の提供を心がけて、利用機会の拡大に取り組む必要がある。	利用者数減少の傾向に対し、市外集客などの打開策が急務である。また、グラウンド状態の改善については、予算とバランスを考慮しながら中長期的な補修計画を市と協議されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	計画どおり適切に配置。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。技術習得のための研修を受講したが、接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	B	接客研修等により、継続的な人材育成を求める。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	適切に管理・運営している。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	業務日誌等の管理は適切。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	規定に基づき適切に運営管理。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	協定に基づき適切に運営。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	計画的に実施され良好な環境。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切な施設管理を行っている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、安全性を確保した。	A	必要な点検を実施し安全確保。	
⑤ グラウンドの整備、芝の管理補修等の実施	A	芝生の雑草の駆除作業、肥料の散布を実施した。また、適宜、グラウンド整備や芝刈りを行っている。	A	芝管理、土の整備を適宜実施している。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	ホームページでの広報が適切。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	意見箱を通じた改善努力を確認。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	迅速かつ丁寧な対応。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者の理解を得ている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	丁寧な接客がなされている。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B	市外集客等の更なる工夫を期待。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	より良い芝生管理を求めた結果、肥料・除草剤の費用が大幅の増加した。	B	修繕費等の増により赤字幅が拡大。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業を行ったが、より収入の増加に繋げるため他の取り組みも必要である。	B	市外集客等の更なる工夫を期待。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	経費縮減に努めたが、修繕費用が嵩み会費が増加した。	B	経費節減に努めているが、修繕費等の管理が必要。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適切な施設運営である。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞	A	＜施設所管課の所見＞	A
	天候の影響により利用が減少する中、利用状況に応じた柔軟な対応や利用調整を行い、円滑な施設運営に努めた。 また、芝の状態を見ながら芝刈や、グラウンド整備などを行い、より良い環境づくりに努めた。より良い芝管理を求めた結果、除草剤の費用が大幅に増加してしまったため、予算にあった適切な肥料・除草剤の選定を行いたい。 軟式野球の利用者が年々減少していることから市外にも視野を広げた集客が課題である。		課題としている市外集客やマナー向上対策について、次年度は具体的な改善が見られるよう計画的な運営を期待する。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	栗原市若柳総合体育館 弓道場
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施　　設　　名　　称	栗原市若柳総合体育館　弓道場		
施　　設　　所　　在　　地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設　　置　　年　　月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設　　置　　目　　的	市民の体育、スポーツ及びレクリエ―ション活動の推進と生活文化の向上を図る。		
施　　設　　概　　要	面　　積	延床面積　5,599.51㎡、　敷地面積　14,040.51㎡	
	構　　造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休　　館　　日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※　条例から変更の有無　□有　■無		
開　　館　　時　　間	午前9時00分　～　午後10時00分　　※　条例から変更の有無　□有　■無		
施　設　利　用　料　金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※　条例から変更の有無　□有　■無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指　定　管　理　者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指　定　の　期　間	令和4年4月1日～令和9年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	■　公募　　□　非公募		指定管理料	118,654,000円　（　5年間　）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期　　間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月　～平成19年3月	直営		
平成19年4月　～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月　～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月　～令和　7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会（特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更）	H29更新、R4更新

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実　　績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開　　館　　日　　数	308日	307日	308日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）	450人	402人	504人	112.0%	125.4%
利　用　料　金　収　入	10,000円	7,640円	9,310円	93.1%	121.9%
主　な　増　減　要　因（　前　年　比　）	固定利用者の継続的な利用や新規での市内外からの利用があり、利用者数・利用料金ともに前年度より大幅に増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月～令和8年3月	弓道教室	弓道の基本体指導、練習方法の指導	高校生以上の一般	121人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
利用者数が前年度比125.4%、利用料金が129.1%と増加しており、利用ニーズの高まりが見られる。 自主事業として開催している弓道教室により、今後も利用促進に努める一方で、施設スペースに限りがあることから、今後さらなる利用が増加した場合の利用調整や安全面への配慮が必要となるため、円滑な運営に向けた対応が求められる。	利用者数・利用料金ともに前年度比で増加傾向にはあるが、事業計画目標との乖離は依然として大きい。施設スペースの制約があることは認識しているが、既存利用者に頼るだけでなく、初心者が参加しやすい体験型イベントの企画や、周知方法の再検討など、潜在需要を掘り起こす積極的な広報展開を求める。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）　　適切に管理・運営している。

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	計画どおり適切に配置。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	B	接客研修等により、継続的な人材育成を求める。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	消防計画に基づく訓練実施等、環境整備が適切。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切な施設管理を行っている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	規定に基づき適切に運営管理。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	協定に基づき適切に運営。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	計画的に実施され良好な環境。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	市との連携により的確に対応。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、安全性を確保した。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑤ 備品等の設備補充や点検	A	弓道の道具等の安全点検等を教室を開催している若柳弓道協会の協力の下、適宜行った。	A	備品等の設備補充や点検が行き届いている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	ホームページでの広報が適切。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	意見箱を通じた改善努力を確認。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	迅速かつ丁寧な対応。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	次年度に新たな取組みに期待。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	適切な施設運営である。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	丁寧な接客がなされている。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画には及ばなかったが、前年度比で大幅に利用料金収入が増加した。	A	計画比で収入は低いが、前年比では微増。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	狭い施設であり多くの人の入室が困難ため、限定的ではあるが、教室等を開催し努力した。	B	利用枠の制限があるが、体験会の周知を今後も強化されたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	必要不可欠な経費に努力し、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの節約に努めた。	B	職員による清掃等で節約に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正な経理。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 自主事業として開催している弓道教室の収入も前年度比162.9%と大幅に増加していることから、教室開催の効果が現れてきたと考えられる。 利用者数・利用料ともに増加しているため、低料金で利用できる施設としてさらなる利用促進に努めたい。 物価上昇に伴い、消耗品の価格も高騰していることから、支出が出ると収支としてはマイナスとなってしまうため、次年度も利用料収入や自主事業収入での収入増を図り、より充実した環境を提供できるようにしたい。	B	＜施設所管課の所見＞ 利用ニーズは高まっているものの、事業計画達成には至っていない。PR活動を推進し、より一層の利用促進に努められたい。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市若柳総合体育館 トレーニングルーム
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市若柳総合体育館 トレーニングルーム		
施設所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設置年月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエ―ション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	118,654,000円 （ 5年間 ）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月 ～平成19年3月	直営		
平成19年4月 ～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月 ～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月 ～令和 7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会（特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更）	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	308日	307日	308日	100.0%	100.3%
利用者数（延べ人数）	6,600人	5,608人	7,028人	106.5%	125.3%
利用料金収入	1,140,000円	1,138,850円	1,375,120円	120.6%	120.7%
主な増減要因（前年比）	利用者数前年度比125.3%、利用料金前年度比120.7%と大幅増。トレーニング講習会の周知を行い新規利用者を増やせたことや、低料金で貴重なトレーニング設備を利用できることからリピーターが多く、大幅増に繋がった。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年4月～令和8年3月	トレーニングルーム利用講習会	各種トレーニング機器の使用法、ルール、マナー等についての指導及び円滑な利用方法の指導を行う。	中学生以上	158人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
利用者が大幅に増加していることから、今後、混雑時の利用調整や安全管理が課題となってくる。施設のスペースや器具の数が限られているが、低料金で利用できるメリットから、混みあっている時には、順番を待っていただいたり、譲り合っての利用の呼びかけを行っていきたい。器具の経年劣化も起きていることから、普段から安全に利用できるように引き続き定期的な点検を実施していく必要がある。	利用者数・収入の大幅増という好調な実績を維持するため、混雑時の安全管理（利用調整）がより一層重要となる。現状の機器配置や予約管理方法について、利用者目線でのさらなる改善を図り、事故防止に万全を期すこと。また、経年劣化する機器のメンテナンス計画を早期に策定し、安全な利用環境を担保されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トレッドミルを利用中に、機器が止まり、エラー表示が頻繁に出ている。	エラー表示が出た際は点検し、業者にも復旧方法を確認し、使用している。市と協議していきたい。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	計画どおり適切に配置。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	B	接客研修等により、継続的な人材育成を求める。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	消防計画に基づく訓練実施等、環境整備が適切。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	業務日誌等の管理は適切。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理・運営している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	協定に基づき適切に運営。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	計画的に実施され良好な環境。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	的確に対応している。	A	市との連携により的確に対応。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門家による安全点検を行い、器具の取扱い講習会を実施し安全性を確保した。	A	必要な点検を実施し安全確保。	
⑤ 衛生的な利用環境の確保	A	衛生環境を整えるためアルコール消毒や清掃等を積極的に行い、より良い環境づくりに努力した。	A	適切な施設管理を行っている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	ホームページでの広報が適切。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	意見箱を通じた改善努力を確認。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	迅速かつ丁寧な対応。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	次年度に新たな取組みに期待。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者の理解を得ている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	利用者数の増加に伴い、利用料金収入が大幅に増加した。	A	利用者数増に伴い収入が大幅増。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	清潔で使い易い環境づくりに努め、器具の点検等を積極的に行った。	A	講習会による新規開拓が成功。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	必要不可欠な経費に努力し、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの節約に努めた。	A	委託削減等、コスト意識が高い。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正な管理。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 安全に施設を利用していただくためのトレーニング講習会による新規利用者の確保などにより、人数前年度比：125.3%・利用料金前年度比：120.7%と、ともに大幅に増加した。一度に多くの人数が利用できないことから、利用者の少ない平日日中の時間帯を中心に有効活用していきたい。利用者の満足度を上げられるように接客態度なども気を付けていく。	A	＜施設所管課の所見＞ 講習会を通じた新規利用者の獲得が成果に結びついている。今後も安全管理を徹底しつつ、満足度向上に努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒総合体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒総合体育館		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎裏山221番地		
設置年月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 5,761.75㎡、 敷地面積 45,021.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メインアリーナ、事務室、会議室、研修室、選手控室、放送室、競技役員室、更衣室、シャワー・ロッカールーム、器具庫、倉庫	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金		■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指定の期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	238,950,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ～ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス （株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6.12.1社名変更）	令和6年更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	301日	307日	305日	101.3%	99.3%
利用者数（延べ人数）	29,329人	18,791人	22,153人	75.5%	117.9%
利用料金収入	1,541,853円	1,454,170円	1,729,260円	112.2%	118.9%
主な増減要因（前年比）	・今年度は、大口の団体利用がやや減少しましたが、新規の健康教室導入などもあり、利用収入はほぼ前年並みとなってます。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
4/11～4/21	商品販売	来館者向けのスポーツ用品のセール	来館者	70人
11/8～11/21	商品販売	来館者向けのスポーツ用品のセール	来館者	75人
毎月第3土曜日	ヨガ	基本的なヨガの指導	一般	83人
毎月2～3回（金曜日）	かんたん筋トレ	高齢者向けの筋トレとストレッチ指導	受講対象者	95人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・前年度からの課題でもある、二階エントランスの天井から雨漏りを確認しております。雨天でも雨の強弱によって雨漏りの有無が有るようです。状況に応じて確認注視して参ります。 ・アリーナ1F・2Fの男子トイレの小便器のセンサー故障箇所、その他の箇所も経年劣化の為、故障すると思われます。お早目の更新修繕をお勧め致します。	雨漏りについて引き続き原因を調査するとともに、解消に向けて対応を検討する。 施設の修繕に関して、予算と緊急性を考慮して計画的な修繕を検討する。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
いつも大会の開催、練習試合で気持ちよく使わせてもらってます。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
利用料金が安いわりに設備が充実している。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
個人でも色々な道具を利用出来て、安く利用出来て嬉しい。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
トイレがきれい。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を通じ人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	全体ミーティングで防災訓練を実施するなど周知徹底。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	パソコンで管理・保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	年4回の研修で周知徹底し、併せて事務所外への持ち出し禁止を徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	全て遵守している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	保守点検業者と連絡を密に対応。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	都度栗原市様と協議し対応。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	ｽﾎﾟｰﾂ団体募集要項等の掲示を行っています。	A	自主事業の継続など、一定の取り組みを行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ掲載も含め迅速且つタイムリーに処理している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	出来る事は即対応。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	即時に対応致しました。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	お客様に満足いただきたいとの意識を持って日々対応しています。	A	健康教室を開催する等新たな取り組みができていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	対応場所によって多少のバラツキはあるものの、概ね良い評価をいただきました。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	対応場所によって多少のバラツキはあるものの、概ね良い評価をいただきました。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体施設全体として妥当と考えます。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体施設全体として取り組みました。	A	平日日中時間帯の利用者増に繋がる更なる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体施設全体として図られました。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体施設全体として適正に処理されております。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・今年度におきましては、クレーム等も無く概ね順調に推移して参りました。 ・利用者数につきましては、社会人バスケの利用が他施設へ分散したことなどで大口利用がやや減少しましたが、新規利用団体や個人での利用が増加し、増加傾向にありました。 ・新規での自主事業でも、参加人数が定着して参りました。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者約17%増となっており、収入が約18%増となった。日中の時間帯の使用率を向上させるため、引き続き自主事業の展開を図られたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒野球場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒野球場		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎裏山216番地64		
設置年月	昭和60年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積　　㎡、　敷地面積 27,400㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メイン球場1面、サブ(ソフトボール)球場1面、事務室、会議室、医務室、更衣室、役員室、収納庫、器具庫、ナイター設備	
休館日	月曜日、12月1日から翌年の2月末日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
開館時間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分　※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無　□有　■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス	
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内	
指定の期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募	指定管理料	238,950,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ～ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス （株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6. 12. 1社名変更）	令和6年更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	234日	234日	234日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	7,782人	5,279人	7,205人	92.6%	136.5%
利用料金収入	365,650円	376,650円	466,650円	127.6%	123.9%
主な増減要因（前年比）	・市内団体だけでなく、市外団体の新規利用などもあり利用人数増と増収に繋がりました。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・今年度も利用団体様には快適に施設をご利用頂けたと思います。近年サブグラウンド内にイノシシが出没して敷地内が荒らされておりましたが、栗原市様に門、フェンス等を設置頂き、今後は整備等の改善につながっていくと思われます。また、同じくサブグラウンド内野の土の劣化もかなり進んでおりますので併せて対応が必要と考えます。	サブグラウンドの土劣化については、利用状況を考慮しながら検討します。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
風当たりの強い球場なので、防風ネット兼ファールボール用ネットを設置して欲しい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
サブグラウンドの土の入れ替えをお願いしたい。砂の下の小石が出てくることが多い。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
トイレも洋式になり、使いやすくなった。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げました。
周辺の伐採で見通しが良くなり、安心感がある。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	屋外スタッフを配置し適切に管理している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	社内研修を実施して人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を実施してスキルを向上した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務所にて一括管理している。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修にてスタッフ全員周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な施設整備や備品との修繕んを行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	行っている。	A	施設周辺を含めた管理を適切に行っている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	出来る事は即実施。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今年度は要望及び苦情は有りませんでした。	A	一定の満足を得られていると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	芝生の整備の強化をしました。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね良い評価を得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切でした。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約。	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・常にグランドコンディションが良好な状態をキープできる様に心掛けています。 ・管理棟の清掃につきましても、改修していただいたトイレの保全を中心に、きめ細かく実施しております。 ・球場周辺の草刈りや伐採等も、きめ細かく整備、管理に注力いたしました。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者36%増、収入が23%増となった。 自主事業は実施されなかったものの、球場内の芝生整備を強化したり、球場周辺の草刈りを行うなど、利用者拡大に取り組んでいる。	A

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	サン・スポーツランド栗駒
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	サン・スポーツランド栗駒		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎裏山221番地		
設置年月	平成7年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積　　㎡、　敷地面積　40,214㎡	
	構造	管理棟：鉄筋コンクリート造	
	施設内容	陸上競技場（トラック：400m6コース・グリーンサンド舗装フィールド：クレー）、管理室・ミーティングルーム、器具庫	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
開館時間	午前 9時 00分 ～ 午後 5時00分　※ 条例から変更の有無　□有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無　□有　■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指定の期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募		指定管理料	238,950,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ～ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス （株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6.12.1社名変更）	令和6年更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	234日	234日	234日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	8,683人	4,385人	3,692人	42.5%	84.2%
利用料金収入	20,335円	23,770円	27,050円	133.0%	113.8%
主な増減要因（前年比）	・悪天候の影響で、サッカースポ少の利用で体育館を利用する割合が増加傾向にあることで利用者が若干減少していますが、ペタンク大会などの老人会の利用が若干増加しました。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・昨年同様、隣接する山から現れるイノシシにサンスポの道路側の法面を荒らされました。豪雨などにより土砂が流失する恐れがあります。今後、イノシシが進入しないような侵入防止策等を講じる必要があると考えております。	今後検討していきます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
サンスポ全面を人工芝に変えてほしい。	栗原市様と協議して参ります。
照明設備がほしい。	栗原市様と協議して参ります。
管理棟内にエアコンの設置をお願い致します。	栗原市様と協議して参ります。
いつも整備いただき、ありがとうございます。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	計画通り適切に配置しております。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	内部研修を実施し人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練、実技、研修を通じ環境を整備している。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室で整理、保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修において周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	管理棟の清掃、グランドの整備など環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	行っている。	A	適切に対応している。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	今年度は利用者様より、アンケートのご意見がありませんでした。	A	アンケート実績はなかったものの要望に柔軟に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情等が出た時は栗原市様と協議し対応します。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みを行いました。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ得られている。	A	指定管理の範囲内で評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用件数が多い施設ではありませんが、利用者様が快適に利用できる様にグラウンド整備をはじめ、周辺の草刈り、今年度は周辺の木々の伐採も実施できました。今後も管理棟の清掃、設備点検などをきめ細かく行い、安全面も気を付けております。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者16%減となったが、収入が13%増となった。 快適に利用できるように、グラウンド整備や草刈り、伐採等に取り組んでおり、評価できる。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒テニスコート
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒テニスコート			
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎裏山216番地64			
設置年月	昭和60年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例	
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る			
施設概要	面積	延床面積　　㎡、　敷地面積 1,453.17㎡		
	構造			
	施設内容	砂入り人工芝2面、ナイター設備		
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無　□有 ■無			
開館時間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分　※ 条例から変更の有無　□有 ■無			
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無　□有　■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス	
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内	
指定の期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募　□ 非公募	指定管理料	238,950,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ～ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス （株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6.12.1社名変更）	令和6年更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	307日	307日	232日	75.6%	75.6%
利用者数（延べ人数）	3,597人	4,839人	4,077人	113.3%	84.3%
利用料金収入	142,162円	192,400円	122,460円	86.1%	63.6%
主な増減要因（前年比）	・悪天候の影響や熊出没による一定期間の利用停止もあり、利用人数や利用料金は減少となりました。要因としては、体育館への変更もありました。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・昨年同様に隣接する野球場からのファールボールが飛んでくる事が懸念されています。現状では双方の利用団体様に硬式ボール利用時の注意喚起を行っていますが、防護ネットの増設など設備改善のご検討をお願い申し上げます。	隣接する野球場からのファールボール防止用ネットの設置については、引き続き検討していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
球場からのボールが飛んでくるので、防護ネットを設置してもらいたい。安全のため。	栗原市様と協議して参ります。
テニスコート周辺を砕石で整地してもらいたい。	栗原市様と協議して参ります。
周辺の木々の伐採を実施して頂き、見通しが良く、気持ちいい。（安心感も増えた）	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評　価　項　目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を通じ人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	全体ミーティングで防災訓練を実施するなど周知徹底。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	パソコンで管理・保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	年4回の研修で周知徹底し、併せて事務所外への持ち出し禁止を徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営に遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	定期的に点検、清掃を行い良好な施設管理を維持している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	スポーツ推進に向けた取り組みを行いました。	A	施設周辺を含めた管理を適切に行っている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者様の意見を把握し反映する取組みを行いました。	A	利用者の要望に柔軟に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情等が出た時は栗原市様と協議し対応します。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	硬式テニス体験会の実施。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館に集約。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者様が気持ちよくプレーして頂ける様に、テニスコート周辺の環境整備を頻繁に行いました。また、今年度は周辺木々の伐採も実施し、見通しが良くなったなど安心感があるお言葉をいただきました。管理棟や周辺の敷地は、野球場利用者様と共有する為、常に管理棟の清掃備品も整備し、清掃等をきめ細かく実施しております。	A	＜施設所管課の所見＞ 本年度は、前年度と比較して利用者数が16%減少、利用収入が37%減少となった。これは昨年度、栗駒で発生したクマ被害の影響による予約キャンセルが主な要因と推察される。 指定管理者においては、こうした状況に対し、テニスコート周辺の樹木伐採による視認性の向上や、クマ撃退スプレーの配備など、利用者目線に立った迅速かつ的確な安全対策を実施した点は高く評価できる。次年度も引き続き、利用者が安心・安全に利用できる環境づくりに努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒プール
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒プール		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎裏山221番地		
設置年月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 5,761.75㎡、 敷地面積 45,021.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	25m×6コース温水プール、子ども用プール、ジャグジー、採暖室、シャワー室、更衣室、機械室	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前 10時 00分 ～ 午後 8時 30分 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指定の期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	238,950,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ～ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス （株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6.12.1社名変更）	令和6年更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	307日	307日	308日	100.3%	100.3%
利用者数（延べ人数）	21,570人	18,356人	18,814人	87.2%	102.5%
利用料金収入	3,248,331円	3,446,010円	3,790,320円	116.7%	110.0%
主な増減要因（前年比）	・プールについても利用人数の増加、回数券や半年券の購入にも多くつながり、前年に対し、利用料金収入も増加となっております。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月水曜日	流水脂肪燃焼ウォーキング	水中ｳｫｰｷﾝｸﾞの指導	一般	457人
毎月金曜日	流水リハビリ	流水ﾘﾊﾋﾞﾘの指導	一般	430人
毎月火曜日	ｷﾝﾀﾞｰ（幼児）水泳	幼児向け水泳指導	幼児	150人
毎月火、土曜日	ｼﾞｭﾆｱ（小学生）水泳	小学生向け水泳指導	小学生	3,960人
毎月2～3回（火・金曜日）	成人水泳	成人向け水泳指導	一般	464人
毎月2～4回（火曜日）	流水リハビリ	流水ﾘﾊﾋﾞﾘの指導	一般	168人
随時	ｼｮｰﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ指導	一般	ｶｳﾝﾄなし

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
ろ過機配管等の修繕を実施頂きましたが、今後も水回り関係個所の経年劣化で同様の事象が懸念されます。設備点検等により故障防止に努めて参ります。	施設設備を熟知し、安全かつ円滑に運転できるよう、引き続き各種点検による安全管理を徹底し、運営されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
子供水泳教室の後の更衣室内床が水浸しになっている。	教室時に定期的にチェックするようにスタッフ一同に周知致しました。
プールの水が奇麗なので気持ち良く泳ぐ事が出来ています。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げました。
水中ウォーキングの回数を増やしてほしい。	今後の検討事項と致しますと丁寧に対応致しました。
回数券や半年券をお勧め頂き、お得に利用しています。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評　価　項　目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	栗原市様との協定に基づき計画通り適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	特に新規従業員に育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練、実技、研修を実施しスキルアップに努めている。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	しっかり責任を持ち整理、管理を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修で徹底し適正に実施されている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	業者との連絡を密にした点検、従業員によるキメ細かい清掃を実施	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	都度栗原市様と協議し対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	お客様の要望を聞き取組みを行っている。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速感のある対応が出来ている。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	その場で改善出来る事は即実施している。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	水温に対するご意見があったが即時対応し改善した。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	対応できる取り組みを実施している。	A	利用者要望をくみ取り、新たな集客に繋げている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	概ね満足は得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	プールシートを活用し光熱費を大幅に縮減	S	燃料費縮減に積極的に取り組み、一定の効果が見られる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適正であると判断する。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ ・今年度の利用者数は前年比で102%となりました。個人での利用人数は増加傾向にありますが、自主事業の参加については、低迷しております。 ・維持管理については、定期点検の中で不具合等の有無をチェックしながらトラブル防止に努めて参ります。 ・昨今、燃料費の高騰が続いておりますが、冬場のプールシート活用や年間を通したボイラー稼働時間のこまめな調整により経費縮減に繋げています。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、年間で利用者約2%増、収入が10%増となった。 自主事業について、複数の事業を行っており、集客に繋げていることが評価できる。 冬場のプール水面に保温シートを敷くことやボイラー稼働時間のこまめな調整等、積極的な燃料費節減に取り組んでおり、評価できる。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム（栗原市栗駒総合体育館内）		
施設所在地	栗原市栗駒岩ケ崎裏山221番地		
設置年月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 5,761.75㎡、 敷地面積 45,021.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	トレーニングマシン22種32台他	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指定の期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	238,950,000円 （5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ～ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス （株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6.12.1社名変更）	令和6年更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率	前年度との比較
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）	（%）	（%）
開館日数	307日	307日	308日	100.3%	100.3%
利用者数（延べ人数）	12,893人	13,950人	15,222人	118.1%	109.1%
利用料金収入	2,546,340円	2,778,170円	3,011,370円	118.3%	108.4%
主な増減要因（前年比）	・今年度も利用件数・人数が増加傾向となり増収となりました。設備の充実度と安価な利用料であるとの利用者の評価が主な要因として捉えております。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月休館日以外実施	パーソナルトレーニング	専門ﾄﾚｰﾅｰによる個人ﾒﾆｭｰ作成、実技	小学生以上	519人
毎週日・木曜日、第3土曜日	トレーニング講習会	トレーニングマシン個々についての取扱い説明	中学生以上	286人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
引き続き定期的なメンテナンスを行いながら安全にご利用できるように管理いたしますが、特にランニングマシンの走行板、ベルトの摩耗や基盤の不具合などのリスクが高くなってきていると思われます。少額の修繕につきましては従来通り都度対応してまいりますが、高額の修繕に関しましては状況に応じて相談させていただきます。	経年劣化が見られるトレーニング機器については、計画的な更新を検討する。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
利用料金が安く、器具もそろっているので楽しく体を動かすことが出来ています。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
いつも綺麗にして頂いて、ありがとうございます。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
皆さんの心配りに感謝いたします。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
ダンベルとプレートを増やしてほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
ケーブルマシンを導入してほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
トライセップエクステンションを早く更新してほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
安価な利用料金で大変嬉しいです。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げました。
新規のマシンを導入してほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	内部研修を実施し人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災研修や訓練を実施し対応スキルを向上させた。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室にて一括管理してます。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	Pマークの基準どおり適切に管理している。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	特にクレームも無く適切に管理している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	徹底した清掃を実施している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	栗原市様と協議し修繕計画を立て対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	積極的に取り組んでいます。	A	自主事業の継続など、一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	自主事業として取り組んでいます。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	栗原市様と協議しマシンの更新、新設を実施。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	パーソナルトレーニングの強化。	A	利用者増につながる更なる事業展開を行っている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体施設全体として体育館にて集約。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体施設全体として体育館にて集約。	A	平日日中時間帯の利用者増に繋がる更なる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体施設全体として体育館にて集約。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体施設全体として体育館にて集約。	A	適正である。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
総合評価	＜指定管理者の所見＞ 今年度のトレーニング利用者も前年比で109%となり増加傾向となりました。同様にトレーニング講習会の参加者も増加傾向となりました。トレーニング器具も充実、利用料金が安価なことから、利用者の皆様より喜び・感謝のお言葉を多く頂いております。マシンの清掃、修繕等にはより一層注力し、引き続き利用者の皆様が快適にご利用できる様に努めて参ります。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者数約9%増、収入が約8%増となった。夜間の混雑時間帯においても、利用者をローテーションさせて機器の活用を促進するなどの工夫が見られ、施設設備を最大限に活用している。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場			
施設所在地	栗原市一迫字長崎川台53番地5			
設置年月	平成23年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例	
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る。			
施設概要	面積	延床面積　156.0㎡（管理棟） 敷地面積 33,379.4㎡（ｸﾞﾘｰﾝ1,346.5㎡、ﾌｪｱｳｪｲ・ﾗﾌ9,702.6㎡、ｺｰｽ外22,330.3㎡、）		
	構造	管理棟：木造平屋、倉庫：プレハブ		
	施設内容	全36ホール（4コース×9ホール）、クラブハウス（管理棟）、倉庫、駐車場（75台）		
休館日	月曜日、12月21日から翌年の3月21日まで ※　条例から変更の有無　■有　□無			
開館時間	午前9時00分　～　午後5時00分　　※　条例から変更の有無　□有　■無			
施設利用料金	利用料金制	■採用　□採用無　□指定管理料と併用　□指定管理料のみ		
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※　条例から変更の有無　□有　■無		

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和5年4月1日　～　令和10年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	■　公募　　□　非公募		指定管理料	10,500,000円　（5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成23年4月～平成25年3月	直営		
平成25年4月～平成27年3月	管理委託	協業組合アクアテック栗原	
平成27年4月～令和5年3月	指定管理	協業組合アクアテック栗原	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	232日	231日	232日	100.0%	100.4%
利用者数（延べ人数）	22,000人	23,807人	20,950人	95.2%	88.0%
利用料金収入	6,970,000円	6,264,210円	4,953,940円	71.1%	79.1%
主な増減要因（前年比）	減免での利用が大幅に増えていることから、利用料金収入は大きく減少している。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
4月～11月	チャンピオンオブザイヤー	パークゴルフ愛好者を対象に年間通しての交流大会を開催予定だったが人数集まらず中止とした	栗原市民・近隣住民	0人
6月6日	夏季パークゴルフ会長杯	栗原市や近隣住民を対象に大会を開催した	栗原市民・近隣住民	33人
7月16日	ﾚﾃﾞｨｰｽｶﾌﾟ	女性限定の栗原市や近隣住民を対象に大会を開催した	栗原市民・近隣住民	36人
10月2日	ﾀﾞﾝﾃﾞｨｶｯﾌﾟ	男性限定の栗原市や近隣住民を対象に大会を開催した	栗原市民・近隣住民	30人
7月30日	孫とペアマッチ	夏休み企画として、孫と絆を深め開催予定だったが人数集まらず中止とした	栗原市民・近隣住民	0人
10月22日	秋季パークゴルフ会長杯	栗原市や近隣住民を対象に大会を開催した	栗原市民・近隣住民	50人
11月23日	ﾎﾟｲﾝﾄｶｰﾄﾞ大会	小田ダム湖畔パークゴルフ場のポイントカード保有者の栗原市や近隣住民を対象に大会を開催した	栗原市民・近隣住民	82人
令和7年4月～ 令和8年3月	軽食販売	ｶｯﾌﾟﾗｰﾒﾝやｱｲｽｸﾘｰﾑを販売した	利用者	延べ322人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
減免利用者の占める割合が全体の半数以上を占め、利用料は減少している。また、夏場は猛暑による熱中症等の危険もあり、利用者も減少した。芝刈機も使用頻度が高く、劣化も激しいため修繕費の増加が課題である。	減免利用者が多数を占める現状は、収支上の課題と捉えております。本市としても、減免制度の適用基準や運用の実態について改めて精査を行い、貴団体と改善に向けた検討を進めてまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
今年のグリーンの手入れが良い。	維持できるよう今後とも努力していきます。
食堂が欲しい。	検討しますと説明。
これまでの中で一番きれいなコースである。	維持できるよう今後とも努力していきます。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理･運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	人員配置は行っていたが管理運営に問題が残る。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	より良いサービスのためさらに人材育成に努める必要がある。	B	サービス向上のため、人材育成の研修を図られたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	緊急時に素早く対応できるよう、さらに努める必要がある。	B	緊急時に素早く対応できるよう、さらなる環境整備に努められたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備･保管をしている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に管理･運営している。	A	適切に運営している。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に対応、遵守している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に修繕対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	協会主催の大会などを開催し、スポーツ推進に努めた。	A	自主事業の更なる拡充に期待する。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページや掲示物等で適切に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	意見の把握を行ったが、対応しきれない部分が多々あった。	A	指定管理者の対応可能な範囲で対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	すぐに対応できる部分に対しては迅速な対応に努めたが課題が残る。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	協会主催の大会を実施した。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	多くの要望に対し対応しきれない部分があった。	B	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	大幅な収入減であった。	B	利用促進策の再検討および経費削減に向けた工夫がより一層求められる。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	軽食の販売や営業期間の延長などの取り組みを行った。	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電に努め、余分な経費の洗い出しをし、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数は12%減少し、中でも減免利用が増えた事により、利用料金収入が20.9%減少した。 ・よりよいコース環境整備の為に、今年度は除草剤を質の高いものに変更した。 ・車両費、事務消耗品費を見直しをし、節減に務めた。 ・自主事業の企画倒れがあったが、その代用として新たな大会を開催した。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、利用者約12%減となり、収入が約21%減となった。 快適にプレーできるように、グラウンド整備や草刈り、薬剤散布等に取り組んでおり、評価できる。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市文字郷土文化保存伝習館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市文字郷土文化保存伝習館		
施設所在地	栗原市栗駒文字角ヶ崎67番地1		
設置年月	平成4年3月31日	設置根拠条例	栗原市郷土文化保存伝習館条例
設置目的	郷土文化に関する認識を深め、その普及、研修及び伝承を図るため。		
施設概要	面積	延床面積 534.79㎡、敷地面積 5,534.0㎡	
	構造	木造平屋一部鉄骨（1階建て）	
	施設内容	ふれあい交流ホール、会議室、伝習室	
休館日	12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ■指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	ふれあい交流ホール 1時間につき 310円 会議室・伝習室 1時間につき 110円 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一和会	
	事務所所在地	栗原市栗駒文字角ケ崎67番地1	
指定の期間	平成4年4月1日 ～ 令和9年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	□ 公募 ■ 非公募	指定管理料	2,700,000円（5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 平成19年7月	管理委託	文字迫泉会	
平成19年8月 ～ 平成19年12月	直営		
平成20年1月 ～ 令和9年3月	指定管理	一和会	H21・H24・H29・R4更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	150日	36日	41日	27.3%	113.9%
利用者数（延べ人数）	5,807人	1,088人	962人	16.6%	88.4%
利用料金収入	2,000円	2,068円	2,486円	124.3%	120.2%
主な増減要因（前年比）	開館数は増えるも少人数での開催である。利用料金の増額は使用時間の増による。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
地域の13世帯で一和会を構成しているが、高齢化が進み、実質6世帯で運営している現状である。担い手もおらず、事業の実施が難しく、指定管理業務の維持も難しい状況が続いている。	指定管理団体の高齢化により利用拡大に向けた活動が難しい状況が続いているのは理解できる。自主事業は難しいと思われるため、施設の維持管理に努めてほしい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
ホールの引違戸〔北側〕の開閉が困難である。	別な出入口を利用している。
猛暑で会議室にエアコンの設置が要望されている。	窓を開けるなどし空気を循環させ室温上昇を防いでいる。
屋根下のストーブ排気口辺りに杉葉が溜まると、出火の恐れがあるため、定期的に杉葉の除去する必要がある。 暖を取る時期は特に配意が求められる。	ストーブ使用時に気を付け、定期的に杉葉を除去している。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B	概ね事業計画書に基づく適正な管理・運営であることを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	管理者は常駐せず、施設の予約を受けて対応している。	B	現状にあわせた配置であることを確認した。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	役員会等を実施し情報を共有している。	C	業務に必要な研修を行い、人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	近隣に管理者を配置し緊急時は対応している。	B	現状にあった配置であることを確認した。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	関係書類の作成・保管は、事務所内にて適切に保管している。	A	適切に整備、保管していることを確認した。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り適正に処理・管理している。	A	適切に行っていることを確認した。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令遵守のもと管理・運営している。	A	協定に基づいた管理・運営を遂行していることを確認した。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適正な施設管理を行っていることを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定内容・承認内容を遵守している。	A	遵守していることを確認した。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	自主点検・館内の清潔環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持してことを確認した。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している。	A	適切な修繕対応を行っていることを確認した。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各専門業者の点検により、安全確認を行っている。	A	必要な専門的点検を実施し安全確認を行っていることを確認した。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	B		C	利用者の向上、利便性の向上に向けて尽力いただきたい。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	常駐する管理者はいないが、利用にあたり不具合が無いよう迅速な対応に務めた。	C	利用者の利便性を高めるべく、施設情報を積極的に発信していただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	新コロナウィルスの影響により利用者が減少したため、多くの意見を把握できなかった。	C	より多くの意見の把握に努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望等は対応している。	A	要望等に適切に対応していることを確認した。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	C	利用者より意見を聴取し、施設管理・自主事業に生かしたい。	C	施設の目的を活かした新たな取り組みを実施していただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ満足度が高い評価をいただいている。	B	より一層利用者から満足を得られるよう対応していただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	清潔かつ誠実に対応している。	A	適正な応対、身なり等であることを確認した。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B	事業計画等に基づき適正な運営を行っていただきたい。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	新型コロナウィルス感染対策の制限や外出自粛により、事業計画に基づき実施できなかった。	C	持続可能な範囲内で、自主事業実施に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	新型コロナウィルス感染対策の制限や外出自粛により、事業展開ができなかった。	C	持続可能な範囲内で、利用者増に繋がる取り組みをしていただきたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	業務の外部委託を極力控え、指定管理者自ら施設維持管理し、経費削減に努めた。	A	経費削減に努めていることを確認した。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な管理の履行に務めた。	A	適切に経理が行われていることを確認した。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 日頃の管理に加え、健康診断や選挙会場として使用される前に清掃するなど、利用者が快適に利用できるよう施設維持に努められた。 少人数で事業展開が困難な状況が続き、団体利用も減少傾向にあったが、地域一丸となり会の存続に尽力する方針も確認でき、令和7年度には婦人会が活動再開するなど、地域活動の増進が見られた。 今後も、地域全体で指定管理施設を活用していきたい。	B	＜施設所管課の所見＞ 協定書に基づき適正な施設管理、運営が行われている。 利用率としては、前年度比88.4%と減少しており、建設当時の計画値から見ると対比16.6%と依然として低迷している。 大半は地域のコミュニティや市の健診事業、選挙会場としての利用であり、指定管理者の高齢化に伴い施設維持管理や事業展開は難しいとの認識であるが、指定管理期間まで施設維持管理に努めていただきたい。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市伊豆沼交流センター
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市伊豆沼交流センター		
施設所在地	栗原市若柳字上畑岡鵜経沢61番地1		
設置年月	平成5年4月1日	設置根拠条例	栗原市伊豆沼交流センター条例
設置目的	市民と来訪者の相互交流及び自然体験学習を通じて自然に対する認識を深めるとともに、人間性の形成を図る。		
施設概要	面積	延床面積：本館999.21㎡・食堂棟236.01㎡、敷地面積：10,236.60㎡	
	構造	本館：木造2階建、食堂棟：木造平屋建	
	施設内容	①本館（1階・2階・その他） ②食堂棟（調理場・食堂・自炊棟・トイレ） ③付帯設備（駐車場・多目的スポーツ施設・休憩室・広場・野外炊飯場・倉庫・その他）	
休館日	水曜日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	□採用 □採用無 ■指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	栗原市伊豆沼交流センター条例のとおり ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク	
	事務所所在地	栗原市若柳字上畑岡敷味45番地	
指定の期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日 （5年間）		
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募	指定管理料	57,436,000円（5年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 平成23年3月	直営		
平成23年4月 ～ 令和6年 3月	指定管理	協業組合アクアテック栗原	

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	307日	307日	308日	100.3%	100.3%
利用者数（延べ人数）	3,600人	3,649人	3,137人	87.1%	86.0%
利用料金収入	6,735,000円	7,676,766円	5,153,720円	76.5%	67.1%
主な増減要因（前年比）	令和7年度の利用実績については、全体利用者数が前年3,649人から3,137人へ減少し、利用料金収入も前年を下回った。 要因として、全国的な物価高や旅行形態の変化による日帰り利用への移行、団体旅行需要の縮小など外部要因に加え、当施設において団体利用件数が31件から24件へ減少したことが影響したものと考えられる。 特に例年利用の多い9月から12月にかけて、団体・一般利用とも前年を下回り、宿泊利用を中心に年間実績へ大きく影響した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	売店コーナーの設置	軽食及び菓子、お土産品を販売する売店コーナーを設置した	施設利用者、一般	カウントなし
2025年5月7日	セミナー「地域に必要な編集力」	長屋門活用を軸に、地域編集の視点から20年先の栗原市の未来づくりを考える実践型セミナー	一般	15人
2025年8月10日～12日	伊豆沼こどもキャンプ「ガサガサで生き物探し」	生き物を観察できそうな「遊び場」を自分たちで見つけてガサガサ体験。夜は昆虫トラップや星空観察を行う、子供たちを対象とした宿泊イベント	宿泊者	10人
2025年9月8日	皆既月食観察会	月食の仕組みを知り、実際望遠鏡を使ってクレーターの観察をするイベント	宿泊者、一般	1人
2025年11月30日	グラベルミーティング「冬の伊豆沼サイクリング」	冬の伊豆沼に飛来する渡り鳥を観察しながら、未舗装路を走り、冒険気分を楽しむイベント	一般	7人
2025年9月～2026年2月	マガン観察ガイド	伊豆沼内沼に秋から冬に訪れる渡り鳥の朝の飛び立ち、夕方のねぐら入りをガイドの案内により体験する	一般、宿泊者	21人
2025年12月12日、17日、19日	マガン観察ガイド	JR東日本「大人の休日倶楽部」利用者を受け入れし、ガイドツアーを実施	施設利用者	87人
2026年3月26日	リスクマネジメント講習会	自然の中をはじめ、体験プログラムを行う際の活動前、活動中のリスクを予測、発見するための基礎を学ぶ講習	一般、宿泊者	20人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
令和7年度においては、宿泊者・利用者の利便性向上を目的として、施設全体のLED化、ボイラー更新、食堂等の壁紙張替えを実施していただき、利用環境の改善が図られたことに感謝申し上げる。 一方で、物価高騰や光熱費、人件費等の上昇により、施設管理に要する経費は増加傾向にある。 持続可能な施設運営を図るため、現状に即した宿泊料金の上限額見直しや、利用実態を踏まえた利用料金減免制度のあり方について、検討をお願いしたい。	市で行った修繕による施設環境の改善を活かして、利用率の向上に繋げてほしい。 昨今の人件費、物価高騰による経費増加に対し、現行の利用料金では持続可能な運営が困難であるとし、利用料の見直しを検討する必要があると考えている。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
・スタッフの対応が丁寧で話し方が優しい。	
・食事のバランスがとれており、とてもおいしかった。	
・施設内の清掃が行き届いており、気持ちよく宿泊できました。	
・送迎があり非常に助かりました。	
・星空観察をする際に、街灯を消していただき、スムーズに楽しく天体観察できた。	
・電子レンジなどの設備が充実しており、快適に宿泊できた。	
・スタッフの方から、周辺観光案内をしていただき、旅行が楽しめた。	
・宿泊料金が安いので、山小屋のような感じを想定していたが、事前のイメージ以上に快適な施設だった。	
・Wi-Fiの電波が弱い。	Wi-Fi環境改善を実施し、安定したネット環境を整備しました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理、運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	平均2人以上の配置により、適切に運営した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	専門家による勉強会や応急手当講習等により人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	日常業務での点検のほか、定期的な防災訓練等を行った。	A	通常時、緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	規定通り、適正に管理している。	A	適切に整備、保管している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り、適正に管理している。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づき、適正に管理、運営を行った。	A	適切に管理、運営を遂行している。	
⑵ 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	業務内容を遵守して運営を行った。	A	遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃や保守点検を計画的に実施し、常に安全な施設環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持に尽力している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している。	A	施設の利便性向上を目指し、積極的に修繕を実施している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	外部の専門事業者に委託し、点検を実施した。	A	必要な専門的点検を実施し安全確認を行っている。	
⑤ 利用率向上に向けた対応をしているか。	A	季節に応じたプラン造成や、販売期間の延長などにより利用率向上を図った。	A	自主事業の多数実施など、利用率向上に向け尽力している。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切にサービス提供を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ウェブサイト、SNSにより利用案内をPRした。	A	適切に手続等を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	ウェブサイト、SNSにより意見等を収集し、適切に対応した。	A	利用者からの意見を取り入れ運営に精力的に取り組んでいる。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	特に要望、苦情等が無かった。	A	適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	施設及び周辺フィールドを活用した様々な体験コンテンツの提供を行った。	A	施設周辺の特性を活用した自主事業を年間通して実施し、集客に取り組んでいる。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られた。	A	アンケート結果から利用者の満足が得られていることを確認した。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	職員の応対や身だしなみは良好で、新設かつ丁寧な接遇が利用者から高く評価されている。	A	適切に応対を行っている。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	A		A	事業計画に基づき、適切に運営を行っている。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	利用人数は計画より下回る形となった。実績については、物価高騰などを鑑みると、おおむね妥当と判断しています。収支については、収入はプラン造成により確保し、支出増には経費節減により対応しました。	B	収入減少により計画を下回ったものの経費削減により支出を抑え、収支の健全化に努められた。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	売店コーナーの設置、宿泊プランと連動した体験コンテンツの提供など、収入確保に努めた。	A	コンテンツ提供などにより、利用者及び収入の増加に努めている。利用者数減少を分析し、引き続き利用率向上に努めてほしい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	人件費の上昇や雇用確保に伴う処遇改善、燃料費高騰による支出増がありましたが、その他経費の節減を図ることで対応しました。	A	社会情勢による固定費の支出増に対し、それ以外の部分では経費縮減に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務の適切な管理に必要な諸帳簿を備えている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 令和7年度は、全体利用者数3,137人、宿泊利用者数1,105人となり、前年と比較して利用実績は減少する結果となりました。特に宿泊利用や団体利用の減少が収入面へ大きく影響した一方で、食事利用や日帰り利用は一定程度維持され、地域交流・観光拠点施設としての役割を継続して果たすことができました。 施設運営面では、予約受付、宿泊対応、清掃管理、安全管理等の日常業務を適切に実施し、大きな事故やトラブルなく安定した管理運営を行うことができました。また、市により施設全体のLED化、ボイラー更新、食堂等の壁紙張替えが実施され、利用環境の向上と維持管理負担の軽減につながりました。 一方で、物価高騰や光熱費、人件費等の上昇により、施設運営を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。今後は、整備された施設機能を十分に活かしながら、合宿需要や団体利用の取り込み、伊豆沼・内沼の自然環境を活かした体験型利用の促進など、利用促進策を強化するとともに、利用者サービスの向上と効率的な管理運営に努めてまいります。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年と比較し利用実績が減少した結果となったが、利用者から好意的な意見が多く寄せられており、宿泊対応や清掃、安全管理等の日常業務が適切に行われたうえで、施設利用者へニーズを把握し、提供していた結果であり高く評価する。 今後も社会情勢の影響による物価上昇等で、施設運営を取り巻く厳しい状況が想定されるが、引き続き持続可能な施設運営に努めて頂きたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市志波姫公民館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市志波姫公民館		
施設所在地	栗原市志波姫沼崎南沖447番地		
設置年月	令和5年12月	設置根拠条例	栗原市公民館条例
設置目的	栗原市における実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		
施設概要	面積	延床面積 1,565.54㎡、 敷地面積 3,158.26㎡	
	構造	公民館部：木造平屋 アリーナ部：鉄骨造2階建て	
	施設内容	研修室1 54.24㎡、研修室2 39.74㎡、研修室3 59.62㎡、図書ｺｰﾅｰ 66.24㎡、授乳室 11.17㎡、アリーナ 815.98㎡、 その他（事務室、給湯ｺｰﾅｰ、ﾄｲﾚ、ｷｯｽﾞｽﾍﾟｰｽ、更衣室、倉庫、蓄電池置場）	
休館日	1月1日 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		
開館時間	午前9時 ～ 午後10時 ただし、利用者の要望及び利用状況により変更する。 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	1時間あたりの利用料金は以下のとおり。 アリーナ（全面）310円、アリーナ（半面）155円、各会議室（1・2・3） 110円、 会議室冷暖房44円 ※栗原市公民館条例施行規則第7条に基づき、利用料金免除を適用する。	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	しわひめスポーツクラブ		
	事務所所在地	栗原市志波姫沼崎南沖447番地		
指定の期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	39,819,200円 （3年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
令和5年12月 ～ 令和6年3月	直営		

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	20,000人	26,824人	26,288人	131.4%	98.0%
利用料金収入	300,000円	357,920円	577,390円	192.5%	161.3%
主な増減要因（前年比）	営利目的での利用者が増加したことにより利用料金が増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	スポーツ教室	スポーツ教室12種目実施	地域住民	10,565人
5月～2月	スポーツセミナー	スポーツセミナー12種目実施	地域住民	2,031人
令和8年2月11日	カリヨンフェスティバル	チャレンジザゲーム、チャレンジランキング	地域住民	150人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・夏期期間、虫の侵入の対応に苦慮している。 ・鳥の巣を作られないようにするための対策に苦慮している。 ・夏期期間、アリーナの暑さ対策についての要望を多く受けている。	・虫の侵入は構造上やむを得ないため、理解いただきたい。 ・鳥の巣対策については、鳥の侵入口を網で塞ぐなど対応を行った。 ・アリーナの暑さ対策については、要望として受け止め、他施設の現状や市の方針も鑑み、検討したい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
夏場、エントランス（キッズスペース）に直接日が当たり暑いとの意見がありました。	担当課に報告。後日、調査が行われ、対応していただくこととなりました。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適正な施設管理、運営を行った。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	業務の引継ぎ、情報の共有等を行いサービスの向上に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	自衛消防訓練を2回実施。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	業務日誌を記入し適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定に基づき、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に管理・運営を行った。	A	適切に管理している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理・運営を行った。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容に基づき、管理を行った。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	毎日清掃を行い、保守点検等も専門業者に委託し実施した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	修繕対象が無かった。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各種点検を専門業者に委託し実施。	A	必要な点検を適切に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 集客や市民との協働、施設の特性を活かした事業ができたか。	A	アリーナなど施設の特性を生かし自主事業を開催できた。	A	施設の特性を生かした自主事業を展開し、積極的に取組を行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者の要望等に迅速に対応した。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	利用予定表を掲示。また、利用状況等の問い合わせ等にも丁寧に対応した。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートを窓口に設置。またその都度利用者から口頭で意見等を聴取した。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	対応できるものは迅速に対応。その他、所管課へ報告した。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	各種スポーツ教室を開催し、利用者の充実に努めた。	A	利用者増に繋がる更なる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	利用者の要望に迅速に対応した。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	わかりやすく丁寧な応対を心掛けた。	A	適切に対応している。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	工夫や節約を行い安定した運営ができるよう努めたい。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	概ね計画のとおり行った。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	営利目的の新規利用者の増加により収入も増加した。	A	定期的な自主事業の実施により、利用者及び収入の増加に努めている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	職員でできるところは行い節約に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座及び諸帳簿で経理を行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 昨年度より、営利目的での利用者が増加し、事業計画より利用料収入が増加した。 施設管理については、利用者に気持ちよく活動できるよう、施設内外の清掃を毎日行い良好な環境を維持することができた。 また、図書室利用者のリクエスト等にも柔軟に対応することができた。 今後も、利用者の視点に立った管理を心がけ、利用者の声に耳を傾けながら管理・運営をいたします。	A	＜施設所管課の所見＞ 精力的にスポーツ関連のセミナー等の自主事業を実施し、利用率や施設認知度の向上に努め、1年目を大幅に上回る利用率となったことを高く評価する。 また、図書室利用者数も前年度から増加しており、適切な図書環境の維持に努められた。 今後も、自主事業での地域住民の参加機会提供などの施設運営・管理に期待している。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市花山公民館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 （施設所管課記入）

施設名称	栗原市花山公民館		
施設所在地	栗原市花山字本沢北ノ前77番地		
設置年月	昭和59年8月	設置根拠条例	栗原市公民館条例
設置目的	栗原市における実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		
施設概要	面積	延床面積 1,800.35㎡、 敷地面積 11,684.74㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	
	施設内容	ホール540.00㎡、加工実習室49.40㎡、研修室1 140.58㎡、研修室2 38.50㎡、研修室3 58.10㎡、和室1 30.78㎡、和室2 45.63㎡、和室3 49.14㎡、調理室 42.25㎡、図書情報室 55.25㎡ その他（事務室、事務室2、資料室、配膳室、準備室、ﾄｲﾚ、給湯室、倉庫）	
休館日	12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※条例から変更の有無 □有 ■無		
施設利用料金	利用料金制	■採用 □採用無 □指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	1時間あたりの利用料金は以下のとおり。 研修室1 310円、研修室（2・3） 110円、和室（1・2・3） 110円、ホール 310円、調理室 110円、加工実習室 110円 会議室冷暖房44円 ※栗原市公民館条例施行規則第7条に基づき、利用料金免除を適用する。	

2 指定管理者等の概要 （施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指定の期間	令和7年4月1日～令和10年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	24,000,000円 （3年間）

3 施設管理の経過 （施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
昭和59年8月 ～ 平成24年3月	直営		
平成24年4月 ～ 平成26年3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成26年4月 ～ 平成28年3月	管理委託	有限会社一迫綜合サービス	
平成28年4月 ～ 令和7年3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	H28,30,R3,4,5,6更新

4 施設の利用実績 （指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	230日	233日	323日	140.4%	138.6%
利用者数（延べ人数）	7,000人	6,886人	6,225人	88.9%	90.4%
利用料金収入	120,000円	174,781円	194,231円	161.9%	111.1%
主な増減要因（前年比）	今年度から指定管理となり花山地区住民主体の団体が管理するようになり、地域住民と密接な連携を取りやすくなったため、利用件数及び利用料金収入が増加した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月第二木曜日	わいわいカレーの日	地域在住の方々とカレーを食する	77歳以上	252人
5月5日	花山鉄砲祭り	花山地区伝統の鉄砲のお祭りを開催する	不問	2,500人
9月13日	栗原市花山地区敬老会	高齢者の長寿を祝福する	77歳以上	130人

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽によって故障や破損が多くなってきている。交換部品が製造中止になり苦慮している。	施設老朽化による故障はやむを得ないと認識している。故障や破損が生じた際は、対応案も含め速やかに報告いただきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレが狭いという意見をいただいた。	所管課へ迅速に連絡し対応をお願いしている。
地域住民が管理者となることで利用しやすくなった。	地域住民の意見を聞きながらより効率的な運営を行いたい。
ピロティの床面が滑りやすくなっている。	所管課へ迅速に連絡し対応をお願いしている。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切に管理・運営を行った。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切な施設管理、運営を行った。危険物取扱者を取得した。	A	適切な人員配置と施設管理者として必要な資格取得に努められた。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	随時、情報の共有や業務の引継ぎ等を行いサービスの向上に努めた。	A	初年度として業務を引き継ぎ、サービスの維持に努められた。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	日常点検の他、自衛消防訓練を2回実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	業務日誌や施設使用簿を記入し適切に管理した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定に基づき、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に管理・運営を行った。	A	適切に管理している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に管理・運営を行った。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	業務内容を遵守して運営を行った。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃や保守点検を定期的に行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	外部の専門業者の点検により、安全確認を行っている。	A	必要な点検を適切に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 集客や市民との協働、施設の特性を活かした事業ができたか。	A	地域住民の意見を反映させ事業を実施している。	A	施設の特性を生かした自主事業を展開し、積極的に取組を行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者の要望に対して反映している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	チラシやSNSにより利用案内を告知した。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	紙媒体のアンケートにより意見を収集し、適切に対応した。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	対応できるものは迅速に対応。その他、所管課へ報告した。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	地域住民や移住希望者向けのイベントを実施した。	A	利用者増に繋がる更なる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られた。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	清潔かつ丁寧な対応を心掛けた。	A	適切に対応している。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	安定した運営ができるよう努めたい。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収入増加につながる自主事業を実施していきたい。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	地域住民から広く意見をあつめ事業実施に取り組んだ。	A	定期的な自主事業の実施により、利用者及び収入の増加に努めている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	植木選定を職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	帳簿で適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 地域運営組織が指定管理者として施設の管理運営を担うこととなったことにより、地域住民との距離がこれまで以上に近くなり、日常的なコミュニケーションを通じて多様な意見や要望を把握しやすい体制が構築された。さらに、地域内の各団体や住民との連携を積極的に進めた結果、施設の活用に関する周知や理解が深まり、地域住民による各種事業や施設利用の申し込みが増加した。これに伴い、施設の利用機会が拡大し、結果として利用料金収入の増加にもつながった。	A	＜施設所管課の所見＞ 新規指定管理施設の初年度運営であったが、円滑な引継ぎにより適切な施設管理を行い、地域住民の需要や必要性を考慮した自主事業で、地域活性化に努めたことを高く評価する。 地域の高齢化等で利用率向上は難しいところではあるが、引き続き自主事業での地域住民の参加機会提供などの施設運営・管理に期待している。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市千葉周作ゆかりの家
施設所管部署名	教育部　文化財保護課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市千葉周作ゆかりの家		
施設所在地	栗原市花山字草木沢箕ノ口地内		
設置年月	平成3年7月	設置根拠条例	栗原市千葉周作ゆかりの家条例
設置目的	栗原市千葉周作ゆかりの家を保存しながら、古民家の遺構、民俗資料等の歴史に関する資料を収集保管し、それらを公開することで広く文化を伝えることに寄与する。		
施設概要	面積	合計延床面積　320．02　㎡、　敷地面積　4,062　㎡	
	構造	木造平屋建	
	施設内容	長屋門（市指定有形文化財）1棟　延床面積　65．79㎡ 住宅（市指定有形文化財）1棟　延床面積　242．23㎡ 便所　1棟　延床面積　12㎡	
休館日	4月1日から11月30日までの月曜日から水曜日（ただし、月曜日から水曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日である場合は開館）。※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前9時00分　～　午後4時00分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	観覧料（一般は18歳以上、団体は20名以上） 一般（個人）210円　小・中学生、高校生及びこれに準ずる者（個人）110円 一般（団体）170円　小・中学生、高校生及びこれに準ずる者（個人）　90円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	有限会社　花山産業	
	事務所所在地	栗原市花山字本沢北ノ前35番地の15	
指定の期間	令和6年4月1日　～　令和11年3月31日　（5年間）		
指定にかかる選定方法	☑ 公募　□ 非公募	指定管理料	7，300，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年　4月　～　平成23年　3月	指定管理	社団法人　栗原市シルバー人材センター	
平成23年　4月　～　令和　6年　3月	指定管理	有限会社　花山産業	
令和6年　4月　～　令和11年3月	指定管理	有限会社　花山産業	R6.4更新

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（　7　年度）	前年度（　6　年度）	評価対象年度（　7　年度）		
開館日数	150日	141日	150日	100.0%	106.4%
利用者数（延べ人数）	500人	290人	292人	58.4%	100.7%
利用料金収入	75,000円	58,770円	60,120円	80.2%	102.3%
主な増減要因（前年比）	開館日数の増加に伴い、利用者数及び利用料金収入は前年度を上回ったものの、利用者数はほぼ横ばいで推移した。				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
初めて入館したお客様が多かったので、もっとPRすべきと思った。	新規利用者の増加を踏まえ、今後も効果的なPRを行い、施設の認知度向上と利用促進に努めてください。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
施設・展示物について満足していただいた。	施設・展示物等の維持管理に努めたい。
千葉周作について興味をもっていただいた。	HPを更新しながら観光PRにつなげたい。
展示している建物の良さに満足された。	手入れを行い維持管理して行く。
NHKのドラマにしてほしい。	栗原市に情報共有を行う。
スロープがあれば良い。	栗原市に要望する。

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	B	おおむね適正に行っている。	A	適正に行われている。	
(2) 施設管理の状況	B		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	おおむね適正に行っている。	A	施設内外の清掃が適切に行われ良好な施設環境が維持されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	おおむね適正に行っている。	A	協定書に基づき、指定管理者の責任範囲内で必要な修繕が適切に行われている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	おおむね適正に行っている。	B	新たな取り組みを模索するため、市と協議願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	おおむね適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	おおむね適正に行っている。	B	計画値には未達であるが、前年度比で利用料金収入は増加しており、概ね妥当である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	おおむね適正に行っている。	B	事業計画の数値を達成できるよう利用収入の増加に繋がる新たな取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 来館者数は前年度と比較すると微増でした。 自主イベントを開催し入館者の増を図りたい。	B	＜施設所管課の所見＞ 貴社の経験やノウハウを生かした施設の管理・運営については、適切に実施されているものと評価しております。また、施設運営上の課題等が生じた際には、本課への報告・相談を適切に行うなど、円滑な管理運営にご尽力いただき感謝申し上げます。 今後予定している自主事業については、計画に基づき着実に実施いただくとともに、新たな自主事業の展開についても、市として協力できる事項を検討してまいりますので、今後の取組について本課と協議をお願いします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施設の名称	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡
施設所管部署名	教育部　文化財保護課

1　評価対象施設の概要　（施設所管課記入）

施設名称	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡		
施設所在地	栗原市花山字本沢温湯地内		
設置年月	平成3年4月	設置根拠条例	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡条例
設置目的	市の歴史的財産である寒湯番所跡を適切に保存し後世に伝えながら、市民文化の向上に寄与する資料として活用するもの。		
施設概要	面積	合計延床面積　522．1　㎡、　敷地面積　3,925．33　㎡	
	構造	役宅：木造2階建　板倉：木造平屋建　ポンプ室：ブロック造平屋建	
	施設内容	ア　役宅　建床面積　479．54㎡　　エ　屋外施設（表門・裏門・石垣） イ　板倉　建床面積　32．32㎡　　ウ　ポンプ室　建床面積　10．24㎡	
休館日	12月1日から翌年3月31日まで ※　条例から変更の有無　□有　☑無		
開館時間	午前9時00分　～　午後4時30分　　※　条例から変更の有無　□有　☑無		
施設利用料金	利用料金制	□採用　□採用無　☑指定管理料と併用　□指定管理料のみ	
	設定金額	観覧料（一般は18歳以上、団体は20名以上） 一般（個人）210円　小・中学生、高校生及びこれに準ずる者（個人）110円 一般（団体）170円　小・中学生、高校生及びこれに準ずる者（個人）　90円 ※　条例から変更の有無　□有　☑無	

2　指定管理者等の概要　（施設所管課記入）

指定管理者	事業者等名称	株式会社　ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279－2		
指定の期間	令和6年4月1日　～　令和11年3月31日　（5年間）			
指定にかかる選定方法	☑　公募　　□　非公募		指定管理料	10，750，000円　（5年間）

3　施設管理の経過　（施設所管課記入）

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年　4月　～　平成23年　3月	管理委託	社団法人　栗原市シルバー人材センター	
平成23年　4月　～　令和　6年　3月	指定管理	株式会社　ゆめぐり	
令和　6年　4月　～　令和11年　3月	指定管理	株式会社　ゆめぐり	R6.4更新

4　施設の利用実績　（指定管理者記入）

	事業計画	実績		計画との比率（%）	前年度との比較（%）
	評価対象年度（令和7年度）	前年度（令和6年度）	評価対象年度（令和7年度）		
開館日数	244日	244日	244日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	1,600人	1,423人	1,386人	86.6%	97.4%
利用料金収入	300,000円	269,409円	243,980円	81.3%	90.6%
主な増減要因（前年比）	前年比37人減（夏の猛暑、秋の熊出没の影響？） 夏期の観覧人数が前年比で減少（猛暑の影響？）　6月～8月で前年比76人減				

5 自主事業等の実績 （指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 （指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
害虫（カメムシ）駆除が追い付かない（防虫剤や忌避剤を散布するが効果は限定的）。 冬期閉館中、野鳥の侵入があり対応に苦慮しています。 イベントを模索していますが開催に至らない。自社のみでの開催は厳しいので、他の団体等へ声掛けする等、模索していく。	・カメムシ駆除には立地上もあり、ご苦労されているかと思いますがその都度駆除をお願いします。 ・冬期閉館中の野鳥侵入については、文化財への影響が懸念されることから、侵入箇所を確認し、適切な防鳥対策を御社と協議し今後検討してまいります。 ・イベントについては、市で把握する民俗芸能団体へ参加調整することも可能ですので本課まで是非ご相談ください。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 （指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
管理人がとても親切でした。	
貴重な施設を見学できました。	
カメムシの多さに驚きです。	

8 総合的な評価 （指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
⑴ 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	交番制で管理人を配置。 法定点検は専門業者へ委託。	A	適正に行われている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	栗原市や宮城県主催の講習会へ参加。	A	適正に行われている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練の実施。	A	適正に行われている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理日報の記録提出。	A	適正に行われている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	条例に基づき対応。	A	適正に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づき対応。 異常発生時は担当課へ報告。	A	適正に行われている。	
⑵ 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例に基づき対応。	A	適正に行われている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々環境整備に努めています。	A	適正に行われている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	異常時は、担当課へ報告。	B	適正に行われている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者へ委託。	A	適正に行われている。	
⑶ 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請受理時は速やかに対応。	A	適正に行われている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	受付にアンケートを設置。	A	適正に行われている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	随時対応。	A	適正に行われている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みは出来ていない。	B	新たな取り組みを模索するため、市と協議願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		A	利用者から好評を得るなど、適正な運営が図られている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	対応に対して苦情はありません。	A	適正に行われている。	
⑷ 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収支は黒字を確保出来なかった。	B	前年度と比較して利用料金収入は減少しているものの、減少幅は小さく、収支実績は概ね妥当である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業（イベント等）模索中。	B	利用収入の増加を図るため、新たな取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	支出は計画以内に抑制。	A	適正に行われている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	会計事務所、監査において指摘無し。	A	適正に行われている。	

B

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者からの苦情や事故が無く管理できました。 収支は観覧人数の伸び悩みにより収入が計画に届かずマイナス収支となった。	B	＜施設所管課の所見＞ 貴社の経験やノウハウを生かした施設の管理・運営については、適切に実施されているものと評価しております。また、施設運営上の課題等が生じた際には、本課への報告・相談を適切に行うなど、円滑な管理運営にご尽力いただき感謝申し上げます。 今後予定している自主事業については、計画に基づき着実に実施いただくとともに、新たな自主事業の展開についても、市として協力できる事項を検討してまいりますので、今後の取組について本課と協議をお願いします。	A